令和４年度

主要施策の成果に関する報告書

南風原町

目　　次

資料編

令和４年度会計別決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
一般会計歳入決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
令和４年度町税決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
一般会計歳出決算状況（性質別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
一般会計歳出決算状況（目的別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
基金及び町債残高の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
町の総合計画にもとづいた令和４年度事業一覧　・・・・・・・・・・・・・・・７

本　編

１　みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち

●情報の共有できるひらかれたまち　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
●自ら考え、行動し、みんなで創るまち　・・・・・・・・・・・・・・・・１４

２　きらきらと輝く人が育つまち

●安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育　・・・・・・・１７
●地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育　・・・・・・・・１８
●個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育・・・２５

３　ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち

●ちむぐくるで支えあう安心して暮らせるまち　・・・・・・・・・・・・４３
●健康づくりの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
●子ども・子育て支援の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
●障がい者(児)・高齢者支援の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・８６

４　工夫と連携で産業が躍動するまち

●南風原産品を創り伸ばす農業の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・９９
●賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興　・・・・・・１０２
●地域の連携で創る観光の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０８
●歴史と伝統を誇る工芸産業の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・１１２

５　みどりとまちが調和した安全・安心のまち

●安全・安心に暮らせるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・・・１１５
●快適で文化的に暮らせるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・１１７
●利便性のよい魅力あるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・・・１２５

６　環境と共生する美しく住みよいまち

●環境への取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３３

７　行財政計画

●効率的で健全な行財政運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４１

会計別決算状況

（単位：千円）

	年度	予算現額	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出 差引額 (A)－(B)＝(C)	翌年度へ 繰越す財源 (D)	実質収支 (C)－(D)＝(E)
一般会計	令和4年度	18,739,791	17,819,726	17,339,931	479,795	229,627	250,168
	令和3年度	18,547,652	17,957,454	17,593,545	363,909	91,908	272,001
	差　引	192,139	△ 137,728	△ 253,614	115,886	137,719	△ 21,833
国民健康保険特別会計	令和4年度	4,356,704	4,300,158	4,268,556	31,602	0	31,602
	令和3年度	4,325,590	4,309,538	4,264,774	44,764	0	44,764
	差　引	31,114	△ 9,380	3,782	△ 13,162	0	△ 13,162
土地区画整理事業特別会計	令和4年度	727,175	734,973	679,106	55,867	45,458	10,409
	令和3年度	706,225	706,160	565,666	140,494	137,863	2,631
	差　引	20,950	28,813	113,440	△ 84,627	△ 92,405	7,778
後期高齢者医療特別会計	令和4年度	358,458	357,669	356,326	1,343	0	1,343
	令和3年度	330,008	329,966	329,254	712	0	712
	差　引	28,450	27,703	27,072	631	0	631
合　　計	令和4年度	24,182,128	23,212,526	22,643,919	568,607	275,085	293,522
	令和3年度	23,909,475	23,303,118	22,753,239	549,879	229,771	320,108
	差　引	272,653	△ 90,592	△ 109,320	18,728	45,314	△ 26,586

	年度	収益的収入及び支出 （3条予算）		資本的的収入及び支出 （4条予算）		翌年度 繰越額
		収入	支出	収入	支出	
公営企業会計 （下水道事業）	令和4年度	603,512	537,769	229,738	389,408	167,526
	令和3年度	600,998	539,979	257,127	428,331	74,294
	差　引	2,514	△ 2,210	△ 27,389	△ 38,923	93,232

一　般　会　計　歳　入　決　算　状　況

（単位：千円）

	令和４年度		令和３年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
（自主財源） A	7,024,932	39.4	5,889,507	32.8	1,135,425	19.3
町税	4,549,528	25.6	4,351,140	24.2	198,388	4.6
分担金・負担金	237,213	1.3	180,313	1.0	56,900	31.6
使用料・手数料	56,246	0.3	41,368	0.2	14,878	36.0
財産収入	20,957	0.1	25,544	0.2	△ 4,587	△ 18.0
寄附金	545,413	3.1	283,950	1.6	261,463	92.1
繰入金	468,912	2.6	221,557	1.2	247,355	111.6
繰越金	363,908	2.0	206,785	1.2	157,123	76.0
諸収入	782,755	4.4	578,850	3.2	203,905	35.2
（依存財源） B	10,794,794	60.6	12,067,947	67.2	△ 1,273,153	△ 10.5
地方譲与税	72,580	0.4	69,924	0.4	2,656	3.8
利子割交付金	900	0.0	1,657	0.0	△ 757	△ 45.7
配当割交付金	7,940	0.1	9,750	0.1	△ 1,810	△ 18.6
株式等譲渡所得割交付金	7,648	0.1	11,801	0.1	△ 4,153	△ 35.2
法人事業税交付金	52,938	0.3	46,041	0.2	6,897	15.0
地方消費税交付金	933,344	5.2	857,566	4.8	75,778	8.8
環境性能割交付金	6,566	0.0	4,025	0.0	2,541	63.1
地方特例交付金	36,882	0.2	82,269	0.4	△ 45,387	△ 55.2
地方交付税	2,822,428	15.8	2,800,539	15.6	21,889	0.8
交通安全対策特別交付金	3,729	0.0	4,460	0.0	△ 731	△ 16.4
国庫支出金	4,204,594	23.6	5,380,837	30.0	△ 1,176,243	△ 21.9
県支出金	2,254,945	12.7	2,046,278	11.4	208,667	10.2
地方債	390,300	2.2	752,800	4.2	△ 362,500	△ 48.2
合計（A＋B）	17,819,726	100.0	17,957,454	100.0	△ 137,728	△ 0.8

※数値は「令和４年度南風原町一般会計・特別会計歳入歳出決算書」より

町 税 決 算 状 況

（単位：千円）

	令和4年度			令和3年度			令和4－令和3		
	調定額 A	決算額 B	(B/A) ×100 =C %	調定額 D	決算額 E	(E/D) ×100 =F %	調定額 の増減 A-D=G	決算額 の増減 B-E=H	決算額 の増減率 (H/E)×100 %
町　　税	4,573,468	4,549,528	99.5	4,373,267	4,351,140	99.5	200,201	198,388	4.6
町　民　税	2,013,772	1,997,788	99.2	1,877,623	1,863,678	99.3	136,149	134,110	7.2
個人町民税	1,806,768	1,791,075	99.1	1,696,963	1,683,269	99.2	109,805	107,806	6.4
1.現年課税分	1,792,462	1,785,387	99.6	1,684,138	1,677,259	99.6	108,324	108,128	6.4
2.滞納繰越分	14,306	5,688	39.8	12,825	6,010	46.9	1,481	△ 322	△ 5.4
法人町民税	207,004	206,713	99.9	180,660	180,409	99.9	26,344	26,304	14.6
1.現年課税分	206,887	206,713	99.9	178,611	178,611	100.0	28,276	28,102	15.7
2.滞納繰越分	117	0	0.0	2,049	1,798	87.8	△ 1,932	△ 1,798	△ 100.0
固定資産税	2,163,678	2,156,578	99.7	2,092,010	2,084,537	99.6	71,668	72,041	3.5
純固定資産税	2,137,268	2,130,168	99.7	2,064,339	2,056,866	99.6	72,929	73,302	3.6
1.現年課税分	2,130,168	2,126,125	99.8	2,054,739	2,050,868	99.8	75,429	75,257	3.7
2.滞納繰越分	7,100	4,043	56.9	9,600	5,998	62.5	△ 2,500	△ 1,955	△ 32.6
国有資産等交付金	26,410	26,410	100.0	27,671	27,671	100.0	△ 1,261	△ 1,261	△ 4.6
軽自動車税	158,063	157,207	99.5	152,366	151,657	99.5	5,697	5,550	3.7
環境性能割	4,499	4,499	100.0	3,194	3,194	100.0	1,305	1,305	40.9
種　別　割	153,564	152,708	99.4	149,172	148,463	99.5	4,392	4,245	2.9
1.現年課税分	152,885	152,551	99.8	148,527	148,261	99.8	4,358	4,290	2.9
2.滞納繰越分	679	157	23.1	645	202	31.3	34	△ 45	△ 22.3
町たばこ税	237,955	237,955	100.0	251,268	251,268	100.0	△ 13,313	△ 13,313	△ 5.3
1.現年課税分	237,955	237,955	100.0	251,268	251,268	100.0	△ 13,313	△ 13,313	△ 5.3
2.滞納繰越分	0	0	－	0	0	－	0	0	－
1.現年課税分合計	4,551,266	4,539,640	99.7	4,348,148	4,337,132	99.7	203,118	202,508	4.7
2.滞納繰越分合計	22,202	9,888	44.5	25,119	14,008	55.8	△ 2,917	△ 4,120	△ 29.4

一　般　会　計　歳　出　決　算　状　況　（性質別）

（単位：千円）

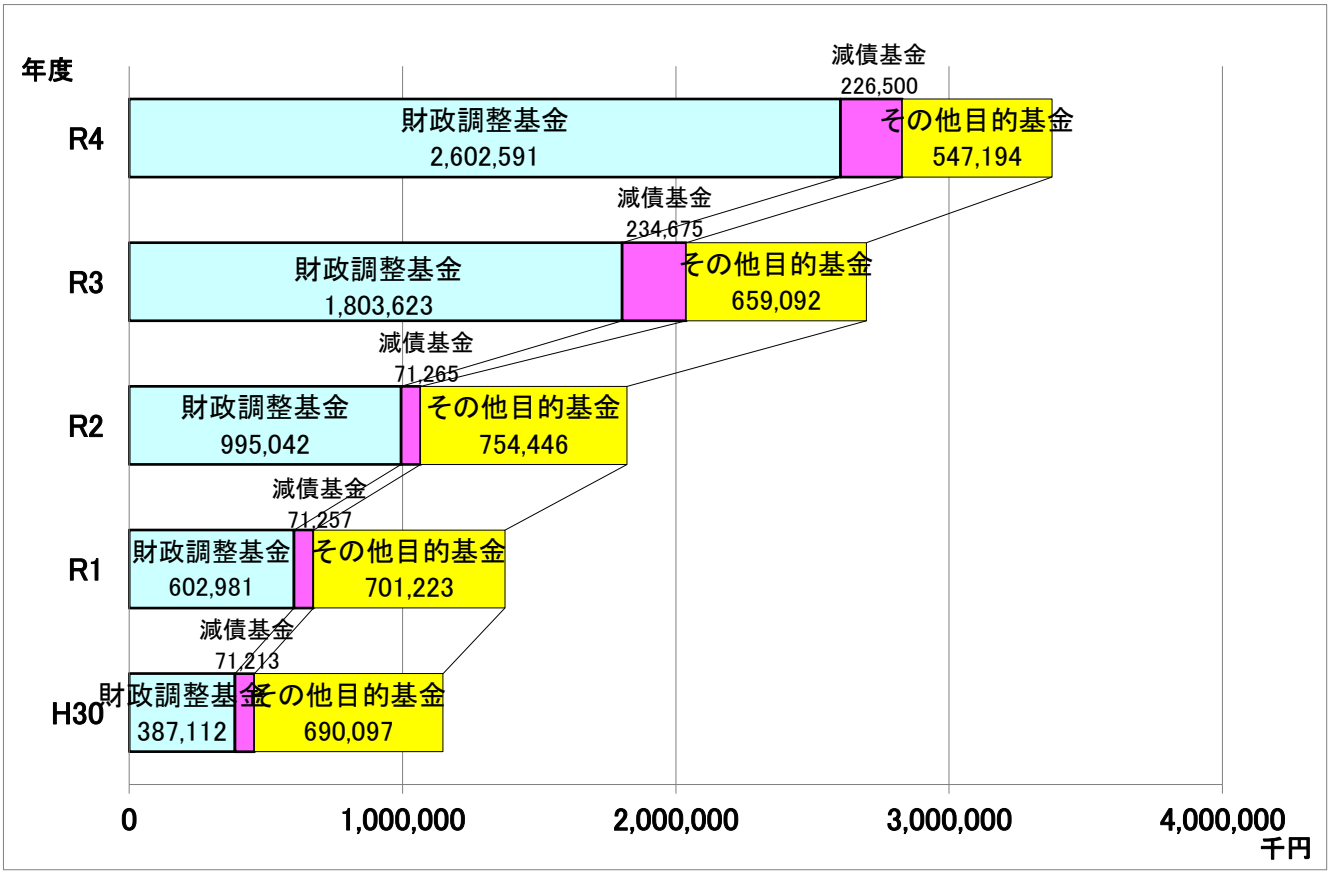
	令和４年度		令和３年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
（義務的経費）①	9,277,926	53.5	9,731,910	55.3	△ 453,984	△ 4.7
人　件　費	2,312,582	13.3	2,197,994	12.5	114,588	5.2
扶　助　費	5,892,313	34.0	6,421,637	36.5	△ 529,324	△ 8.2
公　債　費	1,073,031	6.2	1,112,279	6.3	△ 39,248	△ 3.5
（投資的経費）②	654,263	3.8	707,376	4.0	△ 53,113	△ 7.5
普通建設事業	654,263	3.8	707,376	4.0	△ 53,113	△ 7.5
災害復旧事業	0	0.0	0	0.0	0	0.0
（その他の経費）③	7,407,741	42.7	7,154,259	40.7	253,482	3.5
物　件　費	2,309,880	13.3	2,232,625	12.7	77,255	3.5
維持補修費	127,806	0.8	11,083	0.1	116,723	1,053.2
補助費等	2,240,101	12.9	2,235,366	12.7	4,735	0.2
積　立　金	1,202,267	6.9	1,265,610	7.2	△ 63,343	△ 5.0
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
貸　付　金	25,000	0.1	25,000	0.1	0	0.0
繰　出　金	1,502,687	8.7	1,384,575	7.9	118,112	8.5
合計（①＋②＋③）	17,339,930	100.0	17,593,545	100.0	△ 253,615	△ 1.4

一 般 会 計 歳 出 決 算 状 況 （ 目 的 別 ）

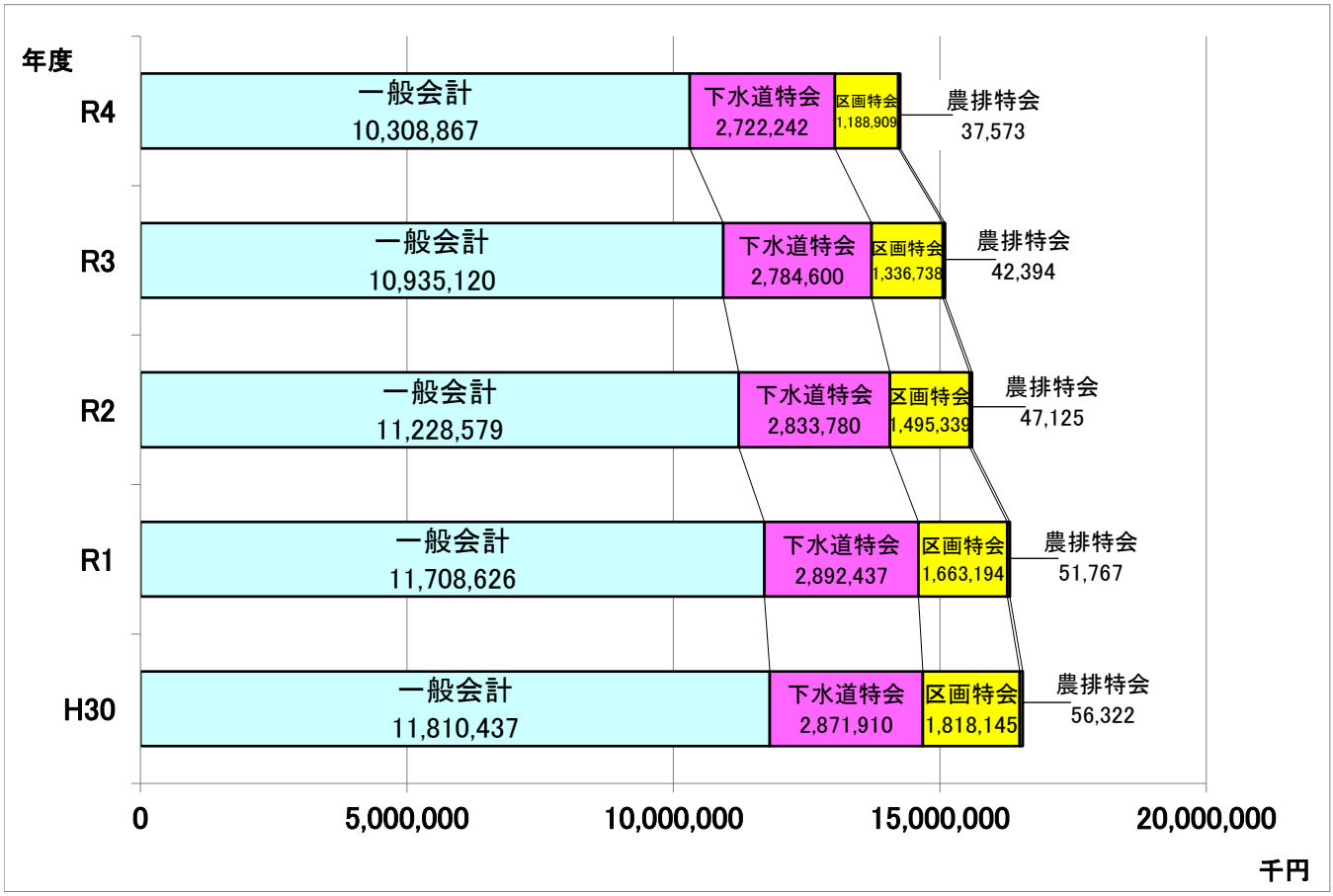
（単位：千円）

	令和４年度		令和３年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
議会費	111,381	0.6	116,372	0.7	△ 4,991	△ 4.3
総務費	2,574,592	14.8	2,560,982	14.6	13,610	0.5
民生費	8,172,992	47.1	8,760,586	49.8	△ 587,594	△ 6.7
衛生費	1,265,201	7.3	1,479,986	8.4	△ 214,785	△ 14.5
労働費	31,689	0.2	27,616	0.2	4,073	14.7
農林水産費	84,704	0.5	109,685	0.6	△ 24,981	△ 22.8
商工費	424,988	2.5	324,507	1.8	100,481	31.0
土木費	966,184	5.6	850,441	4.8	115,743	13.6
消防費	526,949	3.0	531,266	3.0	△ 4,317	△ 0.8
教育費	2,108,219	12.2	1,719,825	9.8	388,394	22.6
災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	-
公債費	1,073,031	6.2	1,112,279	6.3	△ 39,248	△ 3.5
諸支出金	－	－	－	－	－	－
合計	17,339,930	100.0	17,593,545	100.0	△ 253,615	△ 1.4

基金残高の状況



町債残高の状況



令和4年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち	情報の共有でひらかれたまち	議会広報広聴活動強化事業	議会事務局	11
		広報・広聴事業	総務課	12
	自ら考え、行動し、みんなで創るまち	町善行・功労賞事業	総務課	14
		区長（自治会長）事務委託事業	総務課	15

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
きらきらと輝く人が育つまち	安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育	教育相談事業	学校教育課	17
	地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育	子ども平和学習交流事業	生涯学習文化課	18
		放課後子ども教室推進事業	生涯学習文化課	19
		地域学校協働活動推進事業	生涯学習文化課	20
		はえばる大学運営事業	生涯学習文化課	21
		陸軍病院壕公開活用事業	生涯学習文化課	22
		公民館活動の充実事業	生涯学習文化課	23
		公民館講座事業	生涯学習文化課	24
	個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育	学校給食用材料に係る経費	教育総務課	25
		調理場施設維持管理事業	教育総務課	26
		就学奨励事業	学校教育課	27
		幼稚園就園援助事業	学校教育課	28
		幼稚園にかかる経費（各幼稚園経費除く）	学校教育課	29
		各幼稚園にかかる経費	学校教育課	30
		英会話教育の充実	学校教育課	31
		学校教育事業	学校教育課	32
		特別支援教育支援員（ヘルパー）配置事業	学校教育課	33
		学力調査事業	学校教育課	34
		学校ICT推進事業	学校教育課	35
		学校ICT環境整備事業	学校教育課	36
		小学校（学校管理費・教育振興費）	学校教育課	37
		中学校（学校管理費・教育振興費）	学校教育課	38
		学習支援員等配置事業	学校教育課	39
		幼稚園体育活動充実事業	教育総務課	40
		北丘小学校体育館等整備事業	教育総務課	41

令和4年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち	ちむぐくるで支えあう安心して暮らせるまち	社会福祉団体育成事業	こども課	43
	健康づくりの推進	国民健康保険事業（国民健康保険特別会計）	国保年金課	44
		高齢者医療対策費	国保年金課	47
		婦人がん検診事業	国保年金課	48
		住民健診（健康診査）事業	国保年金課	49
		後期高齢者医療事業(後期高齢者医療特別会計)	国保年金課	50
		介護予防事業	保健福祉課	51
		認知症施策推進事業	保健福祉課	53
		介護保険運営事業	保健福祉課	54
		新生児妊産婦訪問指導事業	国保年金課	55
		未熟児養育医療事業	国保年金課	56
		1歳6ケ月児健康診査事業	国保年金課	57
		3歳児健康診査事業	国保年金課	58
		妊婦一般健康診査事業	国保年金課	59
		乳児一般健康診査事業	国保年金課	60
		長寿県復活　食の応援事業	国保年金課	61
		予防接種事業	国保年金課	62
		新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	国保年金課	63
	子ども・子育て支援の充実	宮平保育所運営事業	こども課	64
		認可保育園事業・補助（保育所運営費）	こども課	65
		延長保育促進事業	こども課	66
		障がい児保育事業（町単独事業）	こども課	67
		認可保育園事業・町単独事業	こども課	68
		地域型保育事業・補助	こども課	69
		保育対策総合支援事業	こども課	70
		認可外保育園事業・町単独事業	こども課	71
		認可外保育園事業・補助事業	こども課	72
		母子父子家庭医療費助成事業	こども課	73
		こども医療費助成事業	こども課	74
		子供の貧困緊急対策事業	こども課	75
		病児保育事業	こども課	76
		児童館運営事業・単独	こども課	77
		学童保育事業・補助	こども課	78

令和4年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち	子ども・子育て支援の充実	放課後児童の居場所づくり支援事業	こども課	79
		ファミリーサポートセンター事業	こども課	80
		地域子育て支援拠点事業	こども課	81
		児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当事業	こども課	82
		認定こども園事業・補助	こども課	83
		正規雇用化促進事業	こども課	84
		幼児教育・保育無償化事業	こども課	85
	障がい者（児）・高齢者支援の充実	包括的支援事業	保健福祉課	86
		生活支援体制整備事業	保健福祉課	87
		家族介護支援事業	保健福祉課	88
		在宅医療・介護連携推進事業	保健福祉課	89
		高齢者地域支援体制整備・評価事業	保健福祉課	90
		重度心身障害者医療費助成事業	保健福祉課	92
		自立支援医療費事業	保健福祉課	93
		市町村地域生活支援事業	保健福祉課	94
		介護給付・訓練等給付事業	保健福祉課	96
		敬老月間啓発事業	保健福祉課	97
		高齢者慶祝記念品支給事業	保健福祉課	98

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
工夫と連携で産業が躍動するまち	南風原産品を創り伸ばす農業の振興	農業委員会運営事業	産業振興課	99
		地力増強対策事業	産業振興課	100
		多面的機能支払交付金	まちづくり振興課	101
	賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興	住宅リフォーム支援事業	まちづくり振興課	102
		商工会の育成強化	産業振興課	103
		ふるさと博覧会補助事業	産業振興課	104
		商品開発技術力強化事業	産業振興課	105
		地域生活支援事業	産業振興課	107
	地域の連携で創る観光の振興	観光事業	産業振興課	108
		ヒーローのまちづくり事業	産業振興課	109
		観光PR促進事業	産業振興課	110
		黄金森公園スポーツ施設活性化事業	教育総務課	111
	歴史と伝統を誇る工芸産業の振興	琉球絣等伝統工芸事業	産業振興課	112

令和4年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
みどりとまちが調和した安全・安心のまち	安全・安心に暮らせるまちづくり	消防力の整備強化	総務課	115
		防災体制強化事業	総務課	116
	快適で文化的に暮らせるまちづくり	不発弾処理促進事業	総務課	117
		津嘉山公園整備事業	都市整備課	118
		都市公園管理事業	まちづくり振興課 都市整備課	119
		下水道事業（公営企業会計）	区画下水道課	120
		河川整備事業	まちづくり振興課	121
		橋梁等長寿命化修繕計画策定事業	まちづくり振興課	122
		公園施設長寿命化計画策定事業	都市整備課	123
		津嘉山地区・照屋地区発掘調査事業	生涯学習文化課	124
	利便性のよい魅力あるまちづくり	道路維持事業	まちづくり振興課	125
		都市計画振興事業	まちづくり振興課	126
		町道10号線道路改良事業	都市整備課	127
		津嘉山中央線街路事業（2工区）	都市整備課	128
		津嘉山北土地区画整理事業（土地区画整理事業特別会計）	区画下水道課	129

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
環境と共生する美しく住みよいまち	環境への取り組み	環境保全対策事業	住民環境課 区画下水道課	133
		公害対策事業	住民環境課	136
		指定ごみ袋還元基金事業	住民環境課	137
		ごみ処理対策事業	住民環境課	138
		し尿処理事業	住民環境課	139

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
行財政計画	効率的で健全な行財政運営	議会運営事業	議会事務局	141
		企画事務事業	企画財政課	142
		電子計算事務事業	企画財政課	143
		基幹系事務事業（マイナンバー制度関係等）	企画財政課	144
		ふるさと納税推進事業	企画財政課	145
		住基・印鑑登録・旅券事務事業	住民環境課	146
		町県民税に係る経費	税務課	147
		固定資産税に係る経費	税務課	148
		賦課徴収事業	税務課	149

１　みんなで考え、
みんなで創るわくわくするまち

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	議会広報広聴活動強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	議会事務局	局長名	新垣　圭一		款	議会費	01
連絡先	889－3097				項	議会費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	議会費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	議会の活動状況を広く町民に知らせます。 議会だよりは、町民への情報公開としての役割があり、議会の審議、活動状況を広く町民に知らせる重要な役割を担っています。

事業の実施内容

1. 議会広報紙「はえばる議会だより」を定例会ごとに年4回発行しています。表紙写真や町民の声を公募し、表紙の題字も募集し、児童等に提供してもらう等、町民の皆さんが議会活動により関心を持つよう工夫しています。

2. 議会の活動内容をより詳しく伝えるため、全戸配布に加え公共施設、金融機関、医療機関、コンビニや大型商業施設等にも広報委員自らが設置依頼し、広報活動に努めています。

3. 町議会ホームページの充実を図るため、はえばる議会だよりや会議録を掲載しています。また、定例会・臨時会の審議結果や議員個々の賛否、議会運営の動き、毎月のスケジュール等を公開するなど、議会活動を町民の皆さんにわかりやすく伝えることを常に心がけ、情報発信に努めています。

4. 令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、意見交換会は開催することができませんでした。議会報告会はHP上で書面開催（6/6～7/22）し町民の皆さんへの情報提供を行いました。今後もあらゆる機会を通して、町民の皆さんの意見等を議会の討議及び政策に反映させるよう努めていきます。

○議会広報紙「はえばる議会だより」発行
（電子版は町ホームページに掲載）
A4版　12ページ
発行部数　16,000部×4回
予算額　2,078千円　　決算額　1,925千円

▲第11回議会報告会（HP上での書面開催）

▲令和4年度発行　はえばる議会だより

事業の成果

議会広報紙「はえばる議会だより」は分かりやすく、町民の皆さんに関心をもっていただく文面・写真の選定を心がけ編集し、各広報委員においても積極的に研修会へ参加することで編集能力の向上に努め、町民目線に立った広報紙づくりに取り組みました。また、「はえばる議会だより」の発行や町議会ホームページ等の充実によって、議会活動を分かりやすく町民の皆さんに伝え、【開かれた議会】を目指し、多くの広報広聴活動を実施することで町民の皆さんの貴重なご意見を伺うよう努めています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,078	1,925					1,925

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	広報・広聴事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	文書広報費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	広報誌やホームページ、掲示板等を用いて町行政情報を発信し、住民との情報共有を図ることを目的としています。また、ホームページ等を用いて、町行政に対する住民の意見、要望、提案等を反映させます。

事業の実施内容

○広報誌『広報はえばる』の発行　　印刷製本費　5,940千円（全16ページ　半ページカラー）

・表やイラスト、写真等を使い、分かりやすく、興味を持ってもらえるようなレイアウトを心がけました。
・学習ボランティア等を紹介するため、固定のコーナーを設けています。

年度	印刷製本代	毎月発行部数	1部単価
R4	5,940千円	15,600部	31.7円
R3	5,610千円	15,600部	30.0円
R2	4,726千円	16,500部	23.8円

令和4年度の有料広告掲載状況
掲載会社　12社　のべ96枠
広告収入　1,332千円

・町内全戸配布（区長委託方式）、町関係機関や報道局への郵送を行っています。

・町内ショッピングセンター、スーパーへの設置を行っています。

○ホームページの充実　　（町HP　http://www.town.haebaru.lg.jp）
ポータルサイトデータセンター保守委託料　611千円

・見やすく・分かりやすい情報の提供及び掲載情報の充実を図りました。
・町広報・議会広報等各種出版物について、電子ブックでも公開することにより、パソコンだけでなく、スマートフォンからも見やすくなりました。それにより、着実にホームページのアクセス数も増加しています。
・多くの情報をタイムリーに提供していきます。

ホームページアクセス数/日	
R4	4,617件
R3	4,663件
R2	5,837件

次ページへつづく →

事業の実施内容

○広報掲示板設置工事　963千円

各字、自治会に設置されている掲示板の修繕、移設、新設などを行っています。

・令和4年度は、修理でのべ19件ありました。
・町内には現在約140の掲示板があり、行政や地域の情報発信に利用されています。

○日本広報協会負担金　15千円

・広報活動の技術向上を図るために、日本広報協会に参加しています。

○その他広報公聴活動経費　75千円

・広報誌の県内関係機関への郵送代や、消耗品費等。

○まちメール

・町民の皆さまからのご意見やご提案をお伺いし、町政運営の施策に反映するため、ホームページや庁舎1階に町政提案箱を設置しています。

・R4年度に町政提案箱に届いた件数：96件

事業の成果

住民の行政に対する意見、質問、要望や提案など、住民ニーズを的確に把握するため、住民との情報共有に努めるとともに、行政側から積極的に情報を発信することを心がけました。広報誌で発信している行政情報を広く届けるため、戸別配布、ホームページに加え、スマートフォンアプリ「マチイロ」を利用し配信を行っています。また、広報誌に掲載した内容はホームページへ掲載するよう呼びかけを行い、情報発信に対する職員の意識向上を図りました。加えて、積極的に財源を確保するという観点から広報誌への有料広告の掲載を行っています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,643	7,604	501				7,103

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町善行・功労賞事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町民	教育文化、社会福祉、産業経済等に関して功労善行の顕著なる個人又は団体で他の規範として推奨に値する業績があった方を表彰し、その業績を讃える。また、よいこと沖縄一・日本一賞となった個人・団体の表彰を行います。

事業の実施内容

○報償費　212千円
- ・受賞者用図書券　90千円
- ・功労賞・善行賞受賞者記念品　110千円
- ・文化協会余興への謝礼金　12千円

○需用費　222千円
- ・賞状・額縁入れバッグ（受賞者用）　26千円
- ・祝賀会消耗品　4千円
- ・表彰式典花代　7千円
- ・祝賀会食事代　90千円
- ・記念写真撮影　95千円

○役務費　69千円
- ・かすりの女王着付代　69千円

功労賞・善行賞・よいこと沖縄一・日本一の皆さん

事業の成果

令和4年度は、功労賞18名、善行賞4名及びよいこと沖縄一賞80名の合計102名の方々を表彰しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	519	503					503

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	区長（自治会長）事務委託事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	諸費	11

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内全字・全自治会	町政を円滑に運営するため事務委託要綱に定めている事務を委託します。

事業の実施内容

◆委託料　　44，265千円

本町が委託する業務は下記のとおりとなっております。

①広報・連絡事務
・ 広報誌配布・広報掲示板への掲示等

②災害時協力事務
・ 災害時における一時避難所対応等

③その他
・ 諸統計調査に関すること。
・ 保健衛生に関すること。
・ 援助物資の配給に関すること。
・ 社会福祉事業に関すること。
・ 国民健康保険に関すること。
・ 災害救助に関すること。
・ 環境に関すること。
・ 町県民税に関すること。
・ 土地事務に関すること。
・ 農業関係の調査協力に関すること。
・ 家畜に関すること。
・ 林業に関すること。
・ 商工鉱業に関すること。
・ 耕地、農業土木に関すること。
・ 土木事業及び維持管理に関すること。
・ 都市計画に関すること。
・ 選挙の啓蒙に関すること。
・ 議会における調査審査の協力に関すること。
・ その他各課及び消防、選挙、議会、教育及び農業において必要とする事項

◆印刷製本費　　30千円

自治会加入促進パンフレットの作成費用

事業の成果

各字・自治会へ各種事務事業を委託する事で町政を円滑に運営することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	44,295	44,295					44,295

２　きらきらと輝く人が育つまち

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	教育相談事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校の児童生徒、保護者、教諭等	児童・生徒における不登校、特別支援教育等の課題について、青少年教育相談員、特別支援教育相談員、心の教室相談員、学習支援員が、学校及び関係機関と連携して教育相談等により解決に努めます。

事業の実施内容

1. 報酬・報償費等 （予算額　16，253千円、決算額　15，822千円）

○教育相談支援センターに青少年教育相談員、各小中学校に心の教室相談員を配置し、児童生徒、保護者等の教育相談を行い、不登校の改善に努めました。また、教育委員会に特別支援教育相談員を配置し、発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行いました。
○中学校に学習支援員（適応教室指導員、自立支援教室指導員）を配置し、教室に入れない生徒に個別指導等の学習支援を行い基礎学力の定着に努めました。

2. 需用費、役務費 （予算額　377千円、決算額　372千円）

○相談業務に必要な消耗品や通信費、傷害保険料を支出しました。

3. 委託料 （予算額　5，118千円、決算額　5，039千円）

○令和4年度作業療法士派遣委託業務委託料として　2，904千円を支出しました。
○令和4年度Q-Uテスト委託業務委託料として　2，135千円を支出しました。

南風原町の不登校児童・生徒の現状について（平成29年度～令和4年度）

（小学校）

年度	H29			H30			R1			R2			R3			R4		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10～30日未満	12	8	20	19	24	43	33	26	59	100	87	187	56	40	96	145	124	269
30日以上	21	15	36	28	18	46	22	16	38	30	22	52	25	39	64	64	50	114
計	33	23	56	47	42	89	55	42	97	130	109	239	81	79	160	209	174	383

（中学校）

年度	H29			H30			R1			R2			R3			R4		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10～30日未満	10	7	17	6	6	12	22	24	46	8	17	25	23	21	44	48	52	100
30日以上	28	19	47	33	37	70	38	40	78	22	15	37	39	25	64	58	64	122
計	38	26	64	39	43	82	60	64	124	30	32	62	62	46	108	106	116	222

※不登校の定義-「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」（文部科学省定義）

事業の成果

30日以上欠席している不登校児童・生徒について、前年度と比較すると小学生は50人増、中学生で58人増となっており、増加傾向となっていることが課題です。不登校の要因として小学校では「無気力、不安」や「親子の関わり方」が多く、中学校では「無気力、不安」、「生活リズムの乱れ・あそび・非行」が多くなってます。
教育相談員は、学校や関係機関と連携し、個別会議や全体会議（登校支援会議等）を開催し、不登校児童・生徒の解消に努めています。また、学校や家庭と連携し、不登校児童・生徒の心情や不登校になった背景の理解に努め、学校に登校しやすい雰囲気づくりや訪問相談等を行っています。また、学習環境にうまく適応できない幼児、児童、生徒のケアや教諭等への助言を行うため、幼稚園、小中学校に作業療法士を派遣し、児童等の多様性に対応した教育環境の構築や研修に取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,748	21,233	0	16,510	0	0	4,723

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	南風原町子ども平和学習交流事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	総務費	02
連絡先	889－7399				項	総務管理費	01
目　標	きらきらと輝く人が育つ町				目	地域づくり推進事業	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の4小学校の6年生	参加児童が、仲間意識を育みながら、平和や戦争、人権や差別などについて学習し、自分の考えや意見を積極的に交換できるようにします。あらゆる社会の出来事に目を向け、自分のこととして社会をより深く理解しようとする人材育成に努めます。

事業の実施内容

戦争や平和、人種や人権、差別などについて、町内の子どもたちに学習を深めさせる目的で事業を実施しています。他地域の関係者や体験者の講話をはじめ、交流研修、施設見学を通して視野を広げていきます。

令和4年度は、町内4小学校の6年生8人が本事業に参加しました。新型コロナウイルス感染対策を行いつつ、県内研修および3泊4日の県外研修を実施し、学びの成果を報告会および報告書で発表しました。

【令和4年度事業のスケジュール】

・令和4年5月

各学校を通して、4小学校の6年生の児童を対象に事業参加について周知し、募集要項と申込用紙を配布し、参加児童8人を決定しました。

・令和4年6月～令和5年3月

■県内での研修

・座学での研修（南風原文化センター）
　太平洋戦争・沖縄戦の流れ／松代大本営壕
　広島原爆／ホロコースト／ウトロと在日朝鮮・韓国人／ハンセン病と愛楽園
・沖縄陸軍病院南風原壕周辺戦跡見学、飯上げ体験
・中部戦跡めぐり（米軍上陸の碑（北谷町）、チビチリガマ（読谷村））
・沖縄愛楽園交流会館（名護市）見学、企画展イベント参加
・県外研修（7月28日～31日　京都・広島）
　ウトロ平和祈念館／ホロコースト記念館／広島市内戦跡めぐり

■研修報告会（12月26日）

■報告書の作成

	【予算額】	【決算額】
引率旅費（職員、引率教諭特別旅費等）	251千円	231千円
平和学習ガイド、講師謝礼金等	56千円	20千円
施設使用料	10千円	1千円
補助金（生徒8人）	810千円	706千円
合計	1,127千円	958千円

飯上げ体験

ウトロ平和祈念館見学

広島爆心地周辺戦跡めぐり

事業の成果

令和4年度は、新型コロナウイルス感染対策を行いつつ、3年ぶりに県外研修を実施することができました。今回は新たに、令和4年4月に開館した京都のウトロ平和祈念館見学を取り入れました。見学を通して児童たちが自発的にホロコーストなどの他の人権差別問題との共通点に気づくなど、戦争、平和、人権、差別を学習の柱とする本事業において大きな成果がみられました。

広島では、戦跡めぐりや被爆体験者講話といった現地でしかできない経験ができました。報告会では児童が、実際に現地で見て直接話を聞くことで、座学で得た知識が体験と結びついて学びが深まったことや、さらに学びたいという意欲が高まったことを報告していました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,127	958		750		208	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	放課後子ども教室推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の小学生	地域の方々が子どもたちといっしょに勉強やスポーツ・文化活動を行うことで、地域住民の交流の場を創り、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

事業の実施内容

○放課後子ども教室推進事業

主な経費　2,641 千円

- コーディネーター謝礼金　977 千円
- 協働活動サポーター謝礼金、体験学習講師謝礼金　1,550 千円
- その他（消耗品費、保険料等）　114 千円

○事業実施内容

① 放課後子ども教室コーディネーターを各子ども教室に派遣し、円滑な実施を図るための調整を行いました。

② 各子ども教室に協働活動サポーターを配置し、1回あたり5名体制で実施しました。

③ 南風原小学校 ・・・ 95回開催、児童24人（延べ1,271人）参加
北丘小学校 ・・・ 95回開催、児童19人（延べ1,026人）参加
津嘉山小学校 ・・・ 63回開催、児童8人（延べ414人）参加
翔南小学校 ・・・ 90回開催、児童20人（延べ1,126人）参加

←南風原小の様子

←北丘小の様子

←津嘉山小の様子

←翔南小の様子

事業の成果

放課後に各小学校の余裕教室を利用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設けました。保護者や地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに勉強・体験・交流・遊び・生活指導等を行うことにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりに寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,828	2,641		1,306			1,335

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域学校協働活動推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の小学生・中学生及び地域住民など	地域全体で学校を支援することで、子どもたちが多様な体験・経験ができ、学校教育の充実を図ります。また、地域と連携する事で地域に開かれた学校としての環境を整備します。

事業の実施内容

○地域学校協働活動推進事業

主な経費　6,307 千円

- 報償費　（地域コーディネーター5名分、実行委員謝礼金）　5,816 千円
- 需用費（消耗品、食料費、印刷製本費）　325 千円
- 役務費（通信運搬費・ボランティア活動保険・振込手数料）　166 千円

○事業実施内容

- 実行委員会を2回開催。
- 学校支援ボランティア　　参加人数　431人（延べ人数　1,281人）
- 地域コーディネーターの配置　　5名
- 広報活動として、『広報はえばる』への掲載　全12回。壁新聞の発行　12回。

南風原高校郷土文化コース伝統芸能体験

義足のトライアスロン選手による講話

毎週の放課後勉強会

沖縄戦に関する講話

事業の成果

町内6小中学校で学校支援活動を実施し、各学校で地域住民等の皆さんによる学校支援の活動分野が広がり、子どもと地域の人のふれあう機会が増えました。また、行き届いた指導が行われ教員の負担が軽減されたり、地域学習では教師側も地域の歴史や文化を学ぶ事で学習内容の深化ができたりし、学校教育の充実を図ることができました。さらに、地域住民がこれまで学んできた知識や経験等を生かす場が広がり、地域の教育力の活性化及び地域のきずなづくりも図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,377	6,307		3,234			3,073

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	はえばる大学運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・学生など	町民が生涯学習の一環として広く仲間づくりを行いながら自己の生きがいを探求し、自主的な学習活動を支援する。

事業の実施内容

○はえばる大学運営事業

主な経費　70 千円

- 報償費　（講師謝礼金、マイクロバス運転手謝礼金）　50 千円
- 需用費（消耗品、燃料費）　20 千円

○事業実施内容

- 講座8回、町内視察2回を開催。
- 生徒　19人

回	講　座　内　容
1	開校式、まちづくりについて
2	南風原町の歴史について
3	未来の南風原町にタイムスリップ①～都市計画マスタープランって何？～
4	未来の南風原町にタイムスリップ②～まちづくりの実現に向けて～
5	未来の南風原町にタイムスリップ③～交通基本計画から見る南風原町～
6	ちむどんどん！南風原まちまーい～下村～
7	ちむどんどん！南風原まちまーい～上村～
8	かぼっちゃマン誕生の秘話（講師：新垣 敏　　仲村 政勝）
9	地域のためにできること（講師：街クリーン(株)代表　赤嶺 太介）
10	ゆんたく会　～南風原んちゅぬ主張～、修了式

町内視察

まちづくり講話

事業の成果

南風原町の足元をまず見つめ直し、本町のことを多面的に知ることで、これからの南風原町について学生が意見を交わしアイディアを出し、生涯学習として南風原町の文化や産業等について自主的に深く探求するこができた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	128	70					70

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	陸軍病院壕公開活用事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－7399				項	社会教育費	05
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	文化財保護費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民を含む全国民	戦争の悲惨さを知り、平和と命の尊さを学ぶ場として活用を行います。

事業の実施内容

○陸軍病院壕公開活用事業

主な経費	予算額	決算額
	3，637千円	3，474千円
・壕管理人報酬	2，044千円	2，044千円
・壕管理人期末手当・費用弁償	548千円	498千円
・需用費（印刷費・光熱費・修繕料）	510千円	428千円
・役務費（保険料）	11千円	1千円
・委託料	495千円	494千円
・使用料および賃借料	29千円	9千円

令和4年度は感染症対策を実施しながら、20号壕の一般公開を実施しました。20名未満の見学者については、内部を通り抜けることを可能とし、団体の見学については入口側からのぞきこむ見学を行いました。また、20号壕以外の屋外で見学可能な戦跡案内についても実施しています。

20号壕の安全対策については、例年通りパイプ歪み計・荷重計・変位計などの観測器機を使用し、安全性を確認するための経過観測を行いました。また、東部消防本部の協力を得て、文化財防火デーに合わせて防火訓練をしました。

20号壕の見学案内については、南風原町の平和ガイド養成講座を受講したガイドの皆さんが説明案内を行っていますこれまでに11回実施したガイド養成講座に157名が受講しています。

現在、約40名のガイドが活動を行っており、午前2名、午後2名の体制で見学者の案内にあたっています。

令和5年度の5月からは、コロナ禍以前とほぼ同じように個人・団体問わず壕内部を見学することが可能になっています。まだ見学をしたことがない町民の皆様はぜひご来訪ください（予約制）。

再現臭気に関する研修会・意見交換会

文化財防火デーに実施した防火訓練

事業の成果

コロナ禍以前まで年間9,000～10,000人が訪れていた陸軍病院壕ですが、令和4年度は「4,427名」の見学者数にとどまりました。感染症の流行により県内外の団体見学（修学旅行等）でキャンセルが相次いだためです。見学者数の内、約6割が個人見学の方で、約4割が団体見学でした。

また、20号壕内部の見学再開により、再度ご来訪する見学者もおり、20号壕内部の見学が待ち望まれていたことを確認しています。今後も、陸軍病院壕の保存・活用に鋭意取り組んでいきたいと思います。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,637	3,474		2,034			1,440

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公民館活動の充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	公民館費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・サークル活動等公民館利用者など	公民館講座、各種サークル等の事業を行うことにより、町民の生涯学習の向上を図るとともに交流の場として地域の活性化、発展に寄与する。

事業の実施内容

○主な経費　33,504 千円
- 報酬、手当(館長,管理事務,用務員,管理員)　8,489 千円
- 需用費（光熱水費等）　7,866 千円
- 役務費（通信運搬費等）　759 千円
- その他（舞台技術操作委託、警備委託等）　16,390 千円

○事業実施内容
- 第43回生涯学習・公民館まつり・第14回自治公民館活動実践発表大会
- 公民館講座16講座を開催
- 自治公民館出前講座13講座を開催
- 公民館サークル49団体が活動

○公民館まつり　サークル舞台発表

○自治公民館実践発表（本部）

事業の成果

「公民館まつり・自治公民館活動実践発表」を実施することにより、自治公民館や公民館利用者、サークル会員の一年間の活動の集大成として舞台の部、展示の部、体験コーナーと日頃の成果を発表する事ができました。また、公民館講座、各種サークル等の事業を行うことにより、町民の生涯学習の向上を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	34,151	33,504					33,504

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公民館講座事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	公民館費	02

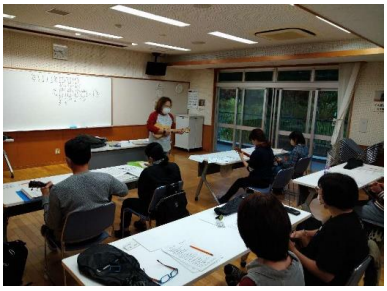
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民および町内の事業所に勤務する者	町民の学習意欲を高め豊かな人間性と創造力を身につけます。

事業の実施内容

○地域学校協働活動推進事業
主な経費
・ 各種講座講師謝礼金　726 千円

（公民館学級講座）全16講座
・ 整理収納（断捨離・終活）
・ スマートフォン講座
・ 自分に合う靴選びと歩き方
・ 親子バルーンアート
・ おだしのイロハと手作り調味料
・ 万能発酵調味料
・ 和紙ちぎり絵
・ お金のきほん
・ 琉球てまり作り
・ 自宅でできるらくらくストレッチ
・ 島ぞうりアート
・ 貯筋体操教室
・ ウクレレ教室
・ 手作り折り紙雛人形
・ 古酒づくり
・ 結書

（自治公民館出前講座）全13講座
・ フラダンス（山川）
・ 太極拳（第二団地）
・ ゴルフ基礎講座（大名）
・ 伝統芸能講座（兼城公民館）
・ 沖縄民踊（本部）
・ 神里舞方棒保存・継承講座（神里）
・ 鉦鼓隊講座（津嘉山）
・ 民俗芸能長者の大主講座（喜屋武）
・ 和風・中華・洋食の調理法（宮城）
・ 民踊（第二団地）
・ 楽しいリズム体操（宮城）
・ 民舞連続講座（北丘ハイツ）
・ カラオケ教室（宮城）



○ウクレレ教室

○和紙ちぎり絵

○島ぞうりアート

事業の成果

公民館は、各種講座を通して学習の場、豊かな心、仲間づくり等につながり、生活の向上に役立っています。新型コロナウイルス感染症の影響による休館もあり例年より少ない講座開催となりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,000	726					726

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	給食材料に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉 純子		款	教育費	10
連絡先	889－3691				項	保健体育費	06
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校給食賄費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立の幼稚園の園児、小学校・中学校の児童・生徒	「食」について正しい理解と習慣を養い、栄養の確保に十分配慮した「おいしく・楽しい・魅力ある学校給食」を実現します。

事業の実施内容

園児児童生徒に給食を提供することで、食事について正しい理解を深め健全な食生活を営むことができる判断力を培い、学校生活を豊かにし、明るい社交性及び共同の精神を養います。また、園児児童生徒の健康の増進を図り、食料の生産・消費についての理解を深めます。

一年間に幼稚園児は一人当たり一食220円で月額3,200円の11ヶ月分、小学生は一人当たり一食248円で月額4,500円の11ヶ月分、中学生は一食275円で月額5,000円の11ヶ月分の給食費を徴収しています。

賄い材料費として、270,244千円を食材等の購入に支出しました。

	予算額	決算額
・需用費（賄い材料費）	281,101千円	270,244千円

タマネギの皮むき作業

・需用費（賄い材料費）270,244千円は、給食費（現年度）より支出いたしました。

事業の成果

安全でおいしい給食の提供や地産地消の取り組みとして、関係機関と連携して町内産、県内産の食材を使った給食を提供しました。
給食費については、滞納者への文書催告及び電話催促を強化し、分割納付の促進及び児童手当窓口給付での納付促進により、現年度分徴収率が98.52％（前年度98.23％）、滞納繰越分収納率11.21％（前年度10.82％）となりました。前年度と比較し現年分収納率と過年度分は各上昇しました。また、南風原町学校給食費徴収条例を制定したことにより、今まで徴収困難だった行方不明者や貧困世帯等を減免することが可能となり、支払い能力のある滞納者へより一層集中して徴収業務にあたることが可能となりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	281,101	270,244				270,244	

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	調理場運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉 純子		款	教育費	10
連絡先	889－3691				項	保健体育費	06
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	共同調理場運営費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立の幼稚園の園児、小学校・中学校の児童・生徒	いつも、安全・安心でおいしい給食が提供できるよう、衛生的な施設の維持を図ります。

事業の実施内容

安全・安心でおいしい給食を提供するために、学校給食共同調理場の施設・設備等は常に清潔で、安全に稼働できるようにしておかなければなりません。そのために、人の体に悪影響を与える細菌がいないか定期的に検査したり、機械・設備等が安定的に稼働できるように専門業者に業務委託をしています。

	予算額	決算額
・需用費	2,630千円	2,615千円
・役務費	571千円	565千円
・委託料（野そ等防除委託料等）	11,490千円	10,917千円
・使用料及び賃借料（マイコンスライサー使用料等）	1,155千円	1,153千円
・備品購入費（給食用コンテナ等）	3,712千円	3,359千円
・償還金	1,574千円	793千円
・公課費	128千円	127千円
合　計	21,260千円	19,529千円

人気の献立（ハンバーグのソースかけ・オニオンスープ）

トーカチ献立（なかみ汁・にんじんイリチー）

事業の成果

学校給食衛生安全基準を遵守し、調理員や施設・設備の衛生管理を徹底しました。それにより、児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持、増進を図るための「安全・安心でおいしい」給食を提供することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	20,394	19,529					19,529

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	就学奨励事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	2・3
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	教育振興費	02

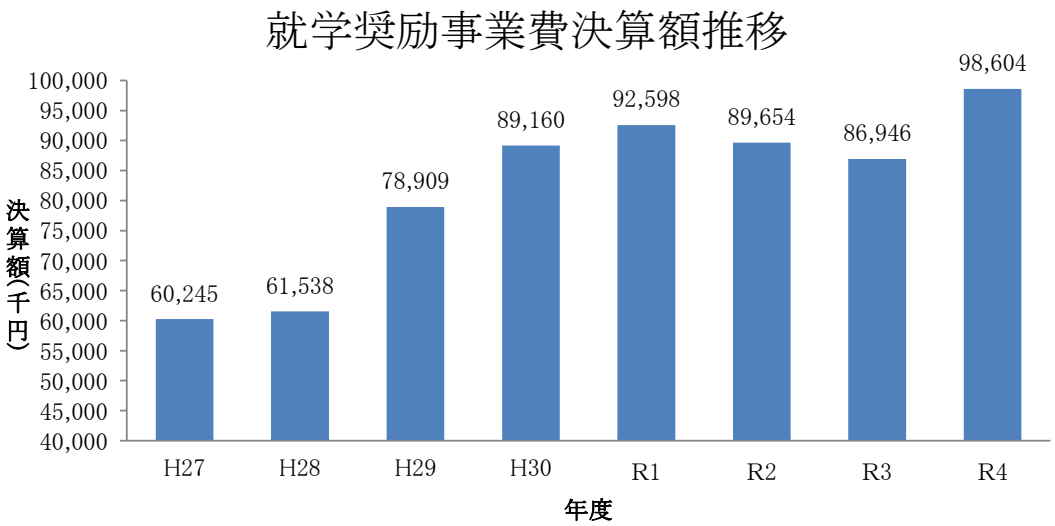
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者及び特別支援学級に在級する児童生徒の保護者	学用品費や給食費等の援助をすることで、保護者の就学に対する経済的負担を軽減し、児童生徒の義務教育の円滑化を実現します。

事業の実施内容

就学奨励事業（予算額　99，169千円、決算額　98，604千円）

要保護準要保護児童生徒援助費
○小学校（予算額　54，371千円、決算額　53，945千円）
要保護準要保護児童援助費支給者数
・要保護　0人　　・準要保護　805人
○中学校（予算額　43，638千円、決算額　43，525千円）
要保護準要保護生徒援助費支給者数
・要保護　2人　　・準要保護　403人

特別支援教育就学奨励費（予算額　1，160千円、決算額　1，134千円）
○小学校（予算額　682千円、決算額　657千円）
支給者数　25人
○中学校（予算額　478千円、決算額　477千円）
支給者数　11人



事業の成果

経済的な理由等により就学困難な児童生徒の保護者に対してや、特別支援学級に通うお子様がいる世帯に対して援助をすることにより、児童生徒が義務教育を円滑に受けることに資することができました。また、入学予定者に対して、入学準備金の前倒し支給を行うことにより、より援助者に対して充実した事業となりました。これをふまえて、町内小中学校の全児童生徒にかかる就学援助割合が小学生24％、中学生26％を支援することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	99,169	98,604	60	10,802			87,742

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園就園援助事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園に通う園児のいる世帯で、生活保護世帯及び町民税非課税世帯にあたる世帯。	給食費等を援助することで、保護者の就園に対する経済的負担を軽減し、園児の幼稚園生活が円滑に行われるようにします。

事業の実施内容

幼稚園就園援助事業(予算額1,614 千円　　決算額　1,537千円　)

○町立幼稚園に通う園児で、預り保育を利用している下記に該当する世帯に対し、おやつ代等を援助しました。

・生活保護受給世帯

・町民税非課税世帯

○援助費（予算額1,614千円　決算額1,537千円）

○幼稚園別援助人数

南風原幼稚園
援助人数　27人

津嘉山幼稚園
援助人数　29人

北丘幼稚園
援助人数　20人

翔南幼稚園
援助人数　16人

事業の成果

町立幼稚園に通う生活保護・非課税世帯等に給食費等の援助を行うことによって、就園に対する経済的負担の軽減を行うことができました。また、就園援助対象者（預かり保育のみ）における就園援助割合が90％以上と多くの生活保護・非課税世帯等に援助を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,614	1,537	0	0			1,537

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園にかかる経費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立4幼稚園の園児	町立4幼稚園の教育時間及び教育時間終了後の預かり保育時間を充実させる事で、園児達の心身の発達を助長します。

事業の実施内容

町立の4幼稚園の園児たちが、安心して幼稚園での生活が送れるように、4歳児、5歳児の2年保育を実施しています。幼稚園の教育時間終了後は、共働き等の保護者ニーズに応え預かり保育を実施しています。
予算としては、主に会計年度任用職員等の人件費に係る経費等を支出しました。

●幼稚園決算額合計　122,176　千円

○一般事務費	予算額	12,613 千円	決算額	12,544 千円
○預かり保育事業	予算額	70,306 千円	決算額	70,241 千円
○会計年度任用職員	予算額	38,658 千円	決算額	38,095 千円
○日本スポーツ振興事業	予算額	80 千円	決算額	76 千円
○幼稚園ICT環境整備事業	予算額	1,830 千円	決算額	1,220 千円

遠足でこどもの国に行って！！

事業の成果

各幼稚園へ専任の園長を配置し、午前の教育時間と午後の預かり保育時間について、充実した環境のもとで園児達の心身の発達を助長することができました。幼稚園ICT環境整備事業の補助金を活用し、各幼稚園へ研修用のパソコンやプリンター、ネットワークの整備を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	123,487	122,176					122,176

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園にかかる経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立4幼稚園の園児	自・他の命を大切にし、健康・安全な生活習慣、食習慣を身につけさせます。1人1人の特性に応じ発達課題に即した指導を行い、自然や身近な動植物及び対人関係を通して道徳性を培います。

事業の実施内容

町立の4幼稚園の園児たちが、安心して幼稚園での生活が送れるように施設整備の維持（光熱費・園医委託料・消防設備保安委託・園施設修繕費等）や、教材費（行事用、教授用消耗品、飼育動物のえさ代等）に係る経費等を支出しました。

●各幼稚園決算額合計　20,735 千円

○南風原幼稚園	予算額	5,721 千円	決算額	5,222 千円
○津嘉山幼稚園	予算額	6,227 千円	決算額	5,795 千円
○北丘幼稚園	予算額	5,945 千円	決算額	5,599 千円
○翔南幼稚園	予算額	4,707 千円	決算額	4,119 千円

事業の成果

町立4幼稚園における幼稚園の維持管理運営経費(光熱費・消耗品・修繕料・役務費等)の適正な執行と、感染症対策を徹底し、快適な環境のもとで園児達の心身の発達を助長することができました。
自然豊かな環境の中、教師やお友達と一緒に関わる中で親しみをもつことができました。また、日々の活動の中からあいさつ・持ち物の片付け・トイレなど基本的な生活習慣を身につけることができました。
朝の会や帰りの会、集会などで話を聞く時の姿勢を日常的に確認させることで、人の話を最後まで聞くことができるようになりました。草花への水やり、飼育活動、室内の清掃をみんなと協力してやり遂げ、やり遂げた後の気持ち良さに気づかせることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,600	20,735					20,735

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	英会話教育の充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校に通う児童・生徒	小学校で英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しむ体験活動を行い、中学校で外国人とのコミュニケーションにより英語に親しみ、国際社会で使える英語を習得させます。

事業の実施内容

○小学校英語指導助手報酬（予算額13，967千円、決算額13，977千円）
〈配置人数〉
・南風原小学校　1名　・津嘉山小学校　1名　・北丘小学校　1名　・翔南小学校　1名
・南風原小学校と北丘小学校の兼務　1名　・津嘉山小学校と翔南小学校の兼務　1名　　合計6名

〈決算額内訳〉
・報酬　11，589千円　・期末手当　2，165千円　・通勤手当　223千円

○外国人英語指導助手（予算額7，021千円、決算額6，862千円）
〈配置人数〉
・南風原中学校　1名（ALT）　・南星中学校　1名（JTE）

〈決算額内訳〉
・報酬　6，054千円　・期末手当　772千円　・通勤手当　36千円

外国人英語指導助手（右）による授業風景

事業の成果

小学校英語指導助手・外国人英語指導助手の配置により、小学校は楽しみながら、中学校は外国人とコミュニケーションをとりながら英語に親しみ、英語の基礎学力の向上に貢献しました。
中学校においては、沖縄県学力到達度調査において本町の平均正答率が県の平均正答率より中学1年生が－3．9ポイント、2年生が－4．8ポイント下回る結果となりました。小学校においては、アンケート調査で「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と思う児童の割合が88．5％となり、外国への興味・関心を高めることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	20,988	20,839		13,494			7,345

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校教育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	幼稚園の幼児、小学校の児童、中学校の生徒及び教諭	学校教育を円滑に運営するため、各種委員会の開催、施設の修繕や維持管理委託などを行います。

事業の実施内容

・ 報酬　　予算額　7,952 千円　　決算額　7,931 千円
教育支援委員会、いじめ問題対策委員会、いじめ防止等専門委員会の各委員報酬及び学校情報推進員の報酬として支出しました。

・ 職員手当等 予算額　1,375 千円　　決算額　1,283 千円
会計年度任用職員3名の期末手当として支出しました。

・ 報償費　　予算額　2,536 千円　　決算額　2,142 千円
就学時健診の医師、登校支援委員、部活動等外部指導員への謝礼金として支出しました。

・ 旅費　　予算額　276 千円　　決算額　262 千円
各委員会の委員、会計年度任用職員への費用弁償として支出しました。

・ 需用費　　予算額　871 千円　　決算額　870 千円
就学時健診で使用する消耗品、知能検査用紙、防犯ブザーなどの購入費として支出しました。

・ 役務費　　予算額　687 千円　　決算額　425 千円
学習支援ボランティア及び学校備品の保険料、議事録作成手数料として支出しました。

・ 委託料　　予算額　6,998 千円　　決算額　6,287 千円
ストレスチェック、知能検査、就学時健診、学校産業医、スクールロイヤーやパソコン保守管理などの委託料として支出しました。

・ 使用料及び賃借料　　予算額　2,265 千円　　決算額　2,261 千円
学校用サーバー等の賃借料やライセンスの使用料として支出しました。

・ 負担金、補助金等　予算額　8,168 千円　　決算額　8,140 千円

主な支出
- JET負担金　496 千円
- 町学力向上推進委員会補助金　1,300 千円
- 島尻地区教育研究所負担金　4,620 千円
- 適応指導教室事業設置負担金　927 千円
- 授業目的公衆送信補償金等管理協会負担金　710 千円

事業の成果

・講師を招聘し、町内学校の教諭を対象に教育研修会や四園研修会を開催し、資質向上を図りました。
・いじめ問題対策委員会を開催し、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携に関し協議をするとともに、当該機関及び団体相互の連絡調整を図りました。また、いじめ防止等専門委員会では、いじめの防止等のための対策の推進に関する事項について審議し、いじめ防止に向けて取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,128	29,601		714			28,887

令和４度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	特別支援教育支援員（ヘルパー）配置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費・幼稚園費	2・3・4
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・幼稚園費	01

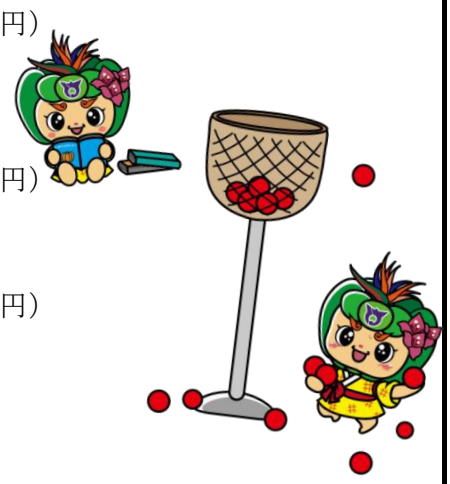
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園、小学校、中学校に通う特別な支援を要する園児及び児童生徒	特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の改善を図ります。

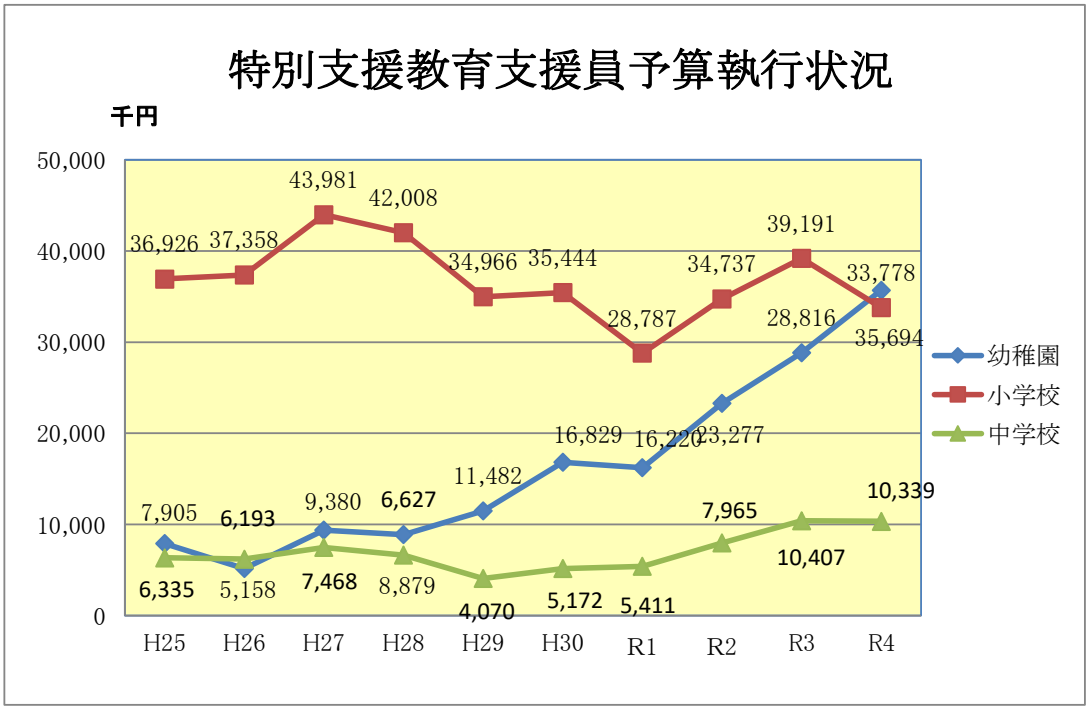
事業の実施内容

○小学校　（予算額　35，045千円、　決算額　33，778千円）
　配置人数　23名
　・南風原小学校　5名　　・津嘉山小学校　8名
　・北丘小学校　　6名　　・翔南小学校　　4名

○中学校　（予算額　10，639千円、　決算額　10，339千円）
　配置人数　6名
　・南風原中学校　3名　　・南星中学校　　3名

○幼稚園　（予算額　36，248千円、　決算額　35，694千円）
　配置人数　25名
　・南風原幼稚園　4名　　・津嘉山幼稚園　8名
　・北丘幼稚園　　9名　　・翔南幼稚園　　4名





事業の成果

町立幼稚園、小学校及び中学校へ特別支援教育支援員を配置したことで、特別な支援を要する園児及び児童生徒が安全な園生活、学校生活を送ることができました。
また、夏休み期間中に幼小中合同で発達の違いに応じた支援方法等の研修を行い、特別支援教育支援員の質の向上に務めました。
年度末には、特別支援教育支援員の対応への満足度について対象児童となる保護者へのアンケートを実施し、104名からの回答を集計した結果、満足度96．5%の成果がありました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	81,932	79,811		59,990			19,821

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学力調査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校の児童生徒、教諭等	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げます。

事業の実施内容

学力調査事業委託料（予算額　4，338千円　　決算額　4，230千円　）

〇学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施しました。
また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、外部講師による公開授業を実施し、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組みました。

①標準学力調査の実施
・小学校4校　2年：国語・算数
決算額　762千円

②学力調査の実施
・中学校2校　3年：国語・数学・理科・社会・英語
決算額　691千円

③リーディングスキルテストの実施
・小学校4校　6年
・中学校2校　1年～2年
・教員
決算額　2，531千円

④外部講師による公開授業等の実施
決算額　246千円

事業の成果

標準学力調査、学力調査、リーディングスキルテストについて、対象の小中学校で計画どおり実施する事ができました。また、外部講師による公開授業の実施も計画通り実施できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,338	4,230	0	3,383	0	0	847

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校ICT推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	02・03
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	教育振興費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	小・中学校にICT環境を整備します。	小・中学校に電子黒板等のICT機器を整備し、学力向上を目的とした魅力ある授業づくりを目指します。

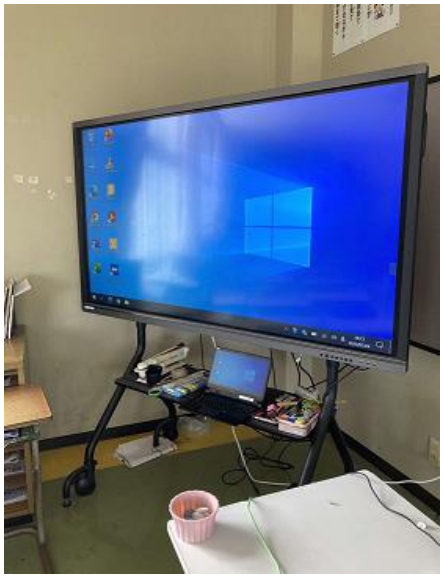
事業の実施内容

小中学校にICT支援員を配置し、電子黒板やタブレットなどのICT機器を活用した授業の他、オンラインでの学習や行事などの支援を行いました。また、支援員による様々な研修会を行い、教諭のICTスキルの向上に努めました。その他では、新たに増えたクラスへ電子黒板一式の整備を行うなど、学校ICT機器の環境整備を実施しました。

小中学校決算合計額　　8，866 千円

○ICT支援員委託料（1名）
小学校（予算額　4，437千円、決算額　4，437千円）
中学校（予算額　2，219千円、決算額　2，218千円）

○備品購入費
小学校（予算額　2，211千円、決算額　2，211千円）
・電子黒板一式（3台）



↑　新たに増えたクラスへ配置した電子黒板一式

事業の成果

ICT支援員を配置したことで、教諭や児童・生徒のICT機器に対する苦手意識が軽減され、ICT機器の授業での活用、教材づくり等の支援に役立てることができました。また、一部の行事をオンラインで行うなど、ICT支援員が積極的に支援することで、スムーズに実施することができました。
ICT機器においては、新たに増えたクラスへ電子黒板一式の整備を図り、学習環境の整備を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,867	8,866		7,092			1,774

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校ICT環境整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	02・03
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	教育振興費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	小・中学校にICT環境を整備します。	小中学校にICT環境の整備を行い、学力向上を目的とした魅力ある授業づくりを目指します。

事業の実施内容

小中学校にネットワーク環境や児童生徒用端末の整備を行い、児童生徒一人ひとりがオンラインを活用した学習が行えるよう、学校ICT機器などの整備を行いました。

小中学校決算合計額　29，324 千円

○通信運搬費
小学校（予算額　349千円、決算額　264千円）
中学校（予算額　175千円、決算額　132千円）
※インターネット回線料

○委託料
小学校（予算額　11，613千円、決算額　11，572千円）
中学校（予算額　7，959千円、決算額　7，958千円）
※ネットワーク環境整備委託料、ネットワーク保守委託料等

○使用料及び賃借料
小学校（予算額　5，029千円、決算額　4，383千円）
中学校（予算額　2，334千円、決算額　2，207千円）
※授業支援ソフトライセンス使用料、学習ドリル使用料

○備品購入費
小学校（予算額　2，126千円、決算額　2，125千円）
中学校（予算額　713千円、決算額　683千円）
※児童生徒用端末購入費

↑各学校へ整備している
児童生徒用端末

事業の成果

ネットワーク環境や児童生徒用端末を整備したことで、各教室においてオンラインを活用した学習が行えるようになりました。また、授業支援ソフトを活用した授業では、1つの課題を同時に取り組むことができ、授業環境の多様化に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,298	29,324	15,576				13,748

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	小学校（学校管理費・教育振興費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費	02
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・教育振興費	1・2

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	小学校の児童	小学校に通う児童が学習しやすい環境をつくります。

事業の実施内容

町内にある4小学校のこどもたちが、安心して学校生活を送れるように、施設設備の維持（光熱水費・消防用設備管理委託・学校施設修繕費等）、児童健康診断費用、各教科（教育振興備品・各種大会派遣費等）などにかかる経費を支出しました。
また、4小学校で消防用設備等の保守管理委託料は15,850千円、教育振興備品は1,517千円を支出しました。

小学校決算合計額 123,569 千円

○南風原小学校　予算額 35,770 千円　決算額 34,849 千円

○津嘉山小学校　予算額 36,557 千円　決算額 34,812 千円

○北丘小学校　予算額 31,054 千円　決算額 30,050 千円

○翔南小学校　予算額 24,837 千円　決算額 23,858 千円

令和4年度に購入した教育振興備品（体育）

事業の成果

町立4小学校の学校管理・運営等で使う物品の購入・修繕・役務費・使用料及び賃借料等の学校管理費、授業や学校行事等で使う教育振興費を、効率的な予算執行に努めた結果、教育環境の整備を図ることができ、児童の健全育成及び学力向上に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	128,218	123,569		0			123,569

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	中学校（学校管理費・教育振興費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	中学校費	03
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・教育振興費	1・2

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	中学校の生徒	中学校に通う生徒が学習しやすい環境をつくります。

事業の実施内容

町内にある2中学校の生徒たちが、安心して学校生活を送れるように、施設設備の維持（光熱水費・消防用設備管理委託・学校施設修繕費等）、生徒健康診断費用、各教科にかかる経費（教育振興費の備品・各種大会派遣費等）を支出しました。

また、2中学校で消防用設備等の保守管理委託料は7,635千円、教育振興備品は1,350千円を支出しました。

中学校決算合計額　62,756　千円

○南風原中学校　予算額 36,657 千円　決算額 34,622 千円

○南星中学校　予算額 29,455 千円　決算額 28,134 千円

令和4年度に購入した振興備品（技術、理科）

事業の成果

町立2中学校の学校管理・運営等で使う物品の購入・修繕・役務費・使用料及び賃借料等の学校管理費、授業や学校行事等で使う教育振興費を、効率的な予算執行に努めた結果、教育環境の整備を図ることができ、生徒の学力向上及び健全育成に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	66,112	62,756					62,756

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学習支援員等配置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	2・3
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校に通う学習支援を必要とする児童・生徒	教員免許を有する者を学習支援員として各校に派遣し、担任教諭の助手として、各学級及び各学年で遅れのある児童生徒への学習支援を行い、学力の向上を図ります。

事業の実施内容

○小学校　（予算額　18，579千円、決算額　18，424千円）
〈配置人数〉
・南風原小学校 2名　・津嘉山小学校 2名　・北丘小学校 2名　・翔南小学校 2名

〈決算額内訳〉
・報酬　15，227千円　　・期末手当　2，916千円　　・通勤手当　281千円

○中学校　（予算額　9，918千円、決算額　9，905千円）
〈配置人数〉
・南風原中学校2名　　・南星中学校2名

〈決算額内訳〉
・報酬　8，098千円　　・期末手当　1，685千円　　・通勤手当　122千円

学習支援員による授業風景

事業の成果

町立4小学校及び2中学校へ学習支援員を配置することにより、個別指導や補習指導支援を行うことができ、児童生徒の基礎学力向上および定着のための環境整備を図ることができました。
沖縄県学力到達度調査で県の平均正答率より、中学校については数学が−0．2ポイントでほぼ平均であり、小学校については算数が1ポイント上回る成果がありました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,497	28,329		22,185			6,144

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園体育活動充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	幼稚園費	04
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立4幼稚園5歳児及び4歳児	専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施し、運動することの楽しさを教え、さらには運動能力を向上させます。

事業の実施内容

・委託料　　予算額　1，895千円　　決算額　1，779千円
※プロポーザルの際の提案額により、予算額より55千円減
※受託業者の新型コロナウイルス感染症の影響に伴い61千円減
（幼稚園職員向けの体育指導講習会座学1回分、実技4回分の減）
（南風原町立幼稚園体育活動充実支援委託業務）

○南風原町立幼稚園児5歳児及び4歳児クラスを対象に、各園体育指導を実施（5歳児27回、4歳児9回）し、模倣遊びやバルーン遊びで運動することの楽しさを学び、平均台・鉄棒・跳び箱運動で運動能力の向上に努めました。
○年間の委託業務数の中で、幼稚園職員への実技指導（座学）を行いました。（受託業者の新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、幼稚園職員向け講習会の実施回数減）

跳び箱

逆上がり

項目	令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合
5歳児クラス幼児数	350人	―	340人	―
逆上がり習得者	101人	28.9%	145人	42.6%
跳び箱3段習得者	284人	81.1%	301人	88.5%
体育遊びが好きな人（アンケート）	326人	93.1%	320人	94.1%

・保護者アンケート

項目	割合
お子さんが体育指導（体育遊び）を楽しみにしていた	93.8%
お子さんの運動能力が上がったと感じる	95.1%
体育指導（体育遊び）はよい取り組みだと思う	99.1%

事業の成果

指導について事前に各園と受託事業者と調整したり、日程等の実施スケジュールを組むことができました。前年度と比べると、逆上がり習得者、跳び箱3段習得者、体育遊びが好きな人の割合はすべて増加しています。
保護者アンケートでも体育指導（体育遊び）はよい取り組みだと思うと、99.1％の人が回答しています。
受託業者の新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、幼稚園職員への実技指導の回数（講習・実技）が減りましたが、幼稚園職員への実技指導を行うことで、普段の幼稚園体育に活かすことができます。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,895	1,779		1,422			357

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	北丘小学校体育館等整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	小学校費	02
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校建設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	北丘小学校の児童	老朽化した体育館の建て替え及びプール施設を改修する事て、児童が安全安心に活動できる体育館とプールを整備します。

事業の実施内容

令和3年度から繰り越した業務については完成しました。
令和4年度の北丘小学校屋内運動場（体育館）の改築工事及びプール施設の改修工事については、事業を繰り越して、北丘小学校屋内運動場（体育館）の改築工事は令和5年12月、プール施設の改修工事は令和5年8月に完了予定です。

○北丘小学校屋内運動場改築事業【繰越】 委託費（予算額　33,632千円、決算額33,632千円）
○北丘小学校屋内運動場改築事業　工事請負費（予算額667,150千円、繰越額436,727千円）
○北丘小学校屋内運動場改築事業　委託費（予算額　31,526千円、繰越額13,090千円）

工事の状況

イメージ図

事業の成果

令和3年度【繰越】　屋内運動場（体育館）実施設計は完了しました。
令和4年度　　磁気探査調査委託は完了した。繰り越しの工事及び管理委託業務は令和5年12月完了予定です。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	698,676	283,978	0	118,900	107,300		57,778

３　ちむぐくるでともに
つくる福祉と健康のまち

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	社会福祉団体育成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	社会福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会福祉協議会、民生委員連合会、沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金	住み慣れた地域で健康で安心した生活を送れるよう、社協をはじめ各福祉団体と協働で地域福祉を推進し「ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち」をめざします。

事業の実施内容

社会福祉協議会、民生委員連合会への補助金交付を行うことにより、福祉活動の協働・推進・支援を行いました。

●南風原町社会福祉協議会への助成　100，550千円

（内訳）①運営補助金　77，032千円

・職員の人件費、役務費、県社協負担金、通信運搬費、雑費、委託費となっています。

②支えあうまちづくり事業補助金　16，344千円

・主な活動実績として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を9人配置し、地域とともに積極的な関わりを行うことによって福祉課題を解決しました。相談支援の件数は訪問が945件、来所が146件、電話1，301件、その他が297件、合計で2，689件の延べ相談件数となりました。

③福祉総合相談事業補助金　7，084千円

・町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談員を配置し適切な助言・援助を行うとともに法律相談、司法書士相談を実施。本年度の主な相談件数は生計に関する事3，238件、医療・健康に関する事696件、職業・生業に関する事462件となっており、その他と合計して延べ5，966件の相談を受け問題解決に取り組みました。

④ボランティアセンター運営事業　90千円

・「福祉教育の推進」では福祉教育・地域福祉活動実践報告会、教諭等福祉研修会、福祉教育推進事業助成等を行いました。「ボランティア養成研修の充実」では、10代のボランティア研修会の開催、各ボランティア養成講座（音訳ボランティア養成講座、手話ボランティア養成講座）を支援しました。その他「ボランティアセンター基盤整備」ではボランティアセンター運営委員会の開催支援を行いました。

●民生委員児童委員連合会補助金　6，769千円

民生委員・児童委員の活動状況は、主な内容別相談として日常的な支援が152件と最も多く、次いで住居に関する事が85件、健康・保健医療に関する事が58件、生活費に関する事が51件、子どもの教育・学校生活に関する事が27件となっています。分野別相談・支援件数は、高齢者に関する事が287件、子どもに関することが66件、障害者に関する事が35件、その他184件で合計572件の相談支援件数となっています。毎月1回の定例会の実施や各種研修会へ参加をしました。

●沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金　80千円

事業の成果

「地域福祉の推進を図る中核的組織」である社会福祉協議会、地域住民・関係機関・団体及び社会福祉施設等との連携を担う民生委員連合会に補助を行う事により、福祉のまちづくりの協働・推進が図られ町民の福祉向上に貢献できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	103,161	107,399	2,250				105,149

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	国民健康保険事業（国民健康保険特別会計）			予算科目	会計	国民健康保険特別会計	02
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款		
連絡先	889－1798				項		
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目		

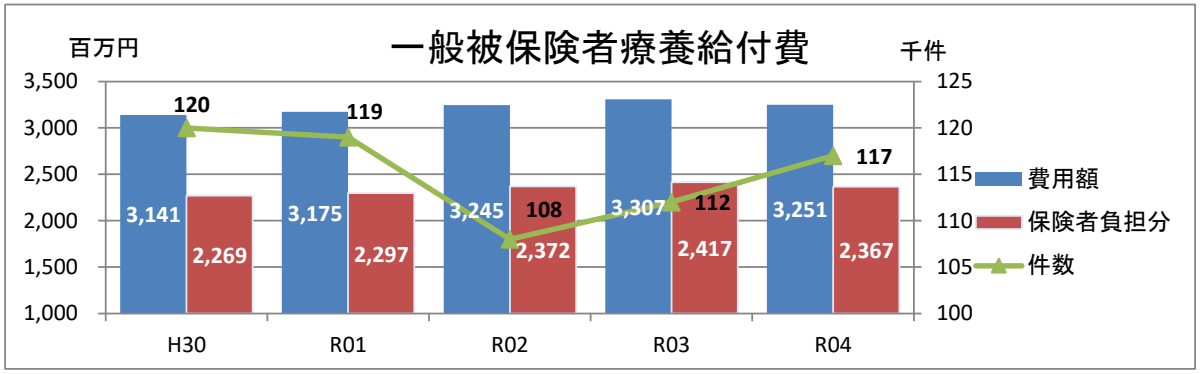
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	国民健康保険の加入者（被保険者）が病気やケガ、出産等により医療費等がかかった場合に保険給付を行います。	病気やケガにかかる医療等に対して保険給付を行うことにより、被保険者の経済的負担や心理的不安が軽減され、健康の増進や生活の安定を図ります。

事業の実施内容

病気やケガ等により医療機関で治療や投薬を受けると、被保険者はかかった医療費の3割を自己負担します。（70歳以上は2割又は3割、未就学児は2割を自己負担します。）残りの医療費は町の国保特別会計から支払われます。

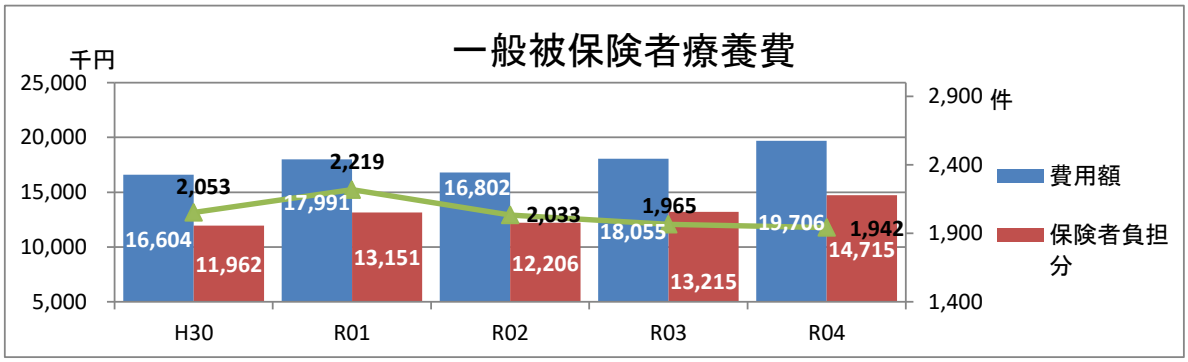
◆ 一般被保険者療養給付費　（2款1項1目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
117,102	3,251,064	2,367,276



◆一般被保険者療養費（2款1項3目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
1,942	19,706	14,715



◆一般被保険者高額療養費（2款2項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
5,002	402,815

◆一般被保険者高額介護合算療養費（2款2項3目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
24	725

◆出産育児一時金（2款4項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
35	14,698

◆葬祭費（2款5項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
63	1,260

次ページへ続く　→

事業の実施内容

◆傷病手当金（2款6項1目）

件数	保険者負担分
47	1,253

（単位：千円）

◆国民健康保険事業費納付金（3款）　1,235,052　千円

平成30年度に始まった国民健康保険の県単位化に伴い、国・県からの特別調整交付金及び被保険者からの保険税として集めた費用を、南風原町の納付金として負担しました。

◆総務費 総務管理費 一般管理費（1款1項1目）　職員給与費等　125,922　千円

◆保険税収納率向上に係る経費　（1款2項2目）　11,211　千円

収納活動の円滑な実現が図られるよう納付指導員を4名採用し、納期内納付を推進するとともに滞納者等を対象に次のことを行いました。

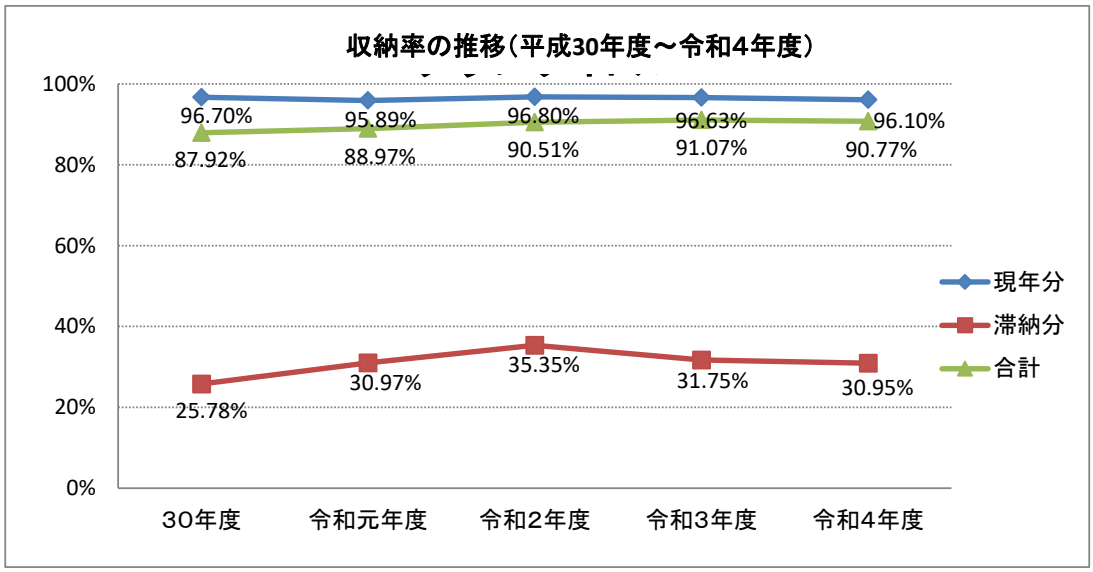
（1）夜8時までの夜間窓口を開設（毎週木曜日）し、納税相談等に利用しやすい環境づくりの実施。
（2）各地区に担当納付指導員を配置し、個別による納付相談の実施。

（3）電話による催促、文書の送付、呼び出し等による納税相談の実施。

（4）滞納者の生活状況、資産、収入の調査を行い、滞納処分（債権差押え）による徴収の強化。
☆生活困窮世帯からの相談には、社会福祉協議会相談員等との連携により、計画的に国保税の納付ができる環境作りに努めました。

（収納率の推移）　単位（%）

年度	現年分	滞納分	合計
平成30年度	96.7	25.78	87.92
令和元年度	95.89	30.97	88.97
令和2年度	96.8	35.35	90.51
令和3年度	96.63	31.75	91.07
令和4年度	96.1	30.95	90.77



◆ 特定健康診査等事業　（6款1項1目）

対象者

南風原町国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査実施年度中に40歳から74歳となる者。

内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を行い、自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようサポートします。

特定健康診査等委託料　16,381千円　報酬・賃金・報償費等 15,713千円
その他 8,690千円

合計　40,784千円

次ページへ続く →

事業の実施内容

【健診項目】

1. 基本的な健診項目

身体測定(身長、体重、BMI、腹囲)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、血液化学検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)、肝機能検査(GOT、GPT、r―GTP)、血糖検査(空腹時または随時)、HbA1c検査、尿検査(尿糖、尿蛋白)、腎機能検査(血清クレアチニン)、血清尿酸検査

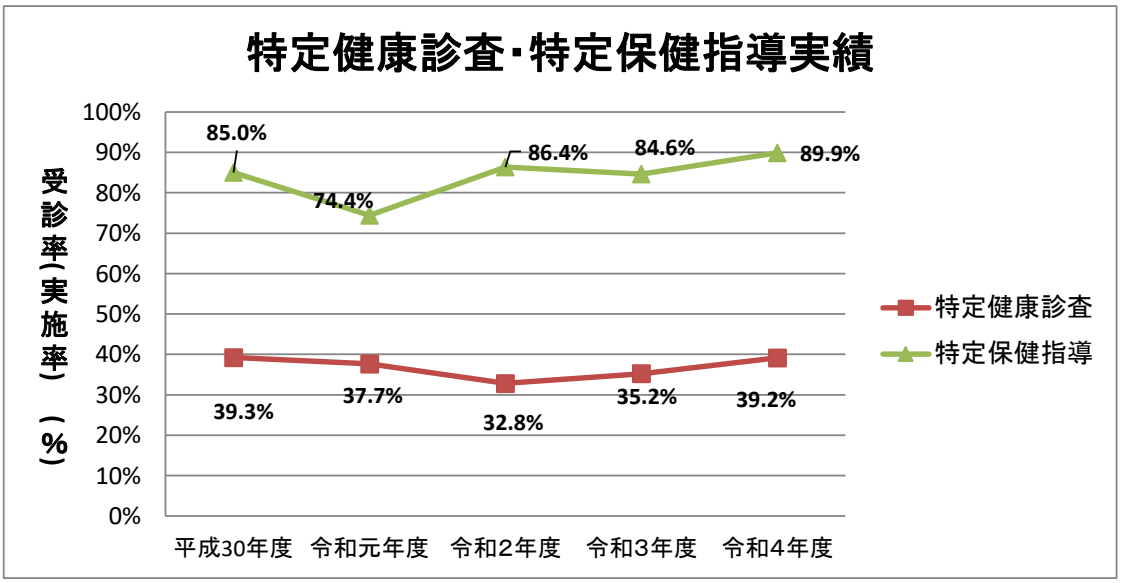
2. 詳細な検査の項目
心電図、眼底検査、貧血検査(赤血球数、血色素量[ヘモグロビン値]、ヘマトクリット値)のうち、一定の基準の下、医師が必要と判断したものを選択

3. 二次健診の項目
75g糖負荷検査、頸部エコー検査、血圧脈波検査(ABI、PWV)、微量アルブミン尿検査

特定健康診査・特定保健指導実績一覧表

項目 / 年度	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
H30	5,228	2,052	39.3%	292	233	84.0%
R01	5,219	1,965	37.7%	258	192	85.0%
R02	5,222	1,715	32.8%	337	291	86.4%
R03	5,228	1,842	35.2%	241	204	84.6%
R04	5,333	2,089	39.2%	267	240	89.9%

※上記実績は法定報告によるものです。令和4年度は法定報告がまだの為、R5.6月末現在値となっています。



事業の成果

〈給付に係る経費〉
被保険者への保険給付等を実施する事により、医療の普及、保健の向上、生活の安定を図り、健康の保持・増進に寄与しました。
〈保険税収納率向上に係る経費〉
収納率(合計)　令和2年度 90.51%　令和3年度 91.07%　令和4年度 90.77%
収納率は対前年度より0.3ポイント減となりましたが、納税者の国保制度に対する深い理解と関係各課等と連絡を密にした徴収の取り組み等により、90%台を維持しています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,356,704	4,268,556	103	2,987,489		7,244	1,273,720

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者医療対策費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	民生費	03
連絡先	889－1798				項	老人福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	高齢者医療対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	医療保険加入者で75歳以上の人又は65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。	後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することを目的とします。

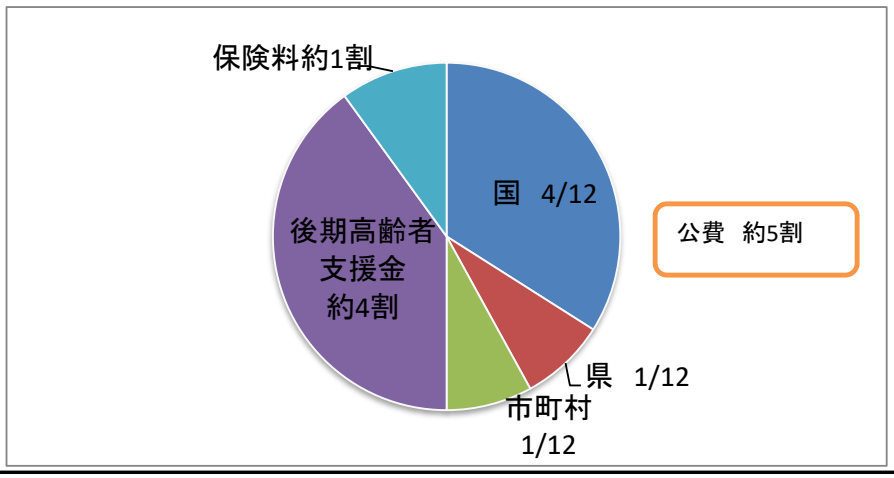
事業の実施内容

後期高齢者医療制度の安定的運営を目指して、保険者である沖縄県後期高齢者医療広域連合へ療養給付費のほか事務費、基盤安定（保険料軽減対策）などの負担金を支出しています。

◆ 後期高齢者医療制度に係る経費（決算額）

・会計年度任用職員報酬等（保健師、看護師）	5,548 千円
・消耗品費	57 千円
・公用車リース料	420 千円
・後期高齢者保険料保険基盤安定負担金繰出金	63,591 千円
・後期高齢者療養給付費負担金(現年度分)	260,037 千円
・後期高齢者医療広域連合負担金	20,543 千円
・後期高齢者特別会計へ事務費等繰出金	10,195 千円
・はり、きゅう、あん摩、マッサージ補助金	141 千円
合　計	360,532 千円

【参考　後期高齢者医療制度の財政の全体のイメージ】



事業の成果

これまでの医療費適正化事業に変わり、令和2年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が始まりました。保健師が健診データを分析し、看護師が保健指導・長寿健診受診勧奨を実施し、生活習慣病を重症化させないように努めることができました。後期高齢者の医療給付費・事務費等の費用の一部を負担することにより後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	360,826	360,532	0	47,692		6,149	306,691

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

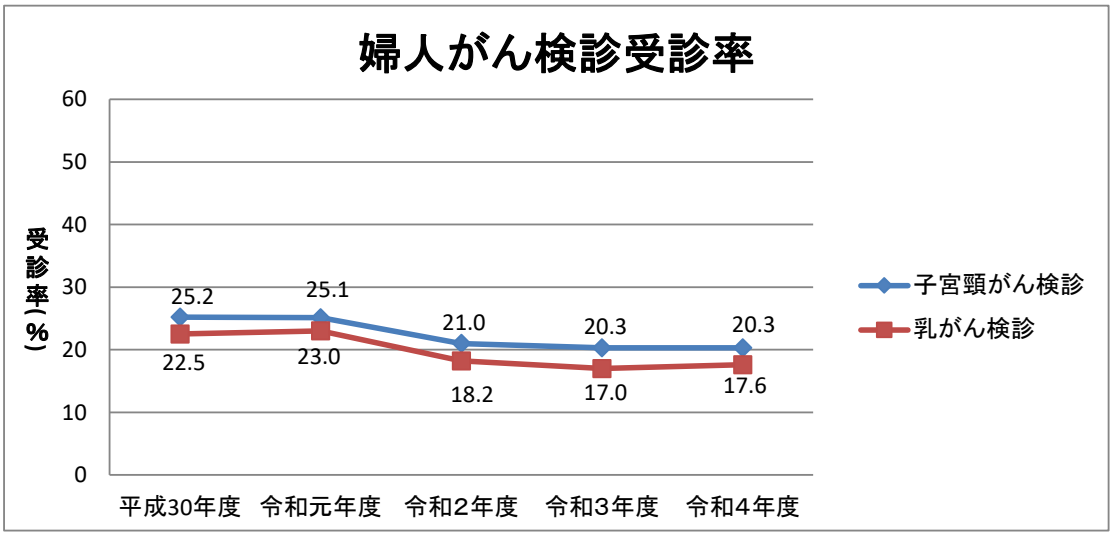
事業名	婦人がん検診事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－1798				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	成人保健対策費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	職場等で婦人がん検診を受診する機会のない女性の方を対象としています。子宮がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上の方の受診料を助成します。	受診料を助成し経済的な面で受診しやすい環境を整えることにより、婦人がんの早期発見・早期治療に役立て、町民の健康の保持・増進を図ります。

事業の実施内容

○婦人がん検診事業費

婦人がん検診委託料	9,375 千円
婦人がん検診通知等（通信運搬費）	55 千円
その他	249 千円



※受診率＝(「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100
※地域保健・健康増進事業報告書算出による受診率

○女性特有のがん検診推進事業
　この事業は、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、健康保持・増進を図るため、がん検診受診率を50%に上げることを目的として、以下の年齢の女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳と検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図ります。

クーポン対象年齢

【子宮頸がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
20歳	平成13年4月2日～平成14年4月1日

【乳がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
40歳	昭和56年4月2日～昭和57年4月1日

事業の成果

検診を受けることにより、受診者の「がん」に対する早期発見等の予防意識の高まりへ繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,750	9,679		81			9,598

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住民健診（健康診査）事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	成人保健対策費	05

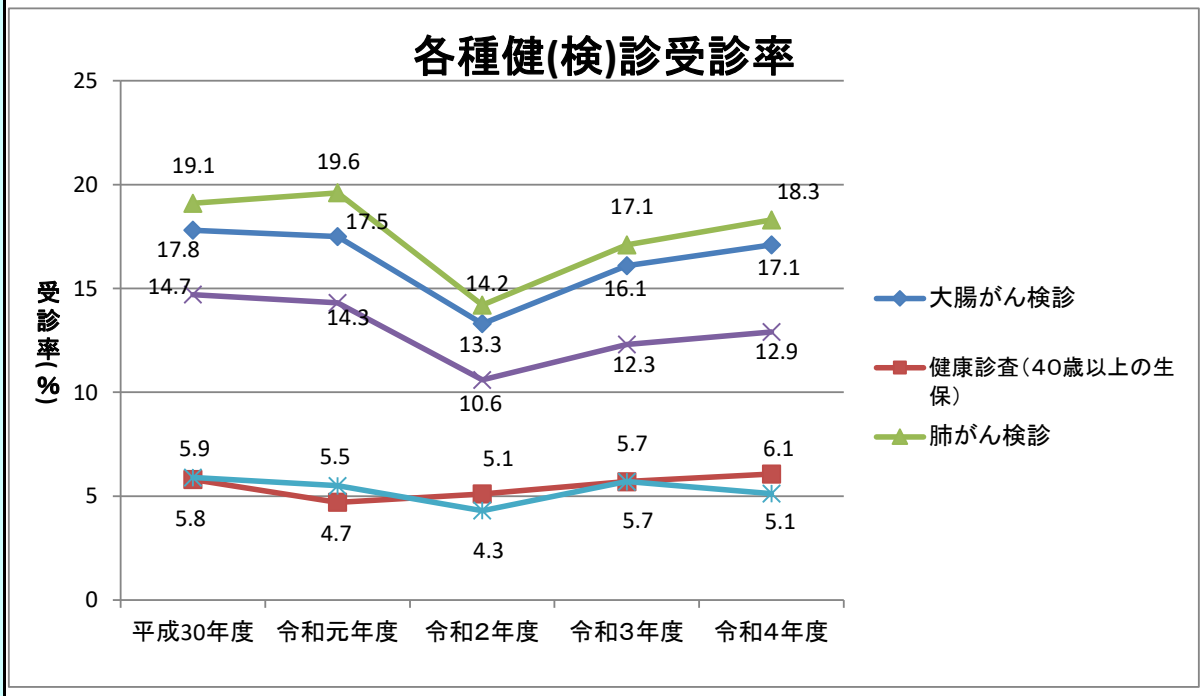
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	40歳未満の方で、学校や職場等で健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に受診料を助成します。	受診料を助成し、経済的な面で受診しやすい環境を整えることで、町民の健康の保持と病気の早期発見、適切な医療の確保と、健康寿命の延伸を図ります。

事業の実施内容

40歳未満の方で、学校や職場などで健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に、住民健康診査（身長・体重・腹囲・尿検査・血液検査・医師の診察）を行います。希望者は、胃、肺、大腸がん検診及び眼底、心電図検査が受診できます。

住民健診(健康診査)事業費

基本健診委託料（40歳未満・生保）	2,695 千円
胃がん検診委託料	7,806 千円
肺がん検診委託料	6,808 千円
大腸がん検診委託料	4,051 千円
その他	2,212 千円



※40歳未満健診の受診率は、対象者名簿により算出しています。
※40歳以上で生活保護の方の健診の受診率は、健康増進事業費補助金事業実績報告より算定しています。
※各種がん検診受診率は、医療機関実績報告により算定しています。

事業の成果

各種検診を医療機関への委託により実施した結果、要注意者、要治療者等を早期に発見し、早期治療・事後指導に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	25,667	23,572		171			23,401

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	後期高齢者医療事業			予算科目	会計	後期高齢者医療特別会計	09
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款		
連絡先	889－1798				項		
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目		

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	75歳以上の人に対して、高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえた医療サービスを行います。	高齢期における医療の確保を図るため、共同連帯の理念等に基づき、適切な医療の給付等を行い、保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ります。

事業の実施内容

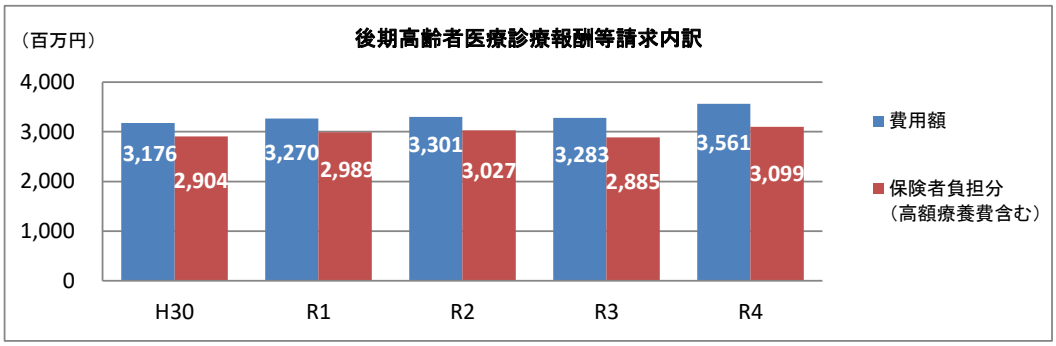
(1)対象者：75歳以上の方（一定の障害がある65歳以上の方）
(2)被保険者数：3,376人(令和4年度平均被保険者数)
(3)事業費（決算額）
- ・総務費（職員給与等）　10,720 千円
- ・後期高齢者医療広域連合納付金　345,383 千円
- ・諸支出金　223 千円

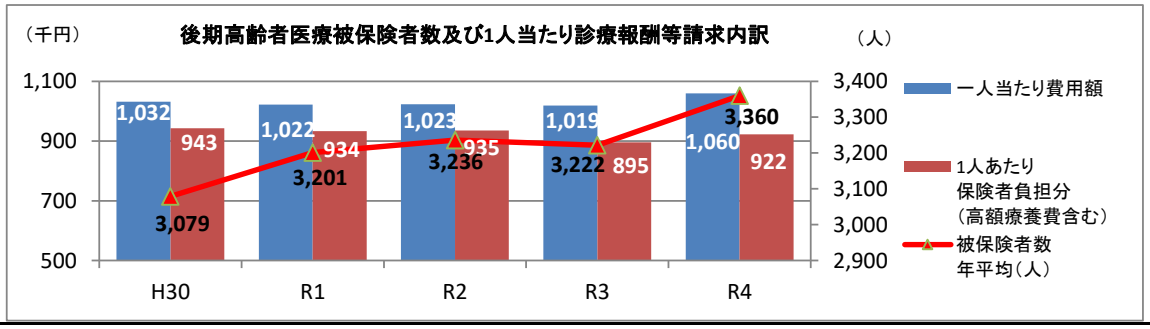
★主な事業内容
- ・被保険者の資格管理に関する申請及び届出の受付
- ・被保険者証及び資格証明書の引渡し・同返還の受付
- ・医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し
- ・保険料の徴収

【　保険料収納率　】

後期高齢者医療保険料収納率（%）

年度	現年度	滞繰分	計
平成30年度	99.81	54.72	99.64
令和元年度	99.41	62.67	99.23
令和2年度	99.82	55.70	99.57
令和3年度	99.05	27.46	98.32
令和4年度	99.17	74.76	99.14





事業の成果

沖縄県を単位とした広域連合が保険料の賦課及び医療給付を行い、高齢社会の中で財政基盤の安定化を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	358,458	356,326				281,911	74,415

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護予防事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者	地域における65歳以上の高齢者ができる限り要介護状態に陥る事なく、健康でいきいきとした生活が送れるよう、介護予防事業の充実を図ります。

事業の実施内容

1．一般高齢介護予防通所事業（地域型）

地域の公民館を拠点に、地域ボランティアの協力のもと、健康チェックやレクリエーション等を通して生きがいと健康づくり、介護予防、交流の場の提供、社会参加の促進と社会的孤立感の解消等の支援をしました。

主な経費：一般高齢介護予防通所事業委託料　11，901千円
実施自治会等：19カ所
延べ利用者数：3，669人

2．食の自立支援サービス事業（配食サービス）

毎日の食事の確保が困難な高齢者の栄養バランスを整えるとともに、定期的な訪問による安否の確認を行うことで、食の確保と健康維持、安全を確認する等の生活の支援をしました。

栄養改善事業（配食サービス）
主な経費：栄養改善事業委託料　1，819千円
実利用者数　：18人　　配食数　：3，899食

3．高齢者水中運動教室

膝・腰などの関節に疾患がある方等を対象に、水中で浮力を使って効果的に運動することにより、身体機能を高めバランス能力を向上させ転倒予防を図りました。

主な経費：一般介護予防事業　水中運動教室委託料（一般・フォローアップクラス）2，684千円
短期C介護予防・生活支援サービス事業　水中運動教室委託料（通年）1，920千円
参加者数：一般クラス　22人　フォローアップクラス　109人
短期C　60人

4．運動機能向上事業（《元気アップ事業》訪問型サービス事業）

健康運動指導士・リハビリテーション職の専門職が、要介護状態及び要支援状態になるおそれのある高齢者の居宅を訪問し、要介護状態等になることを予防します。今年度申請のあった方は介護保険による継続的な訪問リハビリが適していると判断したため利用者はいませんでした。

主な経費：講師謝礼金　0千円
利用者数：0人（実施回数：0回）

5．運動機能向上事業（通年型介護予防事業）

自主活動に繋げることを条件として希望する1地区へ、字公民館にて、毎週1回運動指導士や介護予防看護師を派遣することにより運動習慣を身につけ、筋力柔軟性の向上を図ることで要介護状態となることを予防するための支援をしました。

主な経費：講師謝礼金　600千円
実施場所：山川集落センター・与那覇公民館・宮城構造改善センター
参加人数：34人（実施回数：110回）

6．介護予防リーダー養成講座

介護予防の重要性についての講話や体操等の実技指導を行うことで、介護予防の担い手として活動する地域の介護予防サポーターを養成しました。

主な経費：講師謝礼金　16千円
参加人数：延べ59人（実施回数：4回）

次ページへつづく →

事業の実施内容	

7．リハビリテーション専門職派遣事業

地域における介護予防の取り組みを機能強化し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指し、高齢者の自立支援に対する取り組みを図りました。

主な経費： 講師謝礼金　376千円
実施場所： ちむぐくる館、各字公民館・集会所（一般高齢介護予防通所事業(地域型)）
実施回数： 37回

8．その他各種介護予防事業等

①一般介護予防事業　高齢者筋力トレーニング教室（通年）

専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。

主な経費： 委託料　2，430千円
参加者数： 110人

②介護予防・生活支援サービス事業　高齢者筋力トレーニング／水中運動教室教室

専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。

主な経費： 委託料　3，840千円
参加者数： 181人

③ノルディックウォーキング教室
2本のポールを使用し、関節・膝の負担を軽減しながらウェーキングを行いました。
参加人数：13人（延べ83人）

④介護予防ヨガ教室
介護予防のため、ヨガを通して筋力や持久力、バランス能力低下の予防を図りました。
参加人数：34人（延べ193人）

⑤操体事業

介護予防を目的とした健康体操の一つとして、操体法の講師を月2回派遣し、高齢者の運動機能の低下防止を図りました。

主な経費： 講師謝礼金　240千円　実施場所：ちむぐくる館、津嘉山公民館
参加者数： 39人（延べ525人）

⑥総合事業プラン作成委託料

要支援1．2及び基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントしました。

主な経費： 総合事業プラン作成委託料 2，453千円

9　その他
介護予防事業をスムーズに行うための経費
イ、介護予防事業保健師・看護師報酬　8，817千円
ロ、介護予防広報用パンフレット印刷・消耗品等　358千円
ハ、施設使用料　28千円

事業の成果	

介護保険事業における地域支援事業を活用し、令和4年度は介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス及び一般介護予防事業）を実施し、高齢者（65歳以上）が要介護状態にならないための予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化の防止を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	39,542	37,482				37,482	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認知症施策推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行います。認知症理解や地域での見守りを広げるための活動を行っていきます。

事業の実施内容

認知症地域支援推進員を配置し、個別訪問を中心に活動し、本人や家族に対して認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行っています。
認知症の理解や地域での見守りを広げるため、認知症サポーター養成講座を開催しています。
認知症初期集中支援チームにて、早期に医療・サービスにつなぐ支援を実施しました。

■ 認知症地域支援推進員の主な仕事
(1)認知症の人やその家族を支援する相談業務
(2)医療機関や介護サービス地域の支援機関をつなぐコーディネーター
(3)認知症に関する理解・知識・制度等の住民への周知
(4)認知症サポーター養成講座の実施
(5)認知症に関する社会資源等の情報収集及び提供

①活動実績
対応件数（延べ）：912件

② 認知症サポーター養成講座
開催回数：3回

③認知症初期集中支援チーム
チーム員会議：12回

④認知証カフェ
開催回数：2回

主な経費　看護師嘱託員報酬等：　5，168千円
初期集中支援チーム報償費：　124千円

事業の成果

認知症本人・家族への個別相談を中心に活動しました。
認知症サポーター養成講座を町内3小学校で実施、認知症カフェを2回開催し、認知症に関する理解を拡めることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,029	5,292				5,292	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護保険運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	介護保険事業費	09

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	介護保険第1号被保険者（65歳以上）及び第2号被保険者（40歳～64歳）	沖縄県介護保険広域連合へ負担金を支出し、介護保険事業の安定的な運営を図ります。

事業の実施内容

1. 令和4年度沖縄県介護保険広域連合への負担金明細

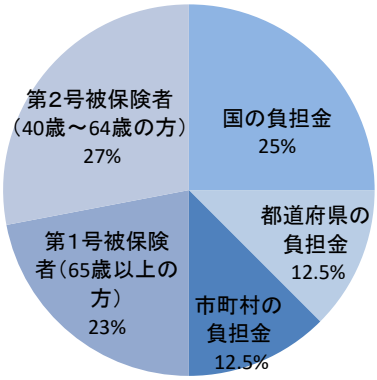
単位：円

会計区分	事業項目	負担金額
一般会計	共通経費	40,969,082
	介護認定に関する経費	21,345,128
	国・県補助事業に関する経費	10,144,003
	令和3年度決算に伴う負担金	1,345,387
一般会計に要する経費小計		73,803,600
特別会計	介護給付に要する経費	289,828,795
	地域支援事業に係る負担金	23,681,435
特別会計に要する経費小計		313,510,230
介護保険広域連合負担金合計		387,313,830

2. その他の経費
　イ、介護保険窓口業務会計年度任用職員報酬等　3，395千円
　ロ、消耗品費、通信運搬費、委託料等　54千円

【 介護保険の負担割合率 】

全体（100%）
- 公費（50%）
  - 国の負担金 ・・・・・・・・（25%）
  - 都道府県の負担金 ・・（12.5%）
  - 市町村の負担金 ・・・・（12.5%）
- 保険料（50%）
  - 第1号被保険者（65歳以上の方） ・・・・・（23%）
  - 第2号被保険者（40歳～64歳の方） ・・・・・（27%）



事業の成果

介護給付・予防給付費に要する費用の一部を負担金として沖縄県介護保険広域連合に支出しています。構成する29市町村の介護保険業務を広域的に運営し、保険料やサービスの適正化等を図っています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	390,803	390,763					390,763

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	新生児妊産婦訪問指導事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	第1子目の新生児または乳児とその産婦 （第2子以降は希望のあった方）	産前産後の母体の体調回復や新生児の発育状態の確認、子育ての相談・指導をとおして母親の不安を解消し、母子共に健康な生活を送ることができるように支援します。

事業の実施内容

訪問従事者・・・助産師、保健師

《妊婦訪問》

対象：　訪問が必要と判断された妊婦

指導内容
- 健康状態、現状などの問診
- 健康診査の励行
- 妊娠、分娩、産褥（さんじょく）及び育児に関する知識
- 生活環境
- 精神保健
- 妊娠期における歯科疾患の予防、及び治療励行
- 家族計画等

《新生児・乳児及び産婦訪問》

対象：　第1子目の新生児または乳児とその産婦
（第2子以降で希望のあった方）

指導内容
- 新生児、産婦の健康状態などの問診
- 母乳栄養について
- 抱き方、寝かせ方
- 乳房マッサージ施行
- 予防接種について
- 新生児の生理について
- 産後の経過について
- 産後の休暇の取り方
- 事故予防について
- 母子制度の説明
- 清潔、皮膚の手入れ
- 操体法実施
- ベビーマッサージ施行
- オムツの当て方
- 家族計画
- その他

主な経費
委託料　　1，365千円

事業の成果

延べ273件の訪問指導を実施し、産前産後のさまざまな悩みや不安を感じやすい時期に、助産師・保健師が訪問し相談相手となることで、不安や悩みの解消を図り、母子ともに健康な生活が送れるよう支援しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,400	1,365	455	455			455

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	未熟児養育医療事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	出生時体重2,000グラム以下もしくは医師が入院養育を必要と認めた乳児	医療を必要とする未熟児に対して、入院養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ります。

事業の実施内容

○未熟児養育医療とは

身体の発達が未熟なまま出生した乳児に対して、医師が入院養育を必要と認めた場合、費用の一部を国、県、市町村が負担する制度です。（保護者の所得に応じて自己負担額が決められます。また自己負担分はこども医療費助成の対象になります。）

○対象

南風原町に住所を有し、次のいずれかの症状があり、医師が入院養育を必要と認めた乳児が対象となります。

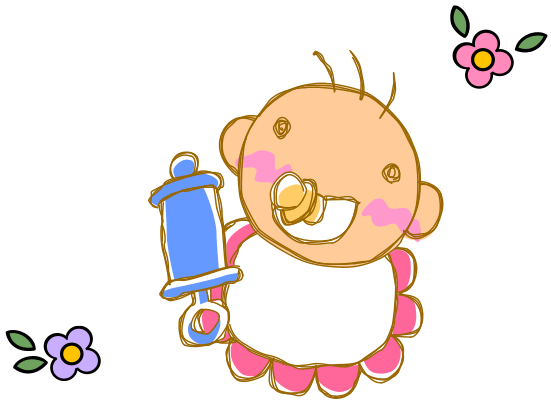
1. 出生時の体重が2,000g以下のもの。
2. 生活能力が特に薄弱であって医師が入院養育を必要と認めたもの。

主な経費

扶助費	3，834千円
委託料	1千円
合　計	3，835千円

＜令和4年度＞

給付実人員	14人
給付延件数	35件
給付延日数	665日



事業の成果

養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図りました。
また、保健師による退院後の訪問指導（相談）につなげることで継続した支援を行っています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,543	3,835	1,536	768		751	780

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	1歳6か月児健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児	健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

1歳6か月児健康診査（毎月実施／年14回）
※台風接近のため、うち1回を2診とした。（当初年15回実施予定）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 貧血検査（血色素量）
- 歯科医による診察
- 歯科衛生士の指導及び相談
- 小児科医による診察
- 栄養指導及び相談
- 保健指導及び相談
- 心理相談

スタッフ
- 小児科医師　1名
- 歯科医師　1名
- 歯科衛生士　1名
- 検査技師　1名
- 看護師　1名
- 心理相談士　1名
- 栄養士　2名
- 保健師　3名
- 母子保健推進員　4名
- 事務職員　2名

主な経費

医師等謝礼金	1，270千円
消耗品費・通知費等	55千円
健診委託料	590千円
合　計	1，915千円

令和4年度　1歳6か月児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
565	521	92.2%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
427	16	65	1	12

事業の成果

幼児期の身体、精神の発育発達の状態を確認することができました。また、保護者が子の発育・発達の原理を知り、日常で実践できるよう支援する事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,123	1,915					1,915

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	3歳児健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

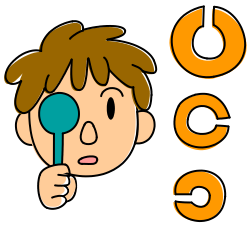
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	満3歳5ヶ月を超え4歳に達しない幼児	健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

3歳児健康診査（毎月実施／年13回）
※コロナ感染症拡大防止のため延期あり（当初予定　年15回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 尿検査（尿蛋白・尿糖）
- 視能訓練士による眼科検査
- 小児科医による診察
- 歯科医による診察
- 歯科衛生士の指導及び相談
- 保健指導及び相談
- 栄養指導及び相談
- 心理相談（必要時）



スタッフ
- 小児科医師　1名
- 歯科医師　1名
- 歯科衛生士　1名
- 検査技師　1名
- 視能訓練士　3名
- 看護師　1名
- 心理相談士　1名
- 栄養士　2名
- 保健師　3名
- 母子保健推進員　3名
- 事務職員　2名

主な経費

3歳児健診委託料	1，799千円
健診スタッフ等謝礼金	620千円
備品購入費	1，228千円
消耗品費・通知費等	569千円
合　　計	4，216千円

令和4年度　3歳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
564	515	91.3%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
381	27	15	0	92

今年度は、新たな屈折検査機器を導入し、弱視等の目の異常を早期発見するための環境整備を行いました。

事業の成果

幼児期においての視覚、聴覚も含めた発育・発達の確認をし、心身の障がいを未然に防止するとともに、生活習慣の自立、社会性の発達の確保ができるよう支援ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,763	4,216	613				3,603

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	妊婦一般健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	親子（母子）健康手帳の交付を受けた妊婦のうち、本町に住所を有する者	保険適用外である妊婦の健康診査を公費負担とすることで、経済的負担を軽減し、妊婦の健康の保持増進を図ります。

事業の実施内容

妊婦健康診査内容及び公費負担額等

公費補助（全14回）	望ましい健診時期（有効期限）	健　診　内　容	公費負担額
1回目	妊娠初期	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（血液型検査、不規則抗体検査、梅毒血清反応検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、血糖検査、貧血検査） 3. 子宮頸がん検査　4. 超音波検査	9,000円
2回目	（20～23週）	1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	5,000円
3回目	（24～28週）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査、血糖検査）　3. 超音波検査	6,000円
4回目	（29～33週）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査）　3. 超音波検査	6,000円
5回目	（34～出産）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査、GOP、GPT）　3. 帯下培養　4. 超音波検査	6,000円
9－1回目	9－1回目～9－9回目は順番が前後することも可能	1. 基本的な健康診査	5,040円
9－2回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,820円
9－3回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－4回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,290円
9－5回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－6回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,820円
9－7回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－8回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－9回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
風疹・HIV・ｸﾗﾐｼﾞｱ検査	1回目・できるだけ早い時期	風疹ウイルス抗体価検査、HIV抗体価検査、ｸﾗﾐｼﾞｱ抗原検査	5,640円
HTLV-1抗体検査	3～5回目 30週頃までに	HTLV－1抗体価検査	2,290円

※「1. 基本的な健康診査」では、問診等による健康状態の把握、体重測定、血圧測定、尿検査等の定期検査、保健指導が行われます。

※上記それぞれの検査については、公費負担により無料で受診することができますが、項目以外の検査料は自己負担となります。

・・・例えば、超音波検査がない回に超音波検査を受けた場合の検査料金は自己負担になります。

※親子（母子）健康手帳交付時の週数に応じて必要な回数の受診票が発行されます。

（2・3・4・5回目の受診票には有効期限が設けられています。妊娠がわかったら早めに親子健康手帳の交付を受けましょう。）

主な経費

委託料	43，934千円
需用費	345千円
扶助費	400千円
合　計	44，679千円

●妊婦健康診査受診状況（令和4年度）

受診実人員　604 人

受診件数　5,713 件

事業の成果

経済的な理由による妊婦健診未受診を抑制します。健診受診結果より、高血圧等リスクの高い妊婦等に対して、安心して出産ができるように保健指導につなげています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	47,510	44,679					44,679

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	乳児一般健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	生後3ヶ月を超え、満1歳に達しない乳児（前期：4ヶ月～5ヶ月児、後期：9ヶ月～10ヶ月児）	健康診査、栄養指導、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、乳児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

乳児一般健康診査（毎月実施／年12回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 貧血検査（血色素量）（後期児のみ）
- 小児科医による診察
- 栄養指導
- 保健指導

スタッフ
- 小児科医師　3名
- 検査技師　2名
- 看護師　3名
- 栄養士　6名
- 保健師　5名
- 母子保健推進員　4名
- 事務職員　6名

（対象人数によって調整）

主な経費

乳児健診委託料	5，890千円
健診案内通知等	85千円
消耗品費、印刷製本費	218千円
合　　計	6，193千円

令和4年度　乳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
1,098	988	90.0%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
774	57	89	2	76

事業の成果

乳児期の発育発達の確認や、心身の異常の早期発見はもとより、心身ともにすこやかに成長できるための育児環境づくり、各月齢ごとの発達の様子をまとめた「子どもノート」を活用し育児不安の解消を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,591	6,193					6,193

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	長寿県復活食の応援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健対策推進費	06

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内に住所を有する小学5年生及び中学2年生	将来の生活習慣病の予防に向け、町内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。

事業の実施内容

1．学童期における生活習慣病予防健診及び保健指導
　小学5年生、中学2年生への生活習慣病予防健診（採血等）の実施と結果に基づいた保健指導の実施

《　生活習慣病予防健診　》

○主な経費
・学童期生活習慣病予防健診　・・・・・・　2，788千円
・通信運搬費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　129千円

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
対象者		908	976	932	990	1032	1031	1035
	小5	464	509	476	516	512	540	527
	中2	444	467	456	474	520	491	508
受診者		241	321	310	463	305	363	414
	小5	154	206	187	280	170	204	231
	中2	87	115	123	183	135	159	183
受診率		26.5	32.9	33.3	46.8	29.6	35.2	40.0
	小5	33.2	40.5	39.3	54.3	33.2	37.8	43.8
	中2	19.6	24.6	27.0	38.6	26.0	32.4	36.0
結果説明会参加数（結果説明会参加含む）		209	197	220	301	29	21	24
	小5	―	143	127	172	14	7	13
	中2	―	54	93	129	15	14	11
保健指導率		86.7	61.4	71.0	65.0	9.5	5.8	5.8
	小5	―	69.4	67.9	61.4	8.2	3.4	5.6
	中2	―	47.0	75.6	70.5	11.1	8.8	6.0

※R2,3,4年度はコロナ感染拡大防止の観点から集団結果説明会は実施せず、ハイリスク者のみ指導
（ハイリスク者以外は健診結果と生活改善のためのパンフレット等を郵送）

事業の成果

コロナ禍でしたが、感染拡大防止を図りながら継続して事業を実施できました。健診結果についても個別での結果説明やパンフレット等を用いた情報提供など感染拡大防止に留意し実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,954	2,917		2,334			584

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	予防接種事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	予防費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	乳幼児や児童・生徒及び65歳以上の高齢者等を対象に実施します。	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、町民の健康の保持に努めます。

事業の実施内容

令和4年度決算内訳　　単位：千円

予防接種医師委託料	170,301
その他	6,420
合　　計	176,721

令和4年度定期予防接種状況

接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	対象年齢
ヒブ	1回	494	481	97.4%	2ヶ月 ～ 5歳未満
	2回	494	492	99.6%	
	3回	494	491	99.4%	
	追加	508	471	92.7%	
小児用肺炎	1回	494	481	97.4%	2ヶ月 ～ 5歳未満
	2回	494	490	99.2%	
	3回	494	491	99.4%	
	追加	508	468	92.1%	
4種混合	1回	502	492	98.0%	3ヶ月 ～ 7歳半未満
	2回	502	500	99.6%	
	3回	502	506	100.8%	
	追加	520	456	87.7%	
BCG	1回	510	511	100.2%	5ヶ月 ～ 1歳未満
ロタウイルス	1回	489	451	92.2%	生後2ヶ月～24週（32週） ※ワクチンによって接種回数と期限が異なります。
	2回	489	460	94.1%	
	3回	489	89	18.2%	
ＭＲ	1期	531	478	90.0%	1歳 ～ 2歳未満
	2期	599	456	76.1%	5歳～7歳未満で小学就学前の1年間
水痘	1回	508	469	92.3%	1歳 ～ 3歳未満
	2回	520	419	80.6%	
B型肝炎	1回	494	483	97.8%	2ヶ月 ～ 1歳未満
	2回	494	491	99.4%	
	3回	494	478	96.8%	
日本脳炎1期	1回	569	569	100.0%	6ヶ月 ～ 7歳半未満
	2回	569	566	99.5%	
	追加	517	655	126.7%	
日本脳炎	2期	577	625	108.3%	9歳 ～ 13歳未満
ＤＴ	2期	538	334	62.1%	11歳 ～ 13歳未満
子宮頸がん	1回	274	132	48.2%	13歳 ～ 16歳になる女性 ※左記の接種者数には、特例措置(20歳まで)が含まれています。
	2回	274	95	34.7%	
	3回	274	46	16.8%	
インフルエンザ	1回	8,031	4,709	58.6%	65歳以上
高齢者肺炎	1回	1,866	249	13.3%	令和4年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者、100歳以上になる者
風しん	抗体検査	3,525	136	3.9%	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれで未検査の男性 （予防接種は、抗体検査の結果「抗体なし」と判断された者）
	予防接種		33		

事業の成果

予防接種を実施することにより、伝染の恐れがある疾病及びまん延を予防する事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	182,655	176,721	1,842	7,620			167,259

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	予防費	02

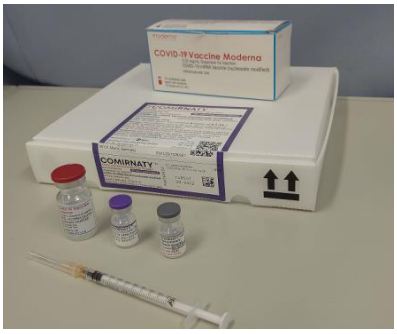
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	生後6ヶ月以上の町民を対象にした臨時接種。	新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重傷者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図る。

事業の実施内容

1.新型コロナウイルス接種対策事業

令和4年度決算内訳　　単位：千円

集団接種会場での医師看護師への謝礼金	28,050
個別医療機関等での接種委託料	49,488
町内医療機関での時間外・休日接種委託料	4,651
その他	44,638
合　　計	126,827



集団接種会場での接種実績

設置回数	接種人数
72回	9,643人

個別医療機関での接種実績

町内の接種医療機関数	接種人数
21箇所	21,678人

町内医療機関での時間外・休日接種実績

時間外接種	休日接種
940回	1,663回

2. 新型コロナウイルス接種体制確保事業

接種体制確保事業補助金内訳

接種体制確保に係る経費（看護師報酬・コールセンター委託費等）	77,605
集団接種会場運営に係る経費（人材派遣費・会場設営費等）	25,348
その他	4,887
合　　計	107,840

事業の成果

新型コロナワクチン接種のための集団接種及び個別接種の体制を確保することにより、十分に接種の機会を提供することができた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	482,315	234,667	234,446			221	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	宮平保育所運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	就労家庭等保育を必要とする世帯の子どもたち。	家庭に代わりこども達が安全で楽しく過ごせるよう保育に努めます。支援を必要とする子への適切な対応、早期発見が望まれるようなケースについても、先駆けとなって丁寧な保育に取り組んでいきます。

事業の実施内容

宮平保育所運営事業

主な経費

○ 会計年度任用職員報酬・給料・職員手当等　27，364千円
日常の保育業務を行う会計年度任用職員（保育士）や、非常勤の調理員を雇用しており、その賃金や手当として使われています。

○ 給食材料費　5，063千円
栄養のバランスがとれた園児の給食・おやつ・ミルクの材料費として使われています。

○ 光熱水費　2，638千円
保育所を運営するために必要なエネルギーである、電気・水道・ガスの使用料金として使われています。

○ 消耗品　1，096千円
保育用教材・薬品・洗剤や、施設内の消耗品・事務用品等の購入に使われてい

○ 工事請負費　3，580千円
保育所の老朽化に伴う空調工事等を行い、保育を行うための安心・安全な環境作りに使われています。

○ 備品費　2，592千円
保育業務や給食業務を行う為に必要な備品の購入及び買い換えに使われています。

○ その他の費用　5，323千円
保育所を運営するために必要不可欠な行事費、健康診断料、施設の修繕費、電話料金、保険料、衛生管理費等として使われています。

おおきな鯉のぼりのようにおおきく育ちますよ

お友達と一緒だとシーソーだって楽しい

事業の成果

保護者と連携を図りながら、乳幼児期のこども達の健やかな成長・発達を促し、保育の充実と子育ての支援に取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	74,002	47,656	1,612	3,109		7,642	35,293

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可保育園事業・補助（保育所運営費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	認可保育園に在籍する児童とその保護者	就労等で保育が必要な保護者に代わって保育を行い、入所児童の心身の健全な発達を確保します。

事業の実施内容

1．入所児童数　（令和5年3月1日現在）　　単位：人、％

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	弾力化
宮平保育所	60	6	8	11	14	12	0	51	85.0%
公立計	60	6	8	11	14	12	0	51	85.0%
津嘉山保育園	160	21	29	30	34	21	3	138	86.3%
かねぐすく保育園	100	12	18	18	21	21	15	105	105.0%
南風原はなぞの保育園	141	14	28	30	30	22	17	141	100.0%
若夏保育園	120	15	24	28	28	21	0	116	96.7%
みつわ保育園	136	16	28	27	28	19	23	141	103.7%
さんご保育園	180	15	35	36	38	32	26	182	101.1%
はえばる保育園	150	18	36	35	36	24	0	149	99.3%
マイフレンズ保育園	120	14	24	24	26	18	7	113	94.2%
ていだ保育園	120	18	24	24	30	26	0	122	101.7%
なのはな保育園	120	12	24	24	24	19	13	116	96.7%
よなは保育園	97	7	17	18	17	16	11	86	88.7%
ももの木保育園	60	9	12	17	18	19	0	75	125.0%
やまがわ保育園	107	15	23	24	30	17	0	109	101.9%
南風原やまびこ保育園	60	9	10	14	15	15	0	63	105.0%
明星保育園	90	17	18	18	23	26	5	107	118.9%
よなは第2保育園	72	15	18	18	18	18	16	103	143.1%
広域入所	－	0	5	1	3	4	3	16	－
私立計	1,833	227	373	386	419	338	139	1,882	101.8%
合計	1,893	233	381	397	433	350	139	1,933	101.3%

2．運営費支弁額　（令和4年度実績）

単位：千円

施設名	運営費
津嘉山保育園	168,054
かねぐすく保育園	116,849
南風原はなぞの保育園	165,593
若夏保育園	140,837
みつわ保育園	159,286
さんご保育園	198,208
はえばる保育園	177,335
マイフレンズ保育園	130,271
ていだ保育園	151,327

施設名	運営費
なのはな保育園	123,473
よなは保育園	111,346
ももの木保育園	107,921
やまがわ保育園	132,521
南風原やまびこ保育園	100,682
明星保育園	127,359
よなは第2保育園	134,793
広域入所	3,597
合計	2,249,452

事業の成果

保育所において家庭や地域社会と連携を図り、こどもが安全で情緒の安定した生活ができるよう環境を整備し、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,256,209	2,249,452	1,085,639	434,543	0	232,756	496,514

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	延長保育促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	法人保育園に入所した児童	法人保育園における保育士配置の充実を図ることにより11時間の開所時間の始期及び終期前後の保育需要への対応の推進を図ります。

事業の実施内容

○　認可保育園延長保育促進事業補助金（19園）　12,347千円
利用者延人数(23，458人)　　1日平均90人

- 対象児童は実際に延長保育を利用した保育所入所児童です。
- 対象児童に対し、適宜、間食等を提供します。
- 保護者が仕事をする上で終業が遅くなったときなど、安心してこどもを預ける事ができます。

延長保育促進事業利用状況（各月1日当たり平均人数）　　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年1日平均
津嘉山保育園	3	3	3	4	4	3	4	4	5	2	2	3	3
かねぐすく保育園	5	5	6	7	4	7	7	8	5	8	9	9	7
南風原はなぞの保育園	3	3	3	5	4	6	6	7	7	8	6	7	5
若夏保育園	6	6	2	3	2	3	6	5	5	3	3	3	4
みつわ保育園	8	10	11	9	10	10	9	10	10	9	9	8	9
さんご保育園	14	9	11	13	9	14	15	12	13	12	14	14	13
はえばる保育園	4	3	5	3	2	3	3	4	3	2	3	2	3
マイフレンズ保育園	5	6	5	5	4	5	7	7	7	6	8	7	6
てぃだ保育園	5	6	7	7	5	8	7	7	7	6	6	5	6
なのはな保育園	4	4	5	4	5	7	5	6	6	6	5	3	5
よなは保育園	5	6	8	6	7	8	8	9	7	6	4	5	7
ももの木保育園保育園	4	4	4	4	4	6	7	7	7	8	6	7	6
やまがわ保育園	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	2	1	2
南風原やまびこ保育園	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2
よなは第２保育園	2	3	3	3	3	4	5	4	5	3	4	4	3
明星保育園	1	1	2	4	0	4	3	4	3	3	4	3	3
開邦幼稚園	3	3	4	2	3	3	3	4	4	3	3	2	3
ぱすてる保育園つかざん園	0	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1
くわの実保育園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	77	79	85	87	72	100	101	102	100	89	95	89	90

○新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金（延長保育事業分）　2,509千円
新型コロナウイルス感染症対策に必要な人件費、消耗品（マスク・アルコール消毒液等）や備品等（体温計・空気清浄機等）の購入費などの経費に対し、補助を行いました。

事業の成果

就労形態の多様化等に伴いやむを得ない理由で、通常保育時間内（7時～18時）に保育園へ児童の送り迎えができない保護者に対して、延長保育を実施し安心して子育てができる環境を整備することにより、保育の充実を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,506	14,856	7,289	6,456			1,111

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	障がい児保育事業（町単独事業）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可保育園に通う発達支援児を受け入れている園を対象とします。	保育を必要とし、かつ発達に課題がある児童に対して、集団保育の中で適切な指導を実施することによって、健常児とともに健全な成長、発達を促すことを目的とします。

事業の実施内容

南風原町発達支援児保育事業実施要綱等により行う事業を実施している認可保育園等に対し，補助を行いました。

決算額　：　40,993千円

補助金の額の算定方法

各月初日現在の対象児童数	基準額	対象経費
1名	71，000円（月額単価）×入所月数	発達支援児保育実施に必要な経費
2名	197，000円（月額単価）×入所月数	
3名以上	3名以上については、197，000円（月額単価）に、対象児童数が1名増すごとに126，000円を加算した金額×入所月数	

令和4年度　発達支援児保育事業補助金　実施実績

	施設名	対象園児数	補助実績額
1	よなは保育園	1人	426,000円
2	南風原はなぞの保育園	4人	4,128,000円
3	マイフレンズ保育園	5人	6,522,000円
4	かねぐすく保育園	1人	355,000円
5	やまびこ保育園	2人	2,364,000円
6	てぃだ保育園	3人	3,876,000円
7	さんご保育園	4人	3,246,000円
8	若夏保育園	3人	3,120,000円
9	やまがわ保育園	4人	3,624,000円
10	ももの木保育園	2人	2,364,000円
11	みつわ保育園	3人	2,994,000円
12	明星保育園	5人	4,758,000円
13	よなは第2保育園	2人	2,364,000円
14	開邦幼稚園	1人	852,000円
―	合計	40人	40,993,000円

事業の成果

発達支援児保育事業は、集団保育が可能な発達支援児に対し、適切な保育を支援・実施する事業です。有識者による巡回指導、発達支援児交流会、発達支援児研究発表会なども行っております。巡回指導により、保育士が対象児童との関わり方を学び、さらに、成長・発達課題をしっかりおさえ、児童に合った働きかけを大切にすることで、社会性を育てるなど、発達支援児保育事業の充実を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,993	40,993		3,719			37,274

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可保育園事業・町単独事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可保育園、地域型保育施設及び認定こども園の運営を支援します。	施設や施設の職員を支援することにより安定した運営を促し、児童に対するよりよい保育の実施を図ります。

事業の実施内容

1. 発達支援児保育特別措置会議委員謝礼金　10千円
　発達に課題がある児童の適正な入所を図るため、有識者を含めた関係者による発達支援児保育実施会議を実施します。

2. 発達支援児保育巡回指導員謝礼金　357千円
　発達に課題がある児童について、児童が通う認可保育園等を有識者が訪問し、施設の職員及び保護者に保育・子育ての助言を行うことにより、児童の健全な社会性の成長、発達を促します。

3. 発達支援児保育研修会講師謝礼金　75千円
　発達に課題がある児童の保育や子育てについて、認可保育園等の職員や保護者を対象に有識者による講演会や相談会などを実施することにより、保育や子育てをサポートします。

4. 保育料自動振替取扱手数料　58千円

5. 保育士等就職一時金　7,200千円
　待機児童の解消に向けた保育士確保を図るため、新たに認可保育所等に就職し、1年以上又は2年以上継続して勤務した保育士に対し、保育士就職支援一時金を交付します。
※就職支援一時金交付対象者72名
（1年以上継続して勤務：42名、2年以上継続して勤務：30名）

バルーンとばし♫
（津嘉山保育園）

じゃがいもの収穫体験
（やまがわ保育園）

事業の成果

有識者による巡回指導、発達支援児交流会、発達支援児研究発表会などを実施することにより、保育士や保護者に対し、発達に課題がある児童の保育や子育ての方法について助言・支援することができ、負担感を和らげることができました。また、発達に課題がある児童は、より適切な保育を受けることができるようになりました。
就職支援一時金を交付することにより、保育士を確保し待機児童解消を図ることができました。また、施設の安定した運営にもつながりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,274	7,700					7,700

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域型保育事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域型保育施設（小規模・事業所内保育施設）	事業所の施設等で従業員の児童を保育すると共に、地域枠を設け0～2歳児の保育を実施することで、待機児童の解消を行う。

事業の実施内容

1．入所児童数（令和5年3月1日現在）

○小規模保育施設　　単位：人

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	合計
めだか保育園	18	0	9	11	20
くわの実保育園	19	6	9	9	24
たいようのおか保育園	19	5	6	11	22
ぱすてる保育園つかざん園	19	3	10	7	20
ひまわり保育園	19	6	6	7	19
合計	94	20	40	45	105

○事業所内保育施設　　※町内在住者のみ

施設名	地域枠	従業員枠	合計
よいサマリヤ人保育園（南風原町）	9	7	16
町内施設　計	9	7	16
きらら保育園（八重瀬町）	－	3	3
ビンプ保育園（那覇市）	－	1	1
とよみキッズガーデンANNEX	－	1	1
	－	－	－
	－	－	－
	－	－	－
広域入所　計	－	5	5
合計	9	12	21

○地域型保育事業は、平成27年度より施行された子ども・子育て支援制度に伴い市町村が設置認可・確認を行い、待機児童の多い0歳児から2歳児を受け入れる施設です。その中のひとつである事業所内保育事業は、事業所の所在地の各市町村が設置認可・確認した事業所内保育所にて、従業員の児童以外に地域の待機児童の受け入れを行い、待機児童の解消を図っています。令和2年度現在、町認可施設として小規模保育施設4園、事業所内保育施設1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額（令和4年度実績）　　単位：千円

施設名	①公定価格	②利用者負担額	支弁額(①-②)	備考
めだか保育園	44,317	5,913	38,404	
くわの実保育園	54,836	3,387	51,449	
たいようのおか保育園	49,861	5,896	43,965	
ぱすてる保育園つかざん園	52,663	4,514	48,149	
ひまわり保育園	34,727	2,678	32,049	
竹の子乳児園（与那原町）	955	0	955	11～3月
ひかりのこ保育園（八重瀬町）	389	0	389	8月
小規模保育運営費（小計）	237,748	22,388	215,360	
よいサマリヤ人保育園（南風原町）	24,377	2,227	22,150	
とよみキッズガーデンANNEX	1,494	238	1,256	9～3月
きらら保育園（八重瀬町）	3,824	798	3,026	5～3月
ビンプ保育園（那覇市）	1,920	408	1,512	
産業支援センター内保育園（那覇市）	1,522	242	1,280	4～12月
事業所内保育運営費（小計）	33,137	3,913	29,224	
合計	270,885	26,301	244,584	

事業の成果

地域型保育施設にて、0歳～2歳の子どもを受け入れる事で、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	246,543	244,584	133,593	48,285	0	0	62,706

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	保育対策総合支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立宮平保育所 町内の法人保育園及び地域型保育施設並び認可外保育施設	保育士が働きやすい職場の環境整備を行い、就業継続及び離職防止を図ります。

事業の実施内容

1. 保育体制強化事業補助金　11，845千円

実施園10園（よなは保育園、南風原はなぞの保育園、南風原やまびこ保育園、さんご保育園、津嘉山保育園、やまがわ保育園、みつわ保育園、明星保育園、よなは第2保育園、くわの実保育園）※保育士資格を有しない保育支援者を配置した認可保育園等に対して補助（人件費）を行いました。

2. 保育補助者雇上強化事業補助金　25,929千円

実施園11園（よなは保育園、マイフレンズ保育園、てぃだ保育園、さんご保育園、はえばる保育園、ももの木保育園、明星保育園、よなは第2保育園、めだか保育園、くわの実保育園、ぱすてる保育園つかざん園）※保育士資格を有しない保育補助者を配置した認可保育園等に対して補助（人件費）を行いました。

3. 保育士宿舎借上支援事業補助金　4,762千円

実施園7園（てぃだ保育園、ももの木保育園、よなは第2保育園、くわの実保育園、開邦幼稚園）
※保育士の宿舎を借り上げした認可保育園等に対して補助（家賃）を行いました。

4. 認可外保育施設衛生・安全対策事業補助金　27千円

実施園1園（なないろ乳幼児園）
※保育士等の感染症罹患の有無を発見するため、健康診断を受診した認可外保育施設に対して補助（健康診断費用）を行いました。

5. 保育環境改善等事業（新型コロナウイルス感染症対策支援事業）

・町立宮平保育所（消耗品費、備品購入費）　236千円
・町立4児童館（消耗品費、備品購入費）　927千円
・認可保育園、地域型保育施設、認可外保育施設への補助　11,577千円

実施園28園（認可保育園16園、地域型保育施設6園、認可外保育施設6園）
※新型コロナウイルス感染症対策に必要な人件費、消耗品（マスク・アルコール消毒液等）や備品等（体温計・空気清浄機等）の購入費などの経費に対し、補助を行いました。

6. 保育環境改善等補助金（安全対策事業）　750千円

実施園2園（てぃだ保育園、ひまわり保育園）
※睡眠中の事故防止対策に必要な機器の購入について、補助を行いました。

7. 保育所等におけるICT化推進事業

・町立宮平保育所（消耗品費、備品購入費）　1,550千円
・認可保育園実施2園（若夏保育園、やまがわ保育園）　1,432千円

※保育士の業務負担を軽減するために、保育に関する計画・記録に関する機能や、園児の登園及び降園の管理に関する機能、保護者との連絡に関する機能などを有するシステムを導入するための初期費用について、認可保育園等に対して補助を行いました。

事業の成果

保育対策総合支援事業は、保育士の業務や健康面での支援を行い、就業継続・離職防止を図る事業や保育士資格を有しない保育補助者に保育士資格の取得を促し、保育人材の確保を図る事業、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する事業などを実施することにより、日々、園児を対応している保育士等の業務環境の改善・充実を推進及び感染症拡大を防止する対策を図ることが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	60,464	59,035	14,871	35,733			8,431

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可外保育園事業・町単独事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可外保育施設及び町外の認可外保育施設を利用する町内児童	認可外保育施設の保育の充実と利用児童の福祉向上を図ります。

事業の実施内容

1. 認可外保育園運営補助金（一般援護費）　309千円

町内認可外保育施設に入所する児童の福祉の向上を図るため、町内児童の処遇に要する経費として1人あたり月1,500円を補助します。

※令和4年度は認可外保育施設1園（なないろ乳幼児園）へ補助金を交付しました。

2. 保育園児の歯科検診料補助（特別援護費）　12千円

町内認可外保育施設に入所する児童のうち、町内に住所を有する児童の歯科検診料を1人あたり750円補助します。

※令和4年度は認可外保育施設1園（なないろ乳幼児園）へ補助金を交付しました。

3. 町外認可外保育園に入所する町内在住児童への補助　103千円

園児1人あたり月1,500円の補助をします。

※令和4年度は年2回の申請受付にて延べ13人の児童へ補助金を交付しました。

事業の成果

入所する児童の処遇に要する経費を補助することで、認可外保育園の運営を助長し福祉の向上を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	469	424		339			85

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可外保育園事業・補助事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可外保育施設	認可外保育施設入所児童の健康診断費等の補助と施設の改修費等の補助を行い、入所児童の処遇改善と保育の質の向上を図ります。

事業の実施内容

1. 南風原町認可外保育事業補助金　　107千円

認可外保育施設へ入所する児童及び勤務する職員の健康管理に要する経費や保育施設賠償責任保険料を当該施設に対し補助します。令和4年度は、認可外保育施設1園（なないろ乳幼児園）に補助金を交付しました。

種目	基準額	対象
健康診断費	内科検診　1，000円×児童数×2回以内	保育施設
	歯科検診　　750円×児童数×1回	
賠償責任保険料	300円（児童1人あたり）×1回	保育施設
調理員検便費	1，500円（調理員1人あたり）×実施月数	保育施設

2. 認可外保育園研修事業補助金　　285千円

沖縄県が実施する保育に関する研修を受講した認可外保育施設に対し、保育材料等を購入する経費や施設の修繕費の一部を補助します。
令和4年度は、認可外保育施設1園（なないろ乳幼児園）に補助金を交付しました。

トイレ改修前

トイレ改修後

事業の成果

入所児童の健康診断費や賠償責任保険費等を支給することで、児童の処遇改善へとつなげることができました。また、保育施設職員の研修参加や保育材料購入、修繕の補助を行うことで、保育施設運営の助長および保育の質向上につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	414	392		364			28

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	母子父子家庭医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	母子家庭の母と児童 父子家庭の父と児童 養育者が養育する、父母のいない児童	母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

令和4年度　母子及び父子家庭等受給者数調

区分／保険種別	母子家庭		父子家庭		養育者家庭	計	
	母	児童	父	児童	児童	父母	児童
国保分	193	0	20	0	0	213	0
社保分	392	0	32	0	0	424	0
合計	585	0	52	0	0	637	0

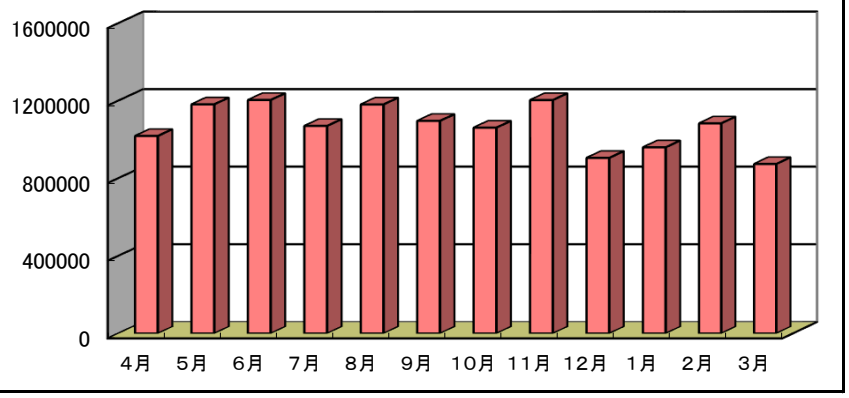
【令和4年度　助成実績】

◆　母子父子家庭医療費助成金　　扶助費決算額：　12，830　千円

（単位：円）

令和4年度　母子父子家庭医療費助成金

	助成額
4月	1,017,634
5月	1,180,820
6月	1,203,290
7月	1,069,470
8月	1,180,250
9月	1,095,470
10月	1,060,600
11月	1,202,925
12月	904,470
1月	959,150
2月	1,082,560
3月	872,990
合計	12,829,629



＊　通院の場合、1月1診療機関につき1，000円（一部負担金）を控除した額が助成となります。
【医科・歯科別総合病院においては、各診療科ごとに1，000円を控除した額を助成致します。】

＊　さらに、上記1，000円（一部負担金）は、平成26年度よりこども医療費にて負担しております。

事業の成果

雇用状況や、経済基盤の不安定な母子父子家庭の親と子、養育者家庭の子に対し、医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）から一部負担金を控除した額と入院時食事療養費の1／2を助成することにより、経済的な負担軽減を図りました。また、平成30年1月受診分より自動償還方式を導入することにより、手続の簡略化を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,119	12,830		6,401			6,429

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	こども医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	衛生費	04
連絡先	889－7028				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町に住所を有する0歳～高校卒業（3月31日）までのこども	こどもの医療費の一部を助成することにより、健康の増進を図り、こどもの健やかな成長に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

【 令和4年度　こども医療費助成実績 】

◆　扶助費決算額：224,097千円

単位：円

令和4年度　こども医療費助成				
	助成対象者数（人）	助　成　額　（円）		
		償還分払分	現物給付分	助成額合計
4月	8,188	333,630	13,600,899	13,934,529
5月	8,219	220,510	18,378,795	18,599,305
6月	8,257	152,513	16,008,176	16,160,689
7月	8,302	289,249	17,712,826	18,002,075
8月	8,338	455,609	17,865,535	18,321,144
9月	8,384	476,778	17,971,677	18,448,455
10月	9,696	271,539	17,758,209	18,029,748
11月	9,746	628,549	16,163,972	16,792,521
12月	9,798	227,650	19,835,422	20,063,072
1月	9,825	664,299	19,819,403	20,483,702
2月	9,855	289,240	21,734,181	22,023,421
3月	9,877	643,532	22,594,821	23,238,353
	合計	4,653,098	219,443,916	224,097,014

＊　令和4年10月１日より対象年齢を高校卒業(3月31日)まで拡充しました。

◆　印刷製本費　　決算額：　54千円

◆　役務費(通信運搬費、手数料)　　決算額：　6,227千円

◆　委託料（システム改修、申請書送付、受給者証送付、）　　決算額：　881千円

事業の成果

医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）の全額を助成することにより、こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全な育成と子育て世代への負担軽減に役立っています。また、平成29年1月に導入した現物給付方式（窓口無料化）により、医療費を窓口で支払うことが困難な為に受診を控えていたこどもも、他のこどもと同様に医療を受けることができるようになりました。
また、令和4年10月１日より対象年齢を高校卒業(3月31日)まで拡充し、より一層の、子育て世帯の負担軽減へと繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	279,273	231,259		101,490			129,769

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	子供の貧困緊急対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

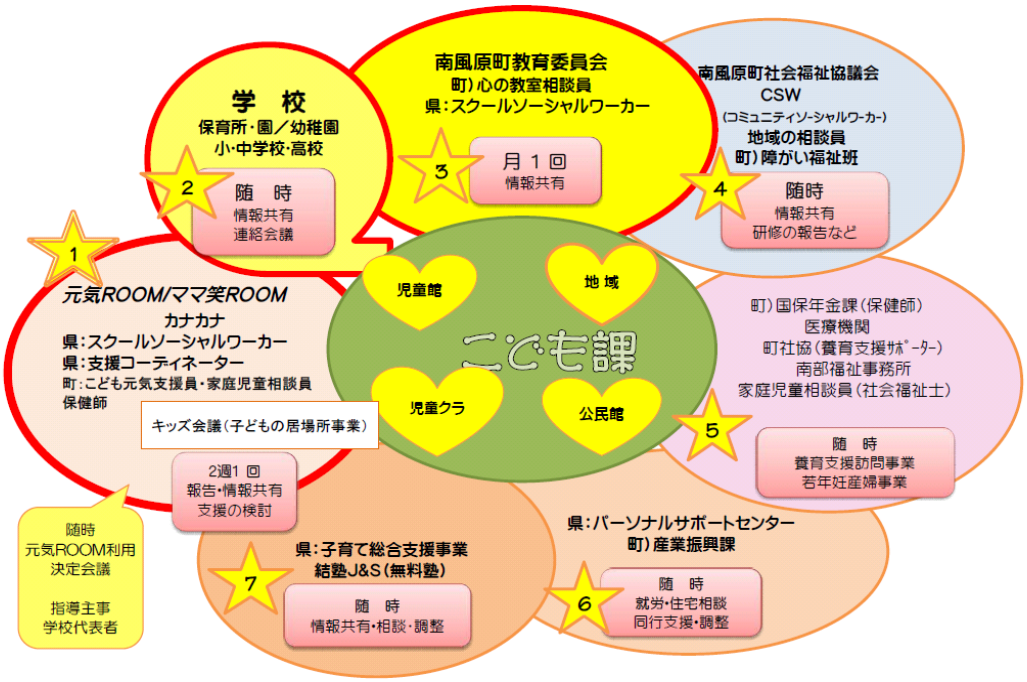
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯の福祉の向上と、孤立（貧困）連鎖の打破に努めます。

事業の実施内容

・子どもの貧困対策支援員配置事業

子どもの貧困対策支援員（子ども元気支援員）が地域に出向いたり関係機関からの情報を受け子どもの孤立（貧困）の現状を把握し、学校や学習支援施設、子どもの居場所づくりを行う事業所等の関係機関との情報共有・連携を図り支援を行っています。
また、町保健師等からの情報をうけ連携し若年妊産婦の現状把握、若年妊産婦居場所へのつなぎ、居場所事業所と情報共有や連携を図り必要な行政サービスへつなぐ等の支援を行っています。

・子ども元気支援員（3人）（報酬、手当、旅費、共済費）　8，536千円
・庁費（需用費、役務費、賃借料）　461千円



・子どもの居場所、若年妊産婦の居場所の運営支援事業　35，239千円

元気ROOM（子どもの居場所）、ママ笑みROOM（若年妊産婦の居場所）において必要な支援を提供

①生活支援　④食事支援（提供）
②学習支援　⑤保護者の支援（養育支援）
③文化的活動支援　⑥若年妊産婦等支援

・令和3年度沖縄子供の貧困緊急対策事業国庫補助金返還金　28千円

事業の成果

支援が必要な子どもを把握し元気ROOM等へ繋げることができました。また、元気ROOMを利用することで衛生の保持、基礎学習、食の確保等を支援し福祉の向上が図られました。
元気ROOMで生活支援をすることで心を開いてくれた子ども達も多く、その支援により不登校の未然防止につながりました。
保護者と信頼関係を築き養育支援をすることで、生活環境の改善や行政サービスへつなぐことができました。
ママ笑ROOMでは若年妊産婦に心の安まる居場所を提供し安心して出産・子育てができるよう専門的知識を持った助産師等と一緒に包括的に支援をすることで、不安や孤立を解消し必要な行政サービスへつなぐことができました。
ママ笑ROOMは令和3年度まで週に2回の開所でしたが、令和4年度からは週に3回開所し、より充実した支援を行う事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	49,332	44,264	38,907				5,357

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	病児保育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町在住のおおむね生後6ヶ月から小学3年生までの児童で、病気治療中又は、回復期にある病児保育を必要とする児童	児童が病気の治療中又は回復期にあり、集団保育および保護者による保育が困難な場合に、適切な処遇が確保される施設で一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図る。

事業の実施内容

平成27年度より、町内の医療機関へ委託して病児保育事業を実施しています。

○実施施設
医療法人わらべの会　わんぱくクリニック
南風原町字津嘉山1490番地　メディカルプラザつかざん2F

○利用時間

月～土	午前8時45分から午後5時30分まで（第5土曜日は午後1時まで）
休業日	日曜日・祝祭日・（第5土曜日は午後1時から休業）

○利用料金

区分	生活保護世帯	生活保護世帯以外
1日利用料	0円	1,500円
半日利用料		1,000円

1. 病児保育事業委託料　　6,493千円
（内訳）(1)基本額　　4,493,000　円
(2)利用人数に応じた委託料(150～199人)　　2,000,000　円
(3)利用料免除額(生保による被保護者)　　0　円

2. 病児保育施設年度別利用児童数

年度	実績												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
H28	38	23	24	30	39	21	21	11	12	4	6	28	257
H29	9	23	43	36	21	25	15	33	35	36	21	27	324
H30	18	45	28	20	52	35	41	31	43	36	40	32	421
R1	33	33	67	60	45	62	39	40	21	32	46	58	536
R2	15	0	28	23	4	22	28	30	35	12	0	11	208
R3	0	0	0	6	4	1	19	19	17	1	0	0	67
R4	0	8	17	10	2	6	15	15	16	32	21	26	168

3. 新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金　　300千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、消耗品（マスク・アルコール消毒液等）や備品等（体温計・空気清浄機等）の購入費用の補助を行いました。

事業の成果

保護者が就労している場合等に、子どもが病気の治療中又は回復期にある児童を、安心して預ける事のできる病児保育施設に一時的に預ける事で、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,293	6,793	2,264	2,264			2,265

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童館運営事業・単独			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	児童館を利用する児童等	児童に健全な遊びの場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とします。

事業の実施内容

【児童館活動の内容】

・館内活動
（主たる児童館活動で、遊戯室での体を使った遊びの他、読書や宿題の見守り等）

・体験活動
（各館で講師を招いての、手芸や工作、クッキング、英会話、チャンバラ遊び等）

・館外活動
（地域の清掃活動や自然観察、乗船体験、文化遺産巡り等）

【整備関係】

・エアコン取替工事、高窓開閉装置修繕、LED照明設置等

単位：千円

主な経費	決算額
児童厚生員報酬（12人）	17,689
職員手当等（12人）	3,602
体験活動等に伴う報償費	398
消耗品費	861
光熱水費	1,089
その他（修繕・工事含む）	6,831
合 計	30,470

年間利用者数	
北丘児童館	9,108 人
兼城児童館	10,551 人
本部児童館	10,403 人
津嘉山児童館	10,582 人
合計	40,644 人

○本部児童館　夏休みの絵画

○津嘉山児童館　空手教室

事業の成果

子どもの遊びの拠点と居場所となり、地域の子どもの発達の増進と放課後等における安定した日常の生活支援を図られました。
年間利用者数前年度比108％

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,354	30,470					30,470

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学童保育事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間 博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	労働等により昼間保護者のいない家庭の小学校児童を預かる学童クラブ	学童クラブに補助金を交付することにより、労働等により昼間保護者のいない家庭における児童の健全育成を図ることを目的とします。

事業の実施内容

●学童クラブ支援員等資質向上研修委託料　765千円
資質向上研修を行い、放課後児童支援員等の専門性や学童クラブの質の向上を図ります。

●放課後児童クラブへの巡回支援事業委託料　4,000千円
巡回アドバイザーを配置し、学童クラブへの助言・指導を行うことで、子どもが安全・安心に過ごすことができ、また質の高い支援を確保します。

●学童保育事業・補助　　273,048千円
本町にある下記の22箇所（25支援）の学童クラブへそれぞれ補助金を支出しました。

（単位：千円）

学童クラブ名	学童クラブ補助金（運営費）	障害児受入強化推進事業	支援員等処遇改善事業	送迎支援事業	運営支援事業（家賃補助）	環境整備事業	新型コロナウイルス特例措置	月額9,000円相当賃金改善
みやび学童クラブ	6,118	0	1,678	0	0	0	408	221
よなは学童クラブ	8,487	0	1,678	507	0	0	400	204
よなは第2学童クラブ	8,487	0	1,678	507	1,275	0	400	316
北丘学童クラブ	7,858	0	1,678	0	0	0	399	132
第2北丘学童クラブ	5,461	0	1,678	0	787	0	400	121
学童クラブVI-VA	6,213	0	1,678	0	0	0	195	184
学童クラブVI-VAぷらす	6,146	0	1,678	0	0	0	104	224
こもれび学童クラブ	8,302	0	1,678	0	2,085	0	468	237
いろは児童クラブ	7,584	0	1,678	0	0	0	306	151
みつば児童クラブ	7,700	0	1,678	0	0	0	332	217
キッズクラブ　カナカナ	7,877	0	1,678	0	0	0	504	237
キッズクラブ　リンク	7,877	0	1,678	0	1,185	0	487	132
ドルチェ学童クラブ	8,062	0	1,678	0	0	0	200	0
第二ドルチェ学童クラブ	7,434	0	1,678	0	0	0	200	0
正道スマイリークラブ	8,120	0	1,678	30	559	0	400	242
いこい学童クラブ	8,184	1,956	2,789	0	1,050	0	400	303
いこい第二学童クラブ	7,657	0	1,678	0	441	7,082	400	191
翔南学童クラブ	7,845	1,956	1,678	0	0	0	502	297
みつわ学童クラブ	8,195	1,793	1,678	0	1,680	0	43	224
学童クラブわんぱく家	6,255	0	1,678	0	0	0	389	178
学童クラブうーまく家	8,211	0	3,145	0	1,050	0	400	283
竹の子学童クラブ	7,174	0	1,678	0	0	0	298	224
第二竹の子学童クラブ	7,960	0	3,158	0	735	0	320	271
津嘉山学童クラブ	6,106	0	1,678	0	0	0	400	165
津嘉山うむさ学童クラブ	8,259	0	1,678	0	1,050	0	400	231
合計25支援	187,572	5,705	46,008	1,044	11,897	7,082	8,755	4,985
							合計	273,048

事業の成果

昼間保護者が家にいない児童が、集団で安心して過ごすことができる場を提供することができ、その健全な育成が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	285,551	277,813	93,398	91,016			93,399

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	放課後児童の居場所づくり支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	建物を賃貸している学童クラブ、生活保護世帯及び非課税世帯、ひとり親世帯の児童の保育料を減免した学童クラブ	家賃補助をすることで保育料を軽減し、また生活保護世帯及び非課税世帯、ひとり親世帯の児童の利用料を一部補助することにより、子どもの居場所である学童クラブを利用しやすくします。

事業の実施内容

・放課後児童の居場所づくり支援事業　　21,727千円

内訳　：　家賃補助　　15,947千円　　保育料減免補助　　5,780千円

	家賃補助	保育料減免補助	
施設名	補助金額（円）	対象児童数（人）	補助金額（円）
みやび学童クラブ	1,050,000	1	40,000
よなは学童クラブ	1,275,000	10	565,000
よなは第2学童クラブ	0	4	210,000
北丘学童クラブ	1,635,000	2	90,000
第2北丘学童クラブ	0	2	70,000
学童クラブVI-VA	945,000	7	334,000
学童クラブVI-VAぷらす	735,000	2	84,000
こもれび学童	0	6	351,000
いろは児童クラブ	735,000	2	120,000
みつば児童クラブ	1,392,000	0	0
キッズクラブカナカナ	1,185,000	2	75,000
キッズクラブリンク	0	10	410,000
ドルチェ学童クラブ	1,595,000	6	320,000
第二ドルチェ学童クラブ	1,080,000	1	45,000
正道スマイリークラブ	0	5	265,000
いこい学童クラブ	0	8	386,000
いこい第2学童クラブ	0	5	285,000
翔南学童クラブ	1,590,000	7	395,000
みつわ学童クラブ	0	8	405,000
学童クラブわんぱく家	1,050,000	5	213,000
学童クラブうーまく家	0	7	223,000
竹の子学童クラブ	945,000	5	285,000
第二竹の子学童クラブ	0	3	180,000
津嘉山学童クラブ	735,000	4	189,000
津嘉山うむさ学童クラブ	0	4	240,000
	15,947,000	116	5,780,000

事業の成果

学童保育料減免補助については、ひとり親家庭及び生活保護世帯、非課税世帯を対象として実施しました。その結果、対象となる学童クラブ利用者の保育料が引き下げられ利用者の負担軽減につながり、これまで経済的な理由で学童クラブの利用が困難だった世帯も、利用しやすくなりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,760	21,727		21,108			619

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ファミリーサポートセンター事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	子育てのお手伝いを必要としている人（おねがい会員）と子育てのお手伝いをしたい人（サポート会員）とを結びつける会員制の相互援助活動を行います。

事業の実施内容

○ファミリーサポートセンター事業　　5，074千円

【センターの業務】
①会員の募集、登録に関すること
②相互援助活動の調整
③会員を対象に相互援助活動に必要な知識を習得するための講習会の開催
④会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催
⑤子育て支援に関する関係機関との連絡調整に関する業務
⑥広報活動

【アドバイザー・登録会員状況】

単位：人

アドバイザーの人数	援助を行いたい会員（提供会員）	提供を受けたい会員（依頼会員）	両方会員	合計
2	107	390	58	555

【活動実績】

件数

保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	子どもの習い事等の場合の援助	保育所・学校等休み時の援助	合計
290	140	7	0	224	2	
保育所等施設入所前の援助	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	保護者等の求職活動中の援助	保護者等の外出の場合の援助	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	その他	
0	14	0	16	6	14	713

事業の成果

急な用事等により一時的に子どもを預かって欲しいけれど頼れる人がいない世帯の子育て支援のために、育児について助け合う相互援助活動を通して、子育て世帯の負担を緩和することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,391	5,074	1,691	1,691			1,692

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域子育て支援拠点事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	子育て家庭が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供・助言、子育てサークルなどへの支援や地域の保育需要に応じた支援を行います。

事業の実施内容

主な経費

○宮平保育所
（職員人件費、臨時職員賃金、消耗品費、備品購入費等）　7,982千円

○認可保育園子育て支援拠点事業補助金　16,796千円
新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助　526千円

・ 絵本の読み聞かせや育児講座、手作りおもちゃ作り、クッキング等、子育て親子のニーズや要望を取り入れて毎月1回以上行っています。

・ 広報活動として「ふくぎの家だより（宮平保育所）」「たんぽぽ広場だより（津嘉山保育園）」「がじゅまる広場だより（かねぐすく保育園）」を発刊しました。

・ 子育て及び子育て支援に関する講習等を実施しました。

・ 公民館子育てサロン、児童館幼児クラブとの親子交流、認可外保育園とのリトミック交流・支援活動の実施・地域の公園での親子交流の実施。

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、交流保育が中止になったり、いくつかのイベントが中止になったりと、感染拡大防止を図りながらの活動となりました。利用者の中には新型コロナウイルスの影響による生活の変化にストレスを抱える方もいますが、支援センターはコロナ禍の疲労と孤立感を解消するのにも、重要な役割を果たしました。

子育て支援センター親子利用者状況　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宮平保育所	47	63	84	121	62	140	150	133	129	4	12	97	1,042
津嘉山保育園	199	132	206	143	141	155	246	214	197	205	174	163	2,175
かねぐすく保育園	152	158	198	125	108	257	213	270	218	150	228	252	2,329
合計	398	353	488	389	311	552	609	617	544	359	414	512	5,546

事業の成果

実施する保育園に対し、補助金を助成することにより、子育て家庭等に対する育児不安などの相談及び指導、子育てサークル等への支援並びに地域の保育需要に応じ、地域の各保育所間の連携を図りながら子育て家庭への支援を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	25,304	25,304	8,398	8,123			8,783

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童手当事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童（中学修了前までの児童）を養育している方に支給されます。	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的としています。

事業の実施内容

1. 児童手当の種類などについて

児童手当の支給対象は、15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している方で、手当を受給するには、一定の所得制限があります。支給額は月額で3歳未満の児童は一律15，000円、3歳以上小学校修了前の児童は10，000円(※第3子以降は15，000円)、中学生は一律10，000円となっています。また、所得制限限度額以上の場合は特例給付として月額一律5，000円を支給し、所得上限限度額以上の場合は支給無しとなります。なお、「被用者」とはサラリーマンなど厚生年金に加入している方のことで、「非被用者」とは自営業者など国民年金に加入している方のことです。

※「第3子以降」とは、高校卒業まで（18歳到達後最初の3月31日まで）の養育している児童のうち、3番目以降をいいます。

2. 児童手当の支給状況　　◆扶助費決算額　930，145 千円

区分			手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額(円)
児童手当	被用者	0歳～3歳未満	15,000	12,823	742,365,000
		3歳～小学校修了前	10,000	30,810	
			15,000	8,742	
		小学校修了後 中学校修了前	10,000	11,079	
			計	63,454	
	非被用者	0歳～3歳未満	15,000	2,516	179,175,000
		3歳～小学校修了前	10,000	7,354	
			15,000	2,611	
		小学校修了後 中学校修了前	10,000	2,873	
			計	15,354	
特例給付		被用者	5,000	1,486	8,605,000
		非被用者	5,000	235	
			計	1,721	
				合　計	930,145,000

◆報酬　1,118 千円
◆職員手当等　97 千円
◆旅費(費用弁償)　17 千円
◆需用費　42 千円
◆役務費　708 千円
◆償還金　134 千円

※ 令和4年度10月分からは制度改正に伴い所得上限限度額が設定され、所得がそれを超える場合は児童手当等は支給されません。

事業の成果

子育てや生活支援のために手当を支給することにより、家庭生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することに繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	959,277	932,258	649,946	140,050			142,262

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認定こども園事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	認定こども園（施設、在園児、保護者）	小学校就学前の児童を受け入れ、幼児教育・保育を一体的に行っていきます。

事業の実施内容

1．入所児童数（令和5年3月1日現在）

※町内在住者のみ　　単位：人

施設名		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
開邦幼稚園	1号認定	0	3	4	4	11
	2号認定	14	19	18	25	76
町内施設　計		14	22	22	29	87
1号認定	童夢認定こども園	0	0	1	0	1
	善隣幼稚園	0	4	1	1	6
	津山幼稚園	0	1	1	1	3
	かぐらこども園	0	1	0	0	1
	米須こども園	0	1	0	0	1
	あおぞらこども園	0	0	0	1	1
	ゆたか認定こども園	0	1	0	0	1
	識名さつき認定こども園	0	1	0	1	2
	第2愛心こども園	0	0	0	1	1
	愛心こども園	0	0	0	2	2
	ポプラこども園	0	2	0	1	3
	わかば認定こども園	0	0	2	0	2
2号認定	童夢認定こども園	0	0	0	1	1
広域入所　計		0	11	5	9	25
合計		14	33	27	38	112

○認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。令和元年度より町認可施設として1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額（令和4年度実績）

単位：千円

施設名	運営費
開邦幼稚園（1号）	5,524
開邦幼稚園（2号）	62,448
町内認定こども園運営費（小計）	67,972
広域入所（1号）	53,007
広域入所（2号）	2,320
町外認定こども園運営費（小計）	55,327
合計	123,299

事業の成果

認定こども園においては幼児教育・保育を一体的に取り組むことができ、また、保育の必要理由の有無に関わらず子どもを受け入れることにより、集団活動や異年齢交流も確保できた。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	126,980	123,299	98,764	16,920	0	0	7,615

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	正規雇用化促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可保育園及び地域型保育施設、認定こども園	待機児童解消に必要な保育士を確保するために、保育士の正規雇用化を図る事業者を支援することにより、保育士の新規確保及び離職防止を図ります。

事業の実施内容

○保育士正規雇用化促進事業補助金　　5,400千円

【事業の内容】

保育士を非正規雇用から正規雇用に転換、又は新規採用する保育士を正規雇用した認可保育園等へ、補助を行いました。

・保育士を非正規雇用から正規雇用に転換した場合：30千円×正規雇用月数
・新規採用する保育士を正規雇用した場合：30千円×正規雇用月数

※実施園6園（よなは保育園、マイフレンズ保育園、やまがわ保育園、よなは第2保育園、くわの実保育園、たいようのおか保育園）

はっぴょうかい♪♪
（マイフレンズ保育園）

黒糖づくり体験
（よなは第2保育園）

事業の成果

保育士の正規雇用化を図る事業者を支援することにより、保育士の新規確保及び離職防止を図り、待機児童解消に必要な保育士を確保することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,400	5,400		4,860			540

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼児教育・保育無償化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	3歳児から5歳児までの子ども達の幼稚園・保育園・認定こども園等の利用を無償化するとともに、0歳児から2歳児までの住民税非課税世帯の子ども達を対象として保育園等の費用を無償化する。	幼児教育・保育無償化事業を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するように支援し、良質かつ適切なものであることに加え、子どもの保護者の経済的負担の軽減をはかる。

事業の実施内容

■　幼児教育・保育無償化事業

生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、子育てや教育にかかる利用負担の軽減を図る少子化対策の観点などから、3歳児クラスから5歳児クラスの子ども及び市町村民税非課税世帯の0歳児クラスから2歳児クラスの子どもを対象に幼児教育・保育の無償化を実施します。

＜対象者＞

○　3歳児クラスから5歳児クラスのすべての子ども

○　満3歳で幼稚園や認定こども園（教育認定）へ入園した子ども

○　0歳児クラスから2歳児クラスの市町村民税非課税世帯の子ども

＜対象範囲＞

○　公立・認可保育所（園）・地域型保育施設・認定こども園（2号認定）の
保育料：全額無償化

○　幼稚園（教育時間）の保育料　：　月額25,700円までの範囲で無償化

○　認可外保育施設等の保育料
・　0歳児から2歳児クラス→月額42,000円までの範囲で無償化
・　3歳児から5歳児クラス→月額37,000円までの範囲で無償化

○　預かり保育利用料　：　月額11,300円までの範囲で無償化
（提供日数が26日未満の場合は日額450円×利用日数の範囲）

■　主な経費

○　会計年度任用職員報酬（期末手当・通勤手当含む）　3,825千円
○　通信運搬費等　96千円
○　子育てのための施設等利用給付費　31,291千円
※　国1/2　県1/4　町1/4　負担しています。

事業の成果

幼児教育や保育の無償化を行うことにより、子どもが健やかに成長するように支援し、子どもの保護者の経済的負担を軽減することかできました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	56,590	46,553	19,566	7,823			19,164

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	包括的支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	地域包括支援センターに、社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師等の専門職を配置し、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために包括的な支援をします。

事業の実施内容

地域包括支援センターは介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者及び家族からの相談や、高齢者の見守り、心身の状態に合わせた支援などを行う高齢者の総合的な相談支援の拠点です。

1）介護予防支援業務
①　令和4年度予防給付対象者（要支援1・2）　→（延べ3,067人）
②　①の方への予防給付ケアマネジメント実施者　　→（延べ1,585人）

2）総合相談支援業務
相談・支援件数　5,132件

	内容	相談・支援件数（電話・来所・訪問）
1	介護、他生活に関すること	4,039
2	介護保険に関すること	535
3	福祉制度・サービスに関すること	558
	計	5,132

3）包括的・継続的ケマネジメント支援業
①　地域ケア会議→福祉課題検討ケア会議では、「家族介護者の介護負担や支援について」「地域主体の地域ケアについて」を議題に、社協と高齢者福祉班、地域包括支援センター職員で話し合いを行いました。また、ケアマネジメント支援ケア会議を行い、ケアプランに対して理学療法士等多職種で自立支援に繋がる助言を行いました。（検討したプラン件数：18件、開催回数は7回）

②　地域のケアマネージャーに対する支援
・南風原町介護支援専門員連絡協議会の開催（定例会5回、役員会5回）
・支援困難な方への助言、関係機関調整

4）権利擁護業務

内　容	相談・支援件数	相談対応件数	新規相談件数
高齢者虐待に関すること	365	16	15

成年後見制度に関すること　　町長申立：2件　　報酬助成：6件

主な経費　人件費（社会福祉士等）　21，580千円
委託料　12，108千円
使用料　2，028千円
その他　728千円

事業の成果

高齢者の様々な相談に関して、各関係機関と連絡調整し包括的に支援を実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	38,516	36,444				36,444	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	生活支援体制整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者及び地域住民、民間企業、社会福祉法人等	生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、地域住民、ボランティア、民間企業、社会福祉法人等、多様な主体が関わり、地域における支え合いの体制作りを推進します。生活支援の担い手の養成や地域資源の開発、ネットワーク化などを行います。

事業の実施内容

1）生活支援コーディネーター業務　（町社会福祉協議会へ委託、2名配置）
主な経費：生活支援コーディネーター委託料　　7,662千円

活動内容		件数
資源開発	資源開発の情報収集	207
	地域への働きかけ	59
	関係機関への働きかけ	28
	生活支援の担い手・サービス開発	14
	計	308
ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	140
	サービス提供主体間の連携体制づくり	44
	計	184
ニーズと取組みのマッチング	個別ニーズとサービスのマッチング	73
	社会資源の情報提供	39
	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	22
	計	134
その他	協議体に関すること	13
	ニーズ把握	130
	その他	46
	計	189
合計		815

○ 社会資源マップ作成
実施時期：令和4年4月～令和5年2月
　南風原町高齢者が地域でいきいき暮らすための社会資源マップとして掲載されている情報の更新をおこないました。
　高齢者の支援者向けの内容となっており、町社会福祉協議会と地域包括支援センターで対象者に配布しています。

○ とくし丸見守り協定式（6月）
移動スーパーとくし丸（株式会社りうぼう）との協定締結
対象者：町内の高齢者
　移動スーパーとくし丸、町社会福祉協議会と南風原町の3者にて見守り協定を結び、一人で買い物に行くことが困難な高齢者の支援と見守りが可能となりました。

○ CLC（全国コミュニティライフサポーターセンター）によるサポート
　CLCは地域生活支援など地域づくり支援を行う特定非営利活動法人で、地域とのつながりや地域への入り方等についてサポートしていただきました。町社会福祉協議会に配置している地域活動支援コーディネーターへの助言により、地域づくりのヒントを得ることができました。

2）生活支援体制整備事業　協議体
自治会単位で協議会の開催が出来ました。（1カ所）

事業の成

コロナによって、できなかった事業活動もありましたが、協議体を開催することができ、「地域のことを地域の皆で話合っていく」ことができる関係づくりができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,002	7,662				7,662	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	家族介護支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	高齢者等を自宅で介護している家族	家族が介護技術や保健福祉制度、介護者自身の健康づくりについて学び、精神的・身体的負担の軽減を図ります。また、家族同士の交流や情報交換及びレクリエーション等を通して、介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ります。

事業の実施内容

1）家族介護者等支援事業　　決算額　：　320千円

	参加者
① ピクニック「東南植物楽園～グランメールリゾート」	12人
② 介護教室１「介護予防運動の知識を学び実践しよう」 講師：国吉智恵　氏	9人
③ 介護教室２「認知症予防の大切さについて安心して暮らせるよう認知症について知ろう」 講師：外間政也　氏	13人
④ 介護教室３「福祉住環境について学び多種多様な福祉機器を知ろう」 講師：大城政人　氏	9人
⑤ 介護教室４「回想法～喜びと感謝の気持ちで笑顔なれる話～」 講師：宮良政洋　氏	9人

2）老人福祉医療助成金支給事業　　決算額　：　4，340千円　　支給人数　：　187人

在宅や入院中の要介護高齢者に対し、健康保険等の保険外負担となっているオムツ代の助成をしました。

3）介護用品支給事業　　決算額　：　283千円　　支給人数　：　7人

在宅で高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することで、家族の負担を軽減し、要介護者の在宅生活の継続と向上を図りました。

4）南風原町介護者の会（にじの会）補助金　　決算額　：　90千円

介護者間の連携を密にし、協力と助け合いでよりよい介護に繋げ、在宅で安心して介護ができることを目的に結成された「にじの会」へ補助金を交付することにより、家族介護者の介護負担や介護疲れを軽減し、要介護者の在宅生活の継続と福祉の向上に向けて支援しました。

事業の成果

日頃の介護負担や介護疲れを軽減し、心身のリフレッシュを図りました。また介護用品やオムツ代等の経費を一部負担することで経済的負担を軽減し、在宅介護の福祉向上が図れました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,333	5,033				5,033	0

令和4年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	在宅医療・介護連携推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続するため、医療と介護の連携を推進します。

事業の実施内容

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、在宅医療に関わる機関と介護サービス事業者など、関係者間の連携推進を目的とした事業です。

本町は南部地区市町と合同で、南部地区医師会へ事業委託を行っています。

1. 在宅医療・介護連携に関して、必要な情報の収集、整理及び活用、課題の把握、施策の企画及び立案、医療・介護関係者に対する周知

医療・介護検索ツールを「医療・介護おたすけマップ」にリニューアルし、資源の情報提供を行いました。また、協議会（2回）担当者連絡会（6回）食支援ワーキンググループ会議（3回）入退院支援ワーキンググループ会議（4回）を開催し、地域の課題について検討しました。

2. 地域の医療・介護関係者からの在宅医療介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助

コーディネーターの配置による相談窓口を設置し、医療・介護関係者の相談支援を実施しました。

3. 地域住民への普及啓発

地域ケア会議にコーディネーターが出前講座でもしバナカードを使いACPについて普及啓発を行いました。

4. 医療・介護関係者への支援

救急連絡シートの改善、食支援、意思決定支援、認知症、入退院支援、看取り等に関する研修を開催し、関係者の支援を実施しました。

主な経費
委託料　2，052千円

ACPとは・・・
アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、将来の医療・ケアについて、あらかじめ高齢者等ご本人含め家族や近しい人、医療・ケアチームと繰り返し話し合い、ご本人の価値観や希望に沿った最期について、意志決定を支援する取り組みのことです。

事業の成果

南部地区医師会と協働で実施し、医療・介護の連携、入退院連携の推進を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,133	2,052				2,052	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者地域支援体制整備・評価事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯	介護保険で要介護に該当しない日常生活に支障のある高齢者世帯にホームヘルパーを派遣し、生活援助や定期的に電話をかけることで心のふれあいや健康状態を確認し、高齢者の自立と社会参加を図ります。

事業の実施内容

1）軽度生活援助事業　　委託料　：　640千円

介護保険の認定を受けてない高齢者で、日常生活を営むことに支障がある高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、生活援助を行い、健康の保持及び生活の安定に向けて支援を行いました。

実人数　：　5人　　延べ人数　：　50人　　派遣時間　：　337時間

【　軽度生活援助サービス事業実績　】

	利用人数	派遣回数	派遣時間
4月	4	22	30.0
5月	4	22	31.0
6月	5	25	32.0
7月	5	23	30.0
8月	4	20	26.0
9月	4	21	28.0
10月	4	19	25.0
11月	4	24	33.0
12月	4	23	31.0
1月	4	18	25.0
2月	4	19	23.0
3月	4	18	23.0
合計	50	254	337.0

2）ふれあいコールサービス事業　　委託料　：　396千円

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し、定期的に電話をかけることで、健康状態や安否の確認及び心のふれあいを図りました。

【　ふれあいコールサービス事業利用者実績（月別）　】

	人数	回数
4月	17	133
5月	18	137
6月	17	164
7月	16	153
8月	17	161
9月	16	134
10月	16	144
11月	17	134
12月	16	128
1月	16	122
2月	16	132
3月	15	127
合計	197	1,669

利用者実人数　：　17人
利用者延べ人数　：　197人

次ページへつづく →

事業の実施内容

3)高齢者日常生活用具給付等事業　199千円

高齢者の自立支援や介護予防を促進する事を目的に、日常生活用具の給付を行いました。(利用者世帯の所得に応じて費用負担が異なります。)

用 具 等	利用者数	金　額
歩行支援用具	4人	199千円
入浴補助用具	0人	0千円
腰掛便座	0人	0千円
合　計	4人	199千円

4)外出支援サービス事業　3，370千円

公共交通機関を利用することが困難な高齢者について、リフト付き車輌により医療機関への送迎を行っています。また歩行に不安があるため、高齢者サロンや一般高齢者介護予防通所事業等への参加が困難な高齢者に対しても、送迎を行いました。

【 外出支援サービス事業利用者等実績(月別) 】

	高齢者支援		サロン活動等	
	人数	回数	人数	日数
4月	13	24	53	11
5月	13	27	43	8
6月	9	17	56	11
7月	6	11	64	11
8月	9	16	37	8
9月	7	14	68	11
10月	14	28	119	16
11月	12	22	89	13
12月	16	30	90	14
1月	14	23	81	14
2月	13	25	92	15
3月	21	39	98	15
合計	147	276	890	147

※実績表(月別)の高齢者支援の項目は高齢者の居宅と医療機関等との間の送迎。サロン活動等は高齢者の居宅と介護予防事業等を提供する場所との間の送迎。

5)福祉電話設置費　2千円　　件数:1件(撤去)

6)高齢者外出支援タクシー利用料金助成事業　1，710千円

75歳以上で非課税世帯の高齢者がタクシーを利用する場合に、経済的負担の軽減や日常生活の利便性向上を図るため、タクシー初乗り運賃相当(560円)のチケットを1ヶ月につき4枚を助成しました。対象者は次の①～④全てに該当する方になります。

①75歳以上(介護保険施設、高齢者向け施設入所者を除く)のみで構成される世帯の方
②住民税非課税世帯であること
③世帯内に自家用車を所有している方がいないこと
④町内及び近隣市町村に自家用車を所有する協力的な親族がいないこと

令和4年7月から申請受付を開始し、29名の方へチケット交付をおこないました。

主な経費:システム構築費等　1，429千円、 タクシー協会委託料　281千円

事業の成果

高齢者が安心した生活が送れるように、在宅生活を支えるサービスを提供し、自立した生活の支援および社会参加を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,063	6,317					6,317

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	重度心身障害者医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	心身に重度の障害のある障がい者（児）に対し、医療費の一部を助成します。	医療費の一部を助成することによって保健の向上に寄与し、もって重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

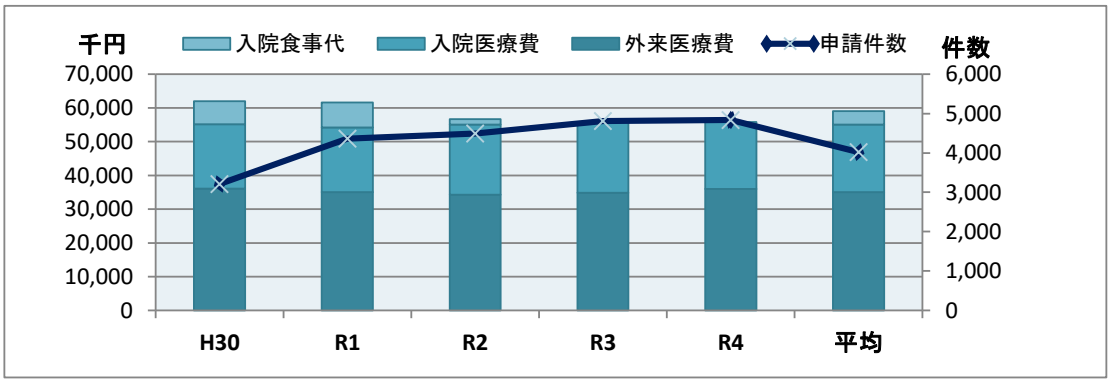
1 印刷製本費　23千円
2 委託料　420千円
3 扶助費　55，829千円

重度心身障がい者（児）医療費助成受給資格者に対し、保険適用診療分の医療費の自己負担額を助成しました。（所得制限があります）

＜受給対象者（障害程度）＞
- 身体障害者手帳1級または2級
- 療育手帳A1またはA2
- 身体障害者手帳3級かつ療育手帳B1
- 療育手帳B1かつ障害基礎年金1級受給
- 療育手帳B1かつ特別児童扶養手当1級受給

◆ 医療費助成の内訳
対象者数･･･712名　申請件数（延べ）･･･ 4，837件（月平均403件）
助成額（総額）･･･ 55，828，969円　うち外来医療費 ･･･ 36，031，140円
うち入院医療費 ･･･ 19，797，829円
※入院食事代はR2年4月診療分以降廃止

◆ 医療費助成額の推移



（単位：円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
申請件数	3,211	4,373	4,489	4,811	4,837	4,221
外来医療費	36,069,642	35,073,081	34,268,997	34,873,866	36,031,140	35,071,397
入院医療費	19,099,925	19,110,659	20,749,016	20,937,357	19,797,829	19,974,239
入院食事代	6,851,973	7,445,891	1,678,280	0	0	3,994,036
合計	62,021,540	61,629,631	56,696,293	55,811,223	55,828,969	59,039,672

事業の成果

重度心身障がい者（児）の医療費負担軽減を図り、健康増進及び福祉の向上を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	56,288	56,272		27,903			28,369

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	自立支援医療費（更生・育成医療・療養介護）事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	098－889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	【更生医療】18歳以上の身体障害者手帳を有する者 【育成医療】18歳未満の特定の障害を有する児童または、現存する疾患を放置すると将来においてこれらの障害を残すと認められる児童	身体の障害またはその原因となる疾患を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる医療に対して、自己負担額を軽減することにより適切な医療受診及び自立支援を図ります。

事業の実施内容

◎更生医療とは

更生医療は疾病、事故、災害等による身体的損傷が、一般医療によってすでに治癒（欠損治癒や変形治癒等の不完全治癒）した身体障がい者に対し、日常生活能力、社会生活能力または職業能力を回復または向上、もしくは獲得（更生）させることを目的として行うものです。

・更生医療給付費　48,638 千円　　・更生医療審査事務委託料 70千円

更生医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担
心　臓	29	41,705,350	33,286,173	139,959	8,279,218
じん臓	285	402,151,196	359,020,448	4,455,190	38,675,558
肢体不自由	0	0	0	0	0
その他	19	14,475,500	12,610,474	182,131	1,682,895
合　計	333	458,332,046	404,917,095	4,777,280	48,637,671

・償還金　4,678千円

◎育成医療とは

育成医療とは身体上の障害を有する児童又は現存する疾患を放置した場合、将来において障害を残すと認められる児童に対し、健全な育成を図ることや生活の能力を得るために必要な医療のことです。

・育成医療給付費　1,479 千円　　・育成医療審査・判定事務委託料　61千円

育成医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担
心臓	2	2,609,220	2,423,822	11,533	173,865
じん臓	0	0	0	0	0
肢体不自由	20	17,540,870	16,557,082	75,333	908,455
音声・言語等	8	4,119,020	3,743,624	56,635	318,761
聴覚・平衡機能	0	0	0	0	0
その他	0	441,030	357,090	5,649	78,291
合　計	30	24,710,140	23,081,618	149,150	1,479,372

※自立支援医療（更生・育成）の対象施術
・心臓手術（冠動脈バイパス術、ペースメーカー埋込術、ｽﾃﾝﾄ留置術など）
・人工透析・腎臓移植手術など　　・唇顎口蓋裂にかかる手術や歯科矯正

◎療養介護とは

医療を必要とするとともに、常時介護を必要とすると認められた障がい者（児）に対して、病院や施設等で機能訓練、療養上の管理、看護を行う医療費のことです。

・療養介護医療費　6,898 千円　　・療養介護医療審査事務委託料　5千円

事業の成果

更生医療・育成医療、それぞれにおいての必要な医療を、各医療機関及び県判定機関との連携を図りながら実施することで自立支援を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	61,887	61,829	26,476	12,987			22,366

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	市町村地域生活支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	098－889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域で生活する障がい者及び障がい児を対象としています。	障がい者（児）が自立した日常・社会生活を営むことができるよう、南風原町の特性や障がい者（児）のニーズに応じた事業を実施していきます。

事業の実施内容

1．相談支援事業

・障がい者相談支援　14,921千円

地域の障がい者（児）の福祉に関するいろいろ問題について、障がい者本人や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行う為の事業を町社協へ委託し実施しました。（R4延べ相談件数：3,577件）

・基幹相談支援センター　6,029千円

相談支援体制の強化・困難事例や相談支援専門員への助言・相談支援員の人材育成・地域移行及び定着支援事業の促進・関係機関ネットワークの構築・権利擁護及び虐待防止体制の支援・自立支援協議会運営体制の支援等に取り組みました。

2．意思疎通支援事業

・設置手話通訳者報酬等　2,769 千円
・手話・要約筆記奉仕員派遣謝礼金　597 千円
・手話奉仕員派遣事業委託料　384 千円
・奉仕員傷害保険料　14 千円
・頸肩腕症検診料　16 千円
・手話奉仕員養成事業委託料 384 千円

意思疎通を図ることに支障のある聴覚障がい者の支援を目的に、手話通訳者を設置し庁舎内での手話通訳や、要望に応じて通院、学校行事（三者面談、家庭訪問など）への派遣、団体主催の講演会や職場会議などでの手話通訳及び要約筆記（斡旋含む）のコーディネートを行っており、令和4年度は332件の通訳依頼がありました。また、時間外や緊急時への手話通訳派遣対応として沖縄県聴覚障害者協会に委託しました。

3．子ども発達支援事業

・発達支援心理士報酬等　3,340千円
・謝礼金（ペアレント・プログラム託児）　28千円
・発達支援事業委託費　5,552千円
（親子通園事業　巡回訪問支援事業　ペアレントプログラム）

子どもの発達が気になる段階から保護者や支援者等に対して子の健やかな発達支援を図るための支援を各種事業を通して行いました。

□発達相談事業　発達が気になる未就学児童の保護者等に対して健診会場や個別での発達相談を行う事業（R4実績　健診時相談：187件　個別相談：80件）
□親子通園事業　親子で通園し、小集団による療育を行う事業（R4実績 13組48回）
□巡回支援専門員派遣事業　保育所等への巡回訪問支援を行い保育士等に対して助言等を行う事業（R4実績 10園90人）
□ペアレントプログラム　子どもの良いところを見つけ”ほめるコツ”を学び子育てが楽しくなる講座（R4実績　前期：4人　後期：9人）

4．自立支援協議会

・協議会委員謝礼金　72千円

相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関する体制づくりに関し、中核的な役割を果たす「南風原町障がい者自立支援協議会」を開催しました。

次ページへつづく →

事業の実施内容	5. 声の広報等発行事業　444千円 ボランティアの方が、毎月町広報と社協だよりをCD等に録音し、視覚障がい者を対象に配布する事業を町社協に委託し実施しました。令和4年度の利用者は約16人でした。 6. 福祉機器リサイクル事業　106千円 福祉機器の有効利用を図るため、不用になった福祉機器を回収し必要とされる方へ貸し出す事業です。町では社会福祉協議会へ業務を委託しています。令和4年度は、車イス、介護用ベッド、ポータブルトイレ、シャワーチェア、歩行器等において125件の利用がありました。 7. 地域活動支援センター事業　4,500千円 障がい者の居場所づくりや地域活動の支援のために、創作活動や生産活動を行う基礎的事業を「てるしのワークセンター」に委託し実施しました。 8. 社会参加促進事業　200千円 障がい者・障がい児が個々の能力や適性に応じて自立した日常生活を営む事ができるようにスポーツ教室を開催しさまざまな運動を行いました。 9. 日常生活用具給付事業　7,284千円 障がい者(児)の日常生活の便宜をはかるため、日常生活用具の給付をおこなっています。令和4年度は540件の用具給付実績がありました。 10. 移動支援事業　3,069千円 屋外での移動が困難な障がい者(児)への余暇活動などの社会参加促進のため、外出時の移動の支援を行いました。 11. 日中一時支援事業　1,705千円 障がい者(児)が充実した生活をおくれるよう、また日常的に障がい者(児)を介護している家族の一時的な休息(レスパイト)を図るため、障がい者(児)の日中における活動の場を提供する事業を行いました。 12. 地域活動支援事業支払委託料　17千円 13. 障害程度区分認定調査等事業 障がい者の介護の必要度を認定する為の調査及び認定審査会での審査を行いました。□ ・区分認定調査員報酬(介護福祉士)　5,290千円 ・主治医意見書作成手数料　444千円 14. 自動車運転免許取得・改造助成事業費　21千円 15. 成年後見制度利用支援事業費　348千円 16. 障害者週間にかかる啓発事業　7千円 17. 償還金　272千円
事業の成果	地域生活支援事業で行う各種事業を通じて、障がい者(児)が自立した日常生活・社会生活が営むことができるよう事業推進に取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	62,238	57,813	8,724	4,187			44,902

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護給付・訓練等給付事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
○身体に障がいのある方 ○知的障がいのある方 ○精神障がい（発達障害を含む）のある方 ○難病等の方（対象疾患に該当する方） ※すべて児童を含む	障がい児（者）が特性に応じた日常生活等を営むことができるように、個々に即したサービスの支給を行い、福祉の増進を図ります。また、障がいの有無にかかわらず、地域住民が尊重し合い、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与します。

事業の実施内容

1. 自立支援給付費　908,452 千円

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
居宅介護	35,345,607	942
重度訪問介護	13,154,860	91
行動援護	870,250	19
同行援護	28,223,763	327
療養介護	26,920,150	96
生活介護	264,289,548	1,277
短期入所	11,480,966	164
施設入所支援	100,590,259	723
共同生活援助（GH）	94,048,389	576
宿泊型自立訓練	849,540	8

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
自立訓練（機能訓練）	2,980,530	18
自立訓練（生活訓練）	3,260,592	23
就労移行支援	17,374,179	124
就労継続支援（A型）	42,619,719	295
就労継続支援（B型）	248,307,036	1,955
就労定着支援	423,930	15
地域移行支援	0	0
計画相談支援給付費	17,630,260	1,207
高額障害福祉サービス費	82,196	41
合計	908,451,774	7,901

2. 障害児通所給付費　482,872 千円

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
児童発達支援	127,569,315	1,146
放課後等デイサービス	322,906,324	2,529
障害児相談支援給付費	14,627,280	871
高額障害児通所給付費	86,696	12
医療型児童発達支援	1,006,756	25
保育所等訪問支援	16,360,839	289
居宅訪問型児童発達支援	62,100	1

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
肢体不自由児通所医療費	156,501	25
やむを得ない事由による措置費	96,690	36
合計	482,872,501	4,934

3. その他費用　内訳　5,732 千円

自立支援給付費事務委託料	1,211,682
障害児通所給付費事務委託料	907,903
総合支援ソフト賃貸借料	712,800
償還金（前年度補助差額分）	2,899,500
合計	5,731,885

4. 補装具給付費（購入・修理）　8,910 千円

内訳

補装具の種類	購入		修理	
	決算額（円）	延べ件数	決算額（円）	延べ件数
義肢	917,648	1	0	0
装具	1,334,479	16	9,434	1
座位保持装置	1,907,214	5	518,102	3
盲人安全杖	12,369	2	0	0
義眼・眼鏡	49,880	3	0	0
補聴器	1,183,154	14	191,494	7
車椅子	1,671,999	6	622,942	9
電動車椅子	0	0	317,918	4
座位保持椅子	95,082	1	0	0
歩行器	0	0	0	0
歩行補助つえ	0	0	0	0
重度障害者用意思伝達装置	0	0	78,016	1
合計	7,171,825	48	1,737,906	25

事業の成果

委託相談支援員（町社協CSW）、計画相談支援員、基幹相談支援員、その他関係機関及び地域等と連携し、障がい者（児）の状況に応じた福祉サービスの支給や補装具給付による支援を行うことで、自立生活の促進を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,417,222	1,405,966	688,576	344,288			373,102

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	南風原町敬老月間啓発事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の65歳以上高齢者	コロナウイルス感染拡大防止により自粛生活を強いられる高齢者の身体機能低下を改善します。

事業の実施内容

Ⅰ．事業概要

コロナウイルス感染症拡大の影響で、外出する機会の減った高齢者の身体機能低下の改善を図る目的で、自宅参加型のイベントを開催し、参加した方には抽選でお米券や青汁、ツナ缶、十穀米等を景品としてプレゼントをしました。

①事業内容

高齢者が自身でできる運動をして、広報はえばる9月号又は同イベントチラシに掲載されているスタンプカードに運動した日にサインします。サインが20個たまると応募でき、抽選で健康関連グッズ等景品を贈呈するものです。

②開催期間：9月1日～10月14日まで

③対象者：令和5年3月末時点で65歳以上で本町に在住の方

Ⅱ．実施結果

①参加者数

令和5年3月末時点で本町在住65歳以上の方約7，700名のうち、650名を見込んでいましたが結果は296名で割合は3．8％でした。

（単位：名）

男性	女性	合計
112	184	296

（単位：名）

60代	70代	80代	90代以上	合計
46	150	86	14	296

主な経費　賞品代　561千円
印刷製本費　124千円
その他　90千円

令和4年度の贈呈式の様子 ⇒

事業の成果

今回の企画に対する肯定的な意見・感想は150件あり、「普段行っているウォーキングなどでご褒美がもらえるようで嬉しい」「素晴らしい企画だと思います。」「ずっと継続してほしい。」などの意見が多数見られました。運動するきっかけになったとの声もあり、高齢者の運動機能向上に寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	821	775				775	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者慶祝記念品贈呈事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　あゆみ		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	トーカチ、カジマヤー、新100歳の高齢者に記念品を支給します。	老人の日の前後に各対象者宅を訪問し長寿を祝います。

事業の実施内容

高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献した功績に感謝し、慶祝記念品を贈呈しました。

○ 慶祝記念品　　1，617千円

トーカチ（88歳）　・・・・・　78人

カジマヤー（97歳）・・・・・　37人

新100歳　　・・・・・　6人

↑　町長による慶祝訪問での記念品贈呈

事業の成果

長年にわたり社会に貢献してきた功績に感謝し、あわせて敬老思想の高揚を図るため、慶祝記念品を贈呈しました。希望者に対しては、感染症予防対策を図りながら、ご自宅等へ訪問し、記念品を贈呈するなど、長寿を祝いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,624	1,617					1,617

４　工夫と連携で
産業が躍動するまち

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業委員会運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　農業委員会	局長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業委員会費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農業委員、農業者	農地法に基づく許可申請、届出書等の審査及び農地利用状況の調査等を行い、農地利用の適正化を図ります。又、農業者年金事業を通じて老後生活の安定等を図り、農業の担い手の確保に繋げます。

事業の実施内容

	予算額	決算額
・ 農業委員報酬	4,521千円	4,454千円
・ 農地利用最適化推進委員報酬	2,028千円	1,998千円
・ 会計年度任用職員報酬/期末手当	2,602千円	2,528千円
・ 旅費（費用弁償）	453千円	404千円
・ その他（消耗品費等）	278千円	183千円
・ 委託料	751千円	750千円
・ 負担金、補助及び交付金	82千円	82千円
合　計	10,715千円	10,399千円

○農地法に基づく「許可申請」及び「届出」の状況
・3条申請（　　4件）　・4条申請（　　7件）　・5条申請（　　25件）
・3条届出（　　14件）　・4条届出（　23件）　・5条届出（　　43件）

▲　農業委員会総会

▲　現場確認・農地パトロール

事業の成果

農地の耕作放棄地解消取組において、遊休農地取組の促進強化と解消の推進を図りました。
農業者の老後生活の安定、福祉向上のために農業者年金の加入促進に関する研修や広報活動を実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,715	10,399		1,934		236	8,229

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地力増強対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農家	土づくり用堆肥の購入費補助をすることで農家の負担を軽減するとともに、土地に栄養を与え、作物を育てる力を育てる力を強くします。

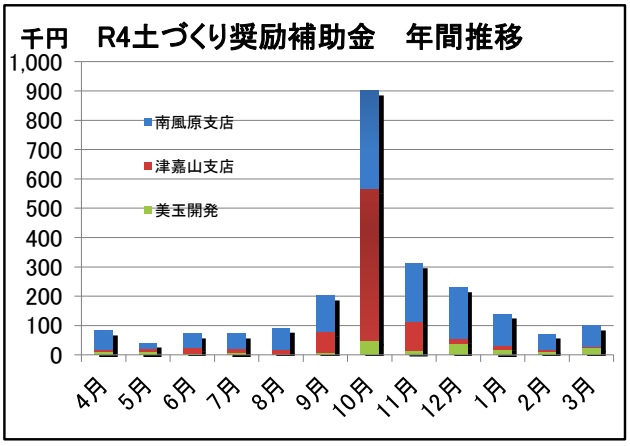
事業の実施内容

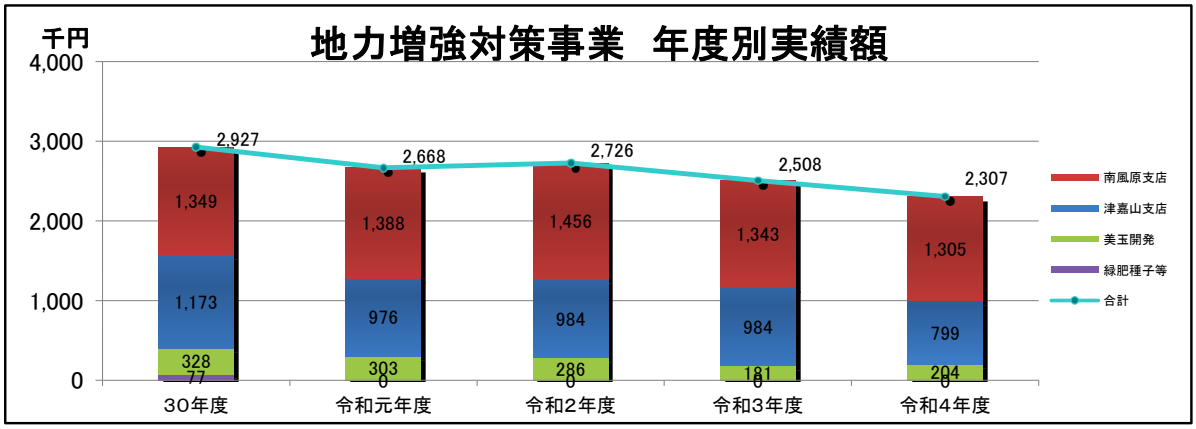
○地力増強対策事業　予算額　3,000 千円　決算　2,307 千円

補助基準
・堆肥購入一袋（15kg）に対し50円の補助

☆土づくり奨励補助金
決算額　2,307　千円

（内訳）
46,140 袋×　50 円=　2,307,000 円





事業の成果

農作物を作る上で土づくりは大変重要なものであり、堆肥の購入補助は農家の負担を軽減し、圃場の地力増強も図られ、秀品率の向上につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,000	2,307				1,500	807

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	多面的機能支払交付金			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農地費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	宮城地域資源保全の会 神里地域資源保全の会	地域共同で行う農地等の維持管理に補助を行い地域活性化を図ります。（多面的機能を支える農業者や地域住民、団体等で活動する組織への補助金）

事業の実施内容

・多面的機能支払交付金（事業期間：令和4年度～令和8年度）補助事業
総事業費：3，420千円

◆令和4年度　予算額：684千円　決算額：682千円

需用費	64千円	64千円
使用料及び賃借料	85千円	84千円
負担金、補助金及び交付金	535千円	534千円

宮城：287千円
神里：242千円

農道草刈り

ファームポンド草刈り

事業の成果

水路や農道の補修及び草刈り、清掃等を行い、農地等の維持管理が出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	684	682		459			223

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住宅リフォーム支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	商工費	07
連絡先	889－4412				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	住宅リフォームを行う町民（自己所有住宅を町内の施工業者を利用してリフォームした場合）	町民の住宅の質の向上を図るため、住宅リフォーム（対象：省エネ、耐久性向上、バリアフリー改修工事、テレワーク推進改修工事）を行う町民の負担軽減を図ります。

事業の実施内容

住宅リフォーム支援事業　【 予算額　1，654千円　　決算額　1，654千円 】

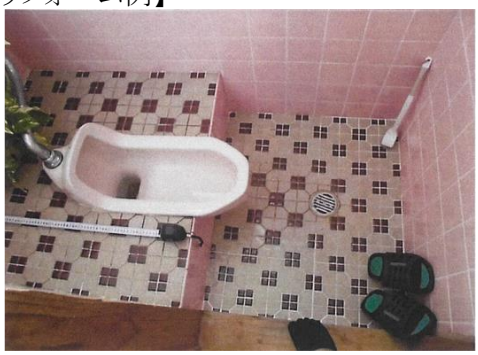
・工事費補助金 予算額　　1，650千円　　決算額　　1，650千円
（主な内訳）

工　種	件数	金額（千円）
省エネ改修工事　（屋根・壁等断熱工事）	6	604
住宅の耐久性改修工事　（屋根防水・天井内爆裂補修等）	(5)	511
バリアフリー改修工事　（段差解消・和式→洋式トイレ等）	3	535
合　計	9	1,650

※(5)件は、省エネ改修と同時施行

・通信運搬費　予算額　　4千円　　決算額　　4千円

【リフォーム例】



バリアフリー改修工事(和式→洋式)　施工前

バリアフリー改修工事(和式→洋式)　施工後

省エネ工事・耐久性（屋根遮熱・防水）　施工前

省エネ工事・耐久性（屋根遮熱・防水）　施工後

事業の成果

住宅リフォームを行う町民に補助金を交付することにより、工事費の経済的負担を軽減し、町民の住宅の質の向上に繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,654	1,654	742	453			459

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商工会の育成強化			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町商工会	地域商工業、中小企業・小規模企業の経済活動を促進し、商工業の健全な発展を図り、それにより地域産業振興と安定、地域経済の発展に資することを目的とします。

事業の実施内容

○南風原町商工会補助金　　予算額　6,804千円　　決算額　6,804千円

○事業実績

◆経営改善普及事業

①経営指導員による指導件数

巡回指導	126件	窓口指導	1,274件	創業指導	53件

②講習会等の開催

	経営一般	税務
集団	4回	2回
個別	－	11回

③金融の斡旋

融資種類	斡旋件数	貸付件数	斡旋総額	貸付総額
沖縄振興開発金融公庫	36件	33件	367,100千円	286,600千円
県融資制度	1件	1件	19,200千円	19,200千円

④事務の代行

	委託事業所数	従業員数
労働保険等	78事業所	274人

⑤記帳継続指導

	員数	雇用延日数	指導延日数	対象事業者数	うち機械化数
記帳専任	1人	222	144	118	14

※うち機械化数はネットde記帳利用者数

⑥各種共済加入状況

	加入者数	加入口数
小規模企業共済	117人	－
中小企業セーフティー共済	66人	－
中小企業退職金共済	148人	－
商工貯蓄共済	－	117口
商工会福祉共済	－	41口

⑦講習会、相談会の開催

開催回数	9
参加事業所(延べ)	273

◆地域総合振興事業

・要請活動、視察研修、ルンルンはえばるフェスタ

○南風原町商工会貸付金　　予算額　10,000千円　　決算額　10,000千円

事業の成果

南風原町商工会に補助金を交付し、指導・協力体制の強化を図るとともに、町内企業の育成、経営安定と振興、起業支援、労働者管理改善等を図った結果、地域経済の発展に寄与することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,804	16,804				10,000	6,804

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ふるさと博覧会事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本 仁志		款	総務費	02
連絡先	889－4430				項	総務維持管理	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町民、町内事業者、町内芸能・文化関係者、観光関係者、観光客	「はえばるふるさと博覧会」を町民が誇れる重要なイベントとして位置づけ、本町産業や伝統芸能・文化を広く内外にアピールする。

事業の実施内容

○ふるさと博覧会実行委員会補助金　　予算額　7,962 千円　　決算額　7,005 千円

第21回　はえばる2022ふるさと博覧会

主　催　：　はえばるふるさと博覧会実行委員会
期　日　：　令和4年11月6日（日）
会　場　：　南風原町立中央公民館、文化センター及び周辺駐車場

主な内容
○南風原・琉球かすりの女王コンテスト　　○青年芸能祭

○琉球かすり・南風原花織展示販売会　　○町内事業所展示販売　　○花火　など

■第33回 南風原・琉球かすりの女王コンテスト

■青年芸能祭

事業の成果

ふるさと博覧会は、福祉まつり、児童館まつりと合わせ隔年開催しています。前回は2018年開催でしたが、2020年、2021年と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止となっていました。
2022年においては新型コロナウイルス感染防止対策として、通常２日開催を１日にし、同時開催の福祉まつり、児童館まつりを行わないなど規模を縮小し、ライブ配信を行うなどして開催しました。
琉球絣の女王コンテストでは琉球絣・南風原花織を、青年芸能祭では新川青年会、津嘉山青年会のエイサーを披露し、それぞれの魅力を発信する事ができました。
また、町内産業の各分野から農産物や加工品の出品、伝統工芸の展示即売会などがなされており、町内外に「はえばる」をアピールすることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,962	7,005		5,540			1,465

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商品開発・技術力強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の事業者	地域資源の活用や異業種連携による商品開発・既存商品のブラッシュアップの実施、ブランド認証や販路開拓により、町内事業者が製造及び販売する地域産品の売上の拡大、地域経済の活性化を目指します。

事業の実施内容

■事業概要

本町所在の中小・小規模事業者が、地域資源を活用して製造及び販売する商品を消費者ニーズにあった魅力ある商品へブラッシュアップするための支援を行います。また、商品の製造ラインや販売方法の課題を専門家のアドバイス等により解決を図るとともに、ブランド認証及びプロモーションにより県内外の消費者へ周知し、地域産品の売上の拡大、地域経済の活性化を目指します。

■実施状況

令和4年度は既存の「はえばる良品」のブラッシュアップと琉球絣と南風原花織のサブブランドのGo-maaiを中心に支援を行い、令和3年度に「はえばる良品」として認定した「TONPI」と、SDGsを意識した絣のハギレ等を活用したGo-maaiの小物類を東京都で開催されたギフトショーへ出展し県外販路開拓の支援を行いました。また、県内販路については、町商工会が毎年イオン南風原店において開催している「ルンルンはえばるフェスタ」等で南風原町の地域特産品の知名度の向上と販路開拓に取り組みました。

○認定商品（過去3年）の販売実績　　単位：個

No	認定年度	商品名	認定次年度実績	R4年度実績
1	令和元年	EMたまごチーズケーキ	8,007	9,098
2	令和元年	30%5年古酒「南風原」premium、30%「南風原」	458	861
3	令和元年	おきなわバームミニ（ラベンダー・ティーツリー）	344	524
4	令和元年	モリンガ茶	2,750	2,800
5	令和2年	南風原カボチャチーズケーキ	1,980	製造停止中
6	令和2年	沖縄キビまる豚ロースとポーク	168	336
7	令和3年	かぼちゃカップスープ	－	2,256
8	令和3年	TONPI	－	65,000
9	令和3年	南風のかぼちゃ	－	10,100
10	令和3年	キビまる豚ソーセージ（かぼちゃ）	－	188
11	令和3年	美ら卵養鶏場のダックワーズ	－	280
12	令和3年	宵の紅茶	－	1,254
13	令和3年	紙と絣のブックカバー	－	100
14	令和3年	Do you HABU シリーズ	－	200
15	令和3年	ちゅら除菌	－	25

次ページへつづく →

事業の実施内容	

○出展実績　　県内外の催事全8回出展

・10/4	：	テスト販売：ハッピーモア市場トロピカル店	参加事業者：7
・11/15	：	テスト販売：イオン南風原店	参加事業者：1
・11/22	：	テスト販売：全国土地改良大会沖縄大会物産展	参加事業者：5
・12/15	：	テスト販売：イオン南風原店	参加事業者：2
・1/15	：	テスト販売：イオン南風原店	参加事業者：1
・2/4～5	：	「ルンルン！！はえばるフェスタ」	参加事業者：16
・2/15	：	テスト販売：イオン南風原店	参加事業者：2
・2/15～17	：	東京インターナショナル・ギフト・ショー2023年春	参加事業者：2

▲じものの日（イオン南風原店）でのテスト販売の様子

▲東京インターナショナル・ギフト・ショーでの商談の様子

事業の成果	

令和4年度は、既存商品のブラッシュアップや販路開拓に注力し事業を実施しました。専門家を招聘したセミナーの実施や毎月15日にイオン南風原店で開催される「じものの日」等でテスト販売を実施し、消費者の声が直接聞ける機会を設けるなど既存商品のブラッシュアップの支援を実施しました。また、県外での大型合同催事「東京インターナショナル・ギフト・ショー」においては、出展した事業者が大手小売店との契約締結に至るなど町内事業者の売上拡大、地域経済の活性化に寄与することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,356	15,114		12,091			3,023

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域生活支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内事業所及び町民への支援策として、町民に対しプレミアム商品券を発行、無償配付します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び原油高・物価高対策として、プレミアム商品券を発行し、地域経済の活性化と生活者支援を図ります。

事業の実施内容

○プレミアム商品券（第4弾）

・町民1人に1冊（額面6,000円の商品券を無償配付）

引換期間　：　令和4年7月28日～令和4年12月26日
利用期間　：　令和4年7月28日～令和4年12月31日
引換実績　：　39,004冊　（39,004冊×12枚(1冊あたり)＝468,048枚）
　　引換率：96.2%（39,004冊/40,539冊）
利用実績　：　465,179枚×500円＝232,589,500円
　　換金率：99.4%（465,179枚/468,048枚）

消耗品費	予算額	100 千円	決算額	87 千円
通信運搬費（引換券はがき）	予算額	917 千円	決算額	917 千円
委託料（はがき印刷）	予算額	444 千円	決算額	443 千円
商品券事業補助金	予算額	259,300 千円	決算額	247,982 千円

業　種	利用枚数	利用金額	構成比
小　売　業	445,806枚	222,903,000円	95.8%
飲　食　業	16,911枚	8,455,500円	3.6%
サービス業	2,458枚	1,229,000円	0.5%
製造業	4枚	2,000円	0.0%
合　計	465,179枚	232,589,500円	100.0%

事業の成果

プレミアム付商品券を発行・無償配付したことで、新型コロナウイルス感染症拡大及び原油高・物価高の影響を受けた、事業所及び町民を支援することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	260,761	249,429	249,429				0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	観光事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・観光客	観光振興を効率的に進めるために、観光協会の機能を強化していきます。さらには市町村の枠組みを越えた広域観光を志向していきます。

事業の実施内容

○観光振興に必要な通信費や消耗品　　予算額　　8 千円　決算額　　8 千円
・主な用途　　はえるんの管理用品、イベント等の消耗品等

○シマじまガイド事業　　予算額 10,516 千円　決算額　8,294 千円

着地型観光メニューとして「シマじまガイド（町内名所巡り）」を実施、本町の観光まちづくりを推進する観光協会に委託しています。
「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、まち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していきます。

かすりの道DEハロウィンイベント

○陸軍病院壕公開活用事業　　予算額　5,038 千円　決算額　4,576 千円
県内外から訪れる多くの人々に平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行い、観光協会に壕のガイドの委託を行っています。

○沖縄観光コンベンションビューロー負担金予算額　　150 千円　決算額　　150 千円

○南風原町観光協会補助金　　予算額 12,392 千円　決算額 12,392 千円
本町の観光まちづくりや観光振興を推進するため、一般社団法人南風原町観光協会が実施する事業に要する経費を補助金として交付、観光施設の運営や観光宣伝、カンナの花をはじめとする花いっぱい運動、夏まつりキッズパーク、綱曳ツアーなど多彩な活動を行っています。
町観光協会は、自然や歴史、文化遺産を資源とし、それらを活用したさまざまな事業を通じて、自らが住むまちへの関心や認識を深めて郷土愛を育み、地域の活性化に寄与することを目的に観光情報の発信などの事業を展開しています。

翔南小かすりの道ツアー

事業の成果

地域の観光資源の開発や活用を町民参加で行うことにより、本町に対する誇りや愛着を増すことができます。まつりやイベントを通して、地域住民におもてなしの心を育み、コミュニティの結びつきが強まります。観光誘客により、本町の知名度が向上するとともに、地域の活性化に貢献できると考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント開催等の事業の中止や縮小が相次ぎました。そのなか、翔南小学校のこども達をかすりの道ツアーに案内するなど、町内外に観光情報の発信をすることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,104	25,420		10,137			15,283

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ヒーローのまちづくり事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・観光客	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、関連イベントを開催し、観光客を本町へ誘客します。

事業の実施内容

○　ヒーローのまちづくり事業　　予算額　5,467 千円　　決算額　3,795 千円

・事業概要
南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施しております。

・イベント
【はえばる観光クイズ】
広報はえばるでの応募プレゼント企画

【ぷち青空イベント「ヒーローのまちはえばる」】
花水緑の大回廊公園で本町の偉人を現在本町で活躍している人達が偉人の功績を継承し舞台で発信

【第27回新春飛び安里凧上げ大会】
飛び安里が飛んだ南風原の空へ希望をのせるため凧上げ大会を開催

【はえばるのヒーローパネル展】
「金城哲夫氏」「飛び安里」「かぼっちゃマン」に焦点をあてたパネル展示会を開催

【劇団海「キーちりー」】
本町の特産品である「琉球絣」をテーマに、琉球絣の歴史や絣職人の想いをコミカルな演出で笑いを交えながら紹介しました。また「琉球絣」「南風原花織」が大好きな方や織物に携わっている職人の皆さんが劇中でファッションショーも開催され、「琉球絣」を学び、その魅力を発信しました。

ぷち青空イベント「ヒーローのまちはえばる」

劇団海　「キーちりー」

事業の成果

イベントの開催はYouTube配信を併用するなどして、本町が輩出した人材の認知度向上やPRを広く発信することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,467	3,795		3,036			759

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	観光PR促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

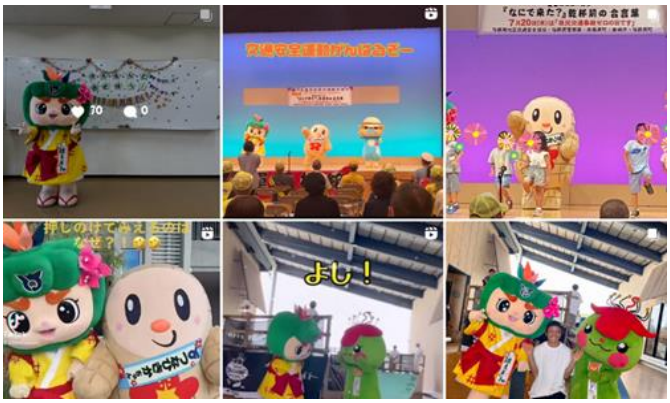
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・観光客	南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、町認知度向上・特産品や観光関連のPRについて、各種イベントや、マスメディアへの出演のほか町内外において行っていきます。

事業の実施内容

○南風原町イメージキャラクター「はえるん」の活用

予算額　4,239 千円　　決算額　4,239 千円

南風原町のキャラクター「はえるん」を各種イベントやメディアへの出演をはじめ、観光施設や町民交流スポットなど、町内各所におけるPR活動により観光誘客を促進すると共に、「はえるん」関連グッズの活用促進と、PRキャラクターによる地域活性化を図ります。



SNS活動（インスタグラム）①

SNS活動（インスタグラム）②

福祉事業所販売会

はごろも祭り（宮城）

年　度	H30	R1	R2	R3	R4
はえるん出動件数	70	58	34	43	89

事業の成果

各種イベントやマスメディアへの出演など、町内外におけるPR活動により観光誘客を促進しました。地域活性化を図るためには、町民と行政が一体となって観光まちづくりに取り組んでいく必要があります。親しみやすいイメージキャラクターを活用することでPR効果を期待できます。
今年度も新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止が相次ぎましたが、近隣市町村のイメージキャラクターとコラボしてSNS発信するなどの活動をとおして、町の認知度向上等に貢献することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,239	4,239		3,391			848

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	黄金森公園スポーツ施設活性化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	保健体育費	06
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	保健体育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・町外・社会体育団体	良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により、環境と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図ります。

事業の実施内容

主な経費

・旅費（スポーツキャンプ誘致活動等）	212 千円
・委託料（黄金森公園芝生管理）	14,740 千円
・委託料（キャンプのぼり旗製作委託料）	298 千円
・工事請負費（野球場整備工事）	880 千円
・備品購入費（パイプフェンス及びグラウンドレーキ）	2,746 千円
・その他経費（消耗品等）	39 千円
合計	18,915 千円

スポーツキャンプ実施チーム数

種目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数	チーム数	人数
陸上競技	18	663	17	690	8	652	12	919
サッカー	3	122	1	67	2	69	2	83
その他	0	0	0	0	0	0	3	70
合計	21	785	18	757	10	721	17	1,072

スポーツキャンプ開催の様子

名古屋グランパス歓迎セレモニー

練習試合でのキッズエスコート

サッカー教室及びチアダンス教室

女子ソフトボール　HONDAリヴェルタ

サッカー練習試合の様子

陸上競技場芝生管理の様子

事業の成果

黄金森公園陸上競技場・野球場の年間を通した芝生整備を実施し、スポーツキャンプの受け入れに必要な備品等を整備することで、名古屋グランパスの春季サッカーキャンプや日本陸上競技連盟合宿や実業団・大学陸上部の合宿など1,072人の利用者を誘致することができました。名古屋グランパスキャンプや女子ソフトボールチームHONDAリヴェルタの合宿の際には様々な子供達を対象とした連携事業を実施することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,237	18,915		14,692			4,223

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	琉球絣等伝統工芸事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	松本　仁志		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	琉球絣事業協同組合など	南風原町の特産品である琉球絣・南風原花織の振興を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

○琉球絣・南風原花織後継者育成事業補助金 予算額　380千円　決算額　380千円

・琉球絣事業協同組合が開催する後継者育成事業に対し補助金を交付しました。

※この事業には国、県からも補助があり、琉球絣事業協同組合も負担しました。

琉球絣・南風原花織　後継者育成事業閉校式

研修生作品

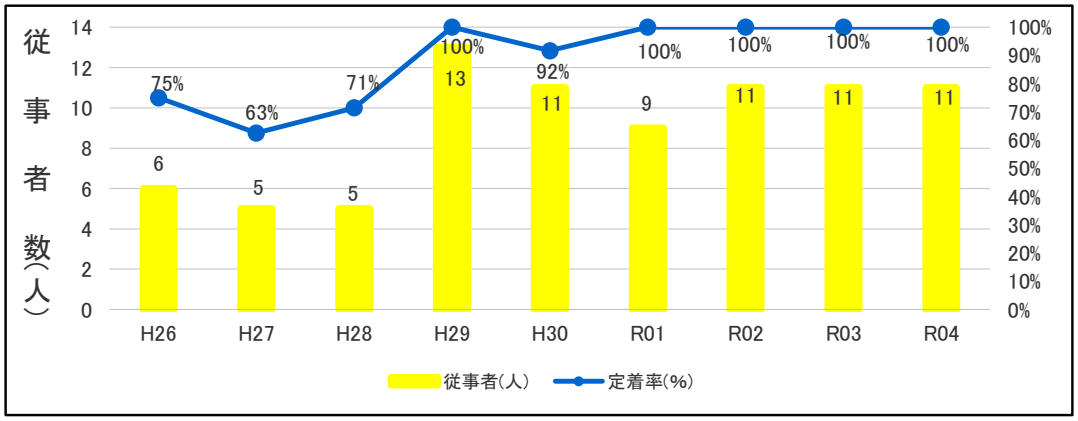
研修内容　：　機織りを中心に、染色、括りを行いました。研修終了後は各工房の元で琉球絣・南風原花織の生産に携わっていきます。

*括り(くくり)：糸束を糸でしめること。染まらない部分を作り織り上げることで様々な柄を表現する技法

平成29年に南風原花織が国の伝統的工芸品に指定され、振興計画に基づく後継者育成事業を琉球絣と合わせて行っています。

受講者数及び修了後従事者数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	合計
修了者	8	8	7	13	12	9	11	11	11	90
従事者	6	5	5	13	11	9	11	11	11	82
定着率	75%	63%	71%	100%	92%	100%	100%	100%	100%	91%



○琉球絣事業協同組合への補助金　　予算額　3,081千円　決算額　3,081千円

・琉球絣事業協同組合が行う、研修派遣、販路開拓、宣伝活動、展示即売等の経費に対して補助金を交付しました。

次ページへつづく →

事業の実施内容

○琉球絣事業協同組合貸付金　　予算額　15,000千円　決算額　15,000千円

・琉球絣事業協同組合は、国、県、町の補助金と組合員の会費でその運営を行っていますが、その補助金等が入ってくるまでの運用資金(生産者への製品である反物代金等)として資金の貸付を行いました。

○その他

・琉球かすりの女王報酬等	予算額	1,133 千円	決算額	1,088 千円
・かすり会館2階框ドア修繕	予算額	55 千円	決算額	55 千円
・伝統工芸ふれあい広場事業負担金	予算額	225 千円	決算額	225 千円
・(財)伝統的工芸品産業振興協会	予算額	50 千円	決算額	50 千円

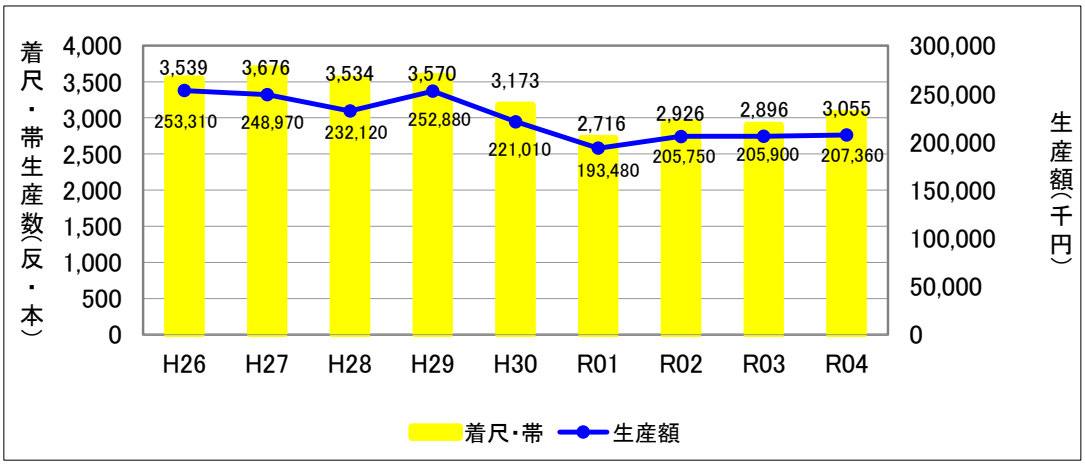
県外での展示会(実演)

第33代琉球かすりの女王(イベントでのPR活動)

琉球絣・南風原花織の生産高及び生産額の推移　　単位:反・本、千円

	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
着尺・帯	3,539	3,676	3,534	3,570	3,173	2,716	2,926	2,896	3,055
生産額	253,310	248,970	232,120	252,880	221,010	193,480	205,750	205,900	207,360
対前年比	―	-1.71%	-6.8%	8.9%	-12.6%	-12.5%	6.3%	0.1%	0.7%

＊着尺(きじゃく):長着(着物)一枚を作るのに必要な幅と長さを備えた生地のこと



事業の成果

かすりの生産においては人手不足等で、以前として生産環境は厳しい面がありますが、補助や貸付を行うことによって、琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することができました。後継者育成事業の修了者は引き続き各工房の織りの担い手となり、かすり生産高安定に寄与することができました。
琉球かすりの女王においては、4年ぶりにコンテストを開催し、第33代琉球かすりの女王が決定し、着物や新ユニフォームを着用し、様々なイベントにて琉球絣のPR活動を行いました。今後も琉球絣、南風原花織の産地として地域の発展と地場産業の育成をおこなって参ります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,924	19,879					19,879

５　みどりとまちが調和した
安全・安心のまち

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	消防力の整備強化			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	消防費	09
連絡先	889－4415				項	消防費	01
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	常備消防費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	東部消防管内（南風原町、与那原町、西原町）の住民及び財産	地域住民の安全で安心な暮らしを守るため災害時等の「消火」「救急」「救助」「防災」「予防」の業務を行います。

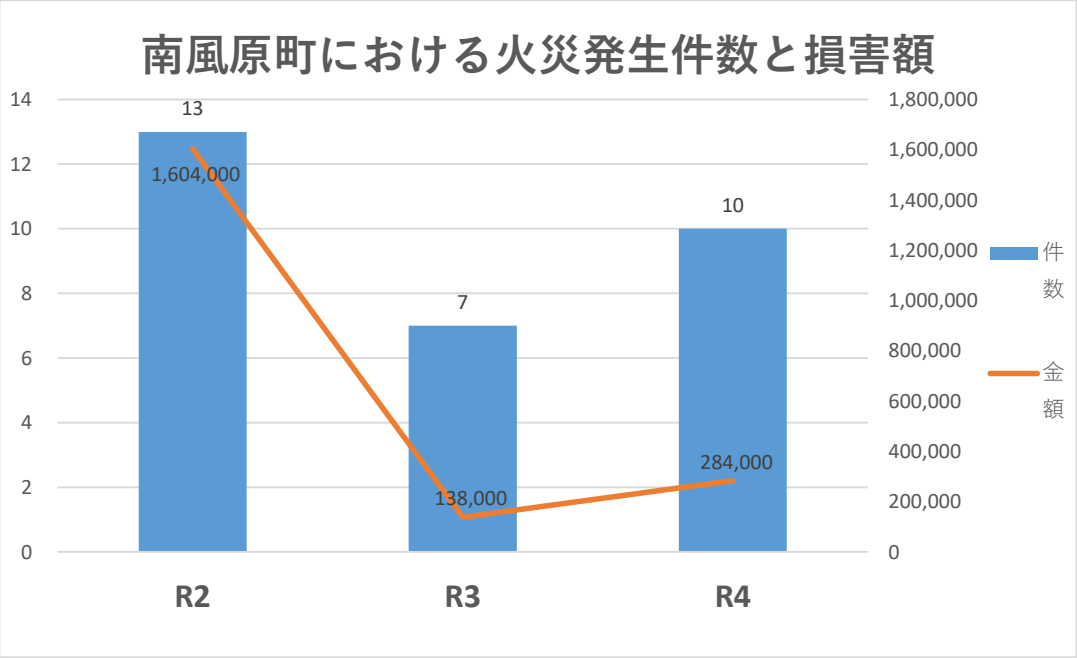
事業の実施内容

◆ 東部消防組合分担金　　502，419千円

東部消防組合は、南風原町、与那原町、西原町で負担金を出し合い、運営しています。

・各市町の令和4年度負担金額

南風原町	502，419千円
与那原町	286，498千円
西原町	532，610千円
合計	1，321，527千円



◆ 東部消防組合特別負担金（消火栓）　　9，750千円
・新規の消火栓や既設消火栓の維持管理のための負担金です。

◆ 東部消防組合感染防止対策負担金　　2，941千円
・新型コロナウイルス感染防止対策のための防護服や医療用マスク等の購入にかかる負担金です。

事業の成果

地域住民の生命及び財産を災害等から守ることで、被害の軽減と消防力の充実強化が図られ「安全で、安心して住めるまちづくり」を推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	515,654	515,110	2,941				512,169

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	防災体制強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	消防費	09
連絡先	889－4415				項	消防費	01
目　標	みどりまちが調和した安全・安心のまち				目	災害対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町全域にかかる全ての方への災害対策	災害が発生した場合において、町民の生命・財産を守るため、災害時の食糧等備蓄品の拡充や防災無線の運営等を行い、災害に強いまちづくりを目指します。

事業の実施内容

○需用費　1，389千円
- ・消耗品費　492千円
- ・光熱水費　388千円
  防災行政無線の電気料
- ・修繕料　509千円

▲備蓄食料（カレーリゾット味）

○役務費　1，099千円
- ・通信運搬費（防災行政無線の回線使用料）　175千円
- ・防災訓練保険料　10千円
- ・災害対策費用保険料　914千円

○委託料　1，320千円
- ・デジタルMCA無線保守委託料　66千円
- ・防災行政無線保守委託料　1，133千円
- ・MCA無線機再免許申請委託料　121千円

▲防災訓練（間仕切り設置の様子）

○使用料　111千円
- ・災害時に活用するデジタルMCA無線機の使用料

○備品購入費　165千円
- ・空気清浄機

○負担金　1，291千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク市町村負担金　258千円
- ・沖縄県防災情報システム市町村負担金　177千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク協議会負担金　196千円
- ・無線電波使用負担金　16千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク再整備負担金　644千円

事業の成果

非常食の災害用備蓄品整備や、防災訓練を行い本町の防災体制力の強化を図りました。日頃から備えをすることにより、いつ発生するかわからない災害に対応することが可能となり、町民の生命・財産を守ることができます。今後も、整備したものを防災訓練や防災啓発活動等で活用し、更なる防災体制の強化、防災意識の向上を図っていきたいと考えています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,019	5,375					5,375

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	不発弾処理促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	仲村　兼一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目標	みどりまちが調和した安全・安心のまち				目	不発弾処理促進費	10

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内で見つかった不発弾	自衛隊が回収出来ない不発弾を、信管を破壊し安全化処理を実施します。また、埋没している不発弾を発見するために磁気探査を実施します。

事業の実施内容

○委託料　　9，174千円

・防護壁構築業務委託料　6，039千円

防護壁の内部では、自衛隊により不発弾の安全化処理が行われています。
また、防護壁を構築することによって、避難半径が縮小されます。

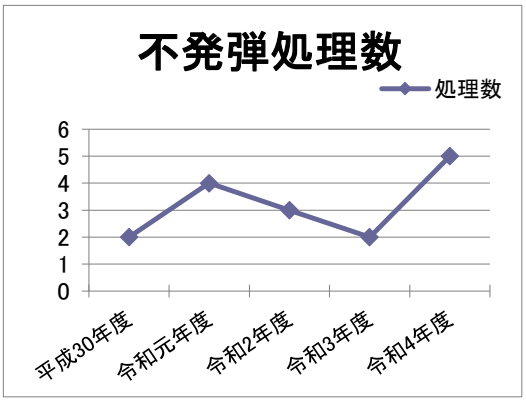
・東部消防組合消防本部庁舎建設磁気探査業務委託料　3，135千円

東部消防組合消防本部の新庁舎補助訓練塔建設工事を行うにあたり、磁気探査を実施しました。

▲宮城地内で発見された不発弾

▲ 強固な防護壁

▲ 処理壕内部



▲ 不発弾処理数の推移

事業の成果

戦後70年以上経った現在でも多くの不発弾が発見されています。その不発弾を安全に処理するために、素ぼりや防護壁を設置し、安全化を行いました。また、建物建設場所の磁気探査を実施することにより、安全が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,229	9,174		8,716			458

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	津嘉山公園整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	与那嶺　豊		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	住民の憩い及びレクレーションの場を確保し良好な都市環境機能を確保します。

事業の実施内容

・津嘉山公園整備事業（事業期間：平成20年度～令和7年度）補助事業
　総事業費：2,003,300　千円

令和4年度　（予算額：56,521　千円　決算額：56,515　千円）

	予算額	決算額
需用費	60　千円	60　千円
役務費	71　千円	70　千円
委託料	439　千円	439　千円
工事費	55,951　千円	55,946　千円

着手前

完成

事業の成果

公園のコンクリート舗装、芝広場及び健康遊具の整備を行いました。
令和4年度末進捗率85％。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	56,521	56,515		28,185	25,700		2,630

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	都市公園管理事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	公園利用者など	町内の都市公園、農村公園等を適正に維持管理を行うことにより、利用者が快適な公園として活用できるよう整備していきます。

事業の実施内容

令和4年度も「まちづくり振興課すぐやる班」を中心に公園の維持管理を行いました。

○需用費
予算額：5，426千円　決算額：4，788千円
・消耗品費　830千円
・燃料費　29千円
・光熱水費　2，602千円
・修繕料　1，327千円

○委託料
予算額：5，757千円　決算額：5，663千円

○役務費（公園ごみ処理手数料、人夫賃）
予算額：1，250千円　決算額：1，244千円

○賃借料（重機・運搬車・清掃車賃借料）
予算額：240千円　決算額：238千円

○原材料費
予算額：510千円　決算額：506千円

○公園遊具修繕状況

修繕状況（新川公園）

完了後

事業の成果

都市公園、農村公園等の維持管理を適正に行うことにより、利用者に安全な憩いの場を提供することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,183	12,439					12,439

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	下水道事業会計（負担金等）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	山城　実		款	土木費	08
連絡先	889－2508				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	下水道事業会計（公共下水道事業・農業集落排水事業）の経営の安定と農業振興を図ります。

事業の実施内容

令和4年度の下水道事業会計（負担金等）は農業集落排水事業分も含めています。

公共下水道事業は、下水道を利用している方の納める下水道使用料で運営することとなっています。しかし、整備の途中であり、利用人口が全人口の7割程度となっており、その方々の負担だけでは下水道事業の運営が成り立たない現状があるため一般会計から下水道事業会計へ負担金等として支出しています。

農業集落排水事業は、事業を促進し農業振興を図るため一般会計から下水道事業会計へ負担金等として支出しています。

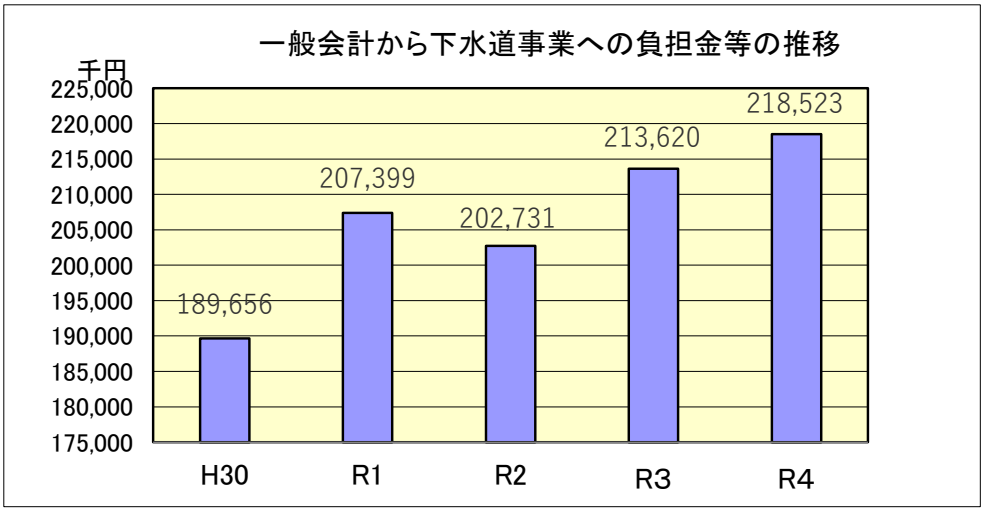
1．下水道事業会計負担金等（一般会計から）

予算額　218,523 千円　　決算額　218,523 千円

2．年度別下水道事業会計負担金等の推移

単位：千円

年　度	H30	R1	R2	R3	R4
金額(公共)	170,565	193,260	187,233	199,371	203,959
金額(農集)	19,091	14,139	15,498	14,249	14,564
金額合計	189,656	207,399	202,731	213,620	218,523



※一般会計からの負担金等(218,523千円)は、主に、職員の人件費、補助対象外の町負担分の事業費、補助事業等に要した公債費の償還金等に充当しました。

事業の成果

下水道事業（公共下水道事業・農業集落排水事業）の経営の安定と農業振興を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	218,523	218,523					218,523

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	河川整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	河川費	03
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	河川費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町の管理する4河川	河川が豪雨等で氾濫しないよう、河川の土砂の浚渫や雑草の除草等を行います。

事業の実施内容

・緊急浚渫推進事業(事業期間：令和4年度～令和6年度)

令和4年度　予算額 76，958千円　決算額 50，307千円

《収入》

・地方債（100％）48，900千円　・一般財源 1，407千円

《支出》

・役務費 1，020千円　・使用料及び賃借料 370千円

・工事請負費 48，917千円

河川の土砂除去の作業状況

着手前

竣　工

事業の成果

宮平川において、堆積した土砂等を撤去したことで、流下能力を高め、豪雨時に係る河川の水位を低減させることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	76,958	50,307			48,900		1,407

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	橋梁等長寿命化修繕計画策定事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	道路橋梁費	02
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	道路維持費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町の管理する橋梁　61橋	橋梁を良好な状態に保つため、計画的に診断・健全度判定を行い、維持更新にかかるコストの最小化・平準化を図ります。

事業の実施内容

・道路メンテナンス事業費補助（事業期間：令和4年度）

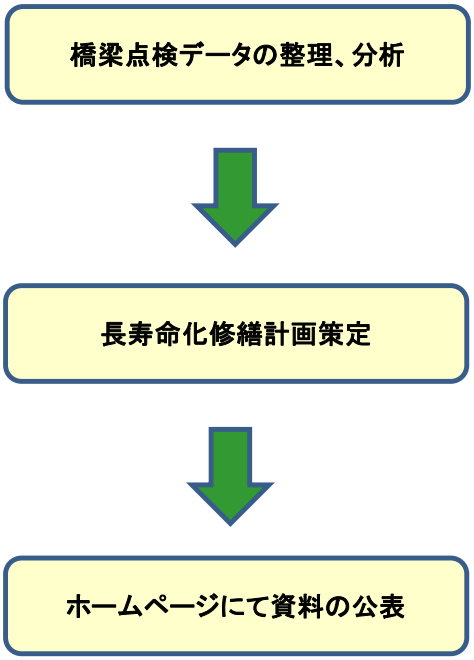
令和4年度　　予算額8，360千円　　決算額8，360千円

《収入》

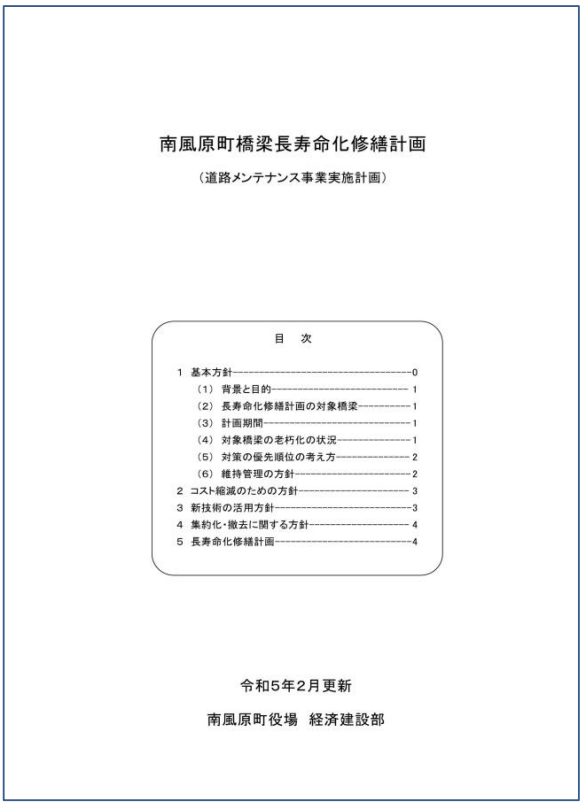
・国の補助（80％）6，681千円　　・一般財源1，679千円

《支出》

・委託費8，360千円



長寿命化修繕計画フロー図



南風原町橋梁長寿命化修繕計画

（道路メンテナンス事業実施計画）

目　次

1　基本方針――――――――――――――――――――――――――0
（1）　背景と目的――――――――――――――――――――――1
（2）　長寿命化修繕計画の対象橋梁――――――――――――1
（3）　計画期間――――――――――――――――――――――1
（4）　対象橋梁の老朽化の状況――――――――――――――1
（5）　対策の優先順位の考え方――――――――――――――2
（6）　維持管理の方針――――――――――――――――――2
2　コスト縮減のための方針――――――――――――――――3
3　新技術の活用方針――――――――――――――――――――3
4　集約化・撤去に関する方針――――――――――――――――4
5　長寿命化修繕計画――――――――――――――――――――4

令和5年2月更新

南風原町役場　経済建設部

公表用資料

事業の成果

橋の長寿命化と橋の修繕・架替えに係る費用の縮減、年度間費用を平準化にする計画を策定することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,360	8,360		6,681			1,679

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公園施設長寿命化計画策定事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	与那嶺　豊		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	長寿命化対策を含めた計画的な改築等に係る取組みを推進する為の公園施設長寿命化計画の作成を行います。

事業の実施内容

・公園施設長寿命化計画策定事業（事業期間：令和4年度～令和5年度）補助事業
　総事業費：　29,832　千円

令和4年度　（予算額：　14,420　千円　決算額：　14,410　千円）

委託料　14,420　千円　14,410　千円

点検状況（陸上競技場）

点検状況（遊具）

事業の成果

黄金森公園の健全度調査を行いました。
令和4年度末進捗率48％。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,420	14,410		7,205			7,205

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	津嘉山地区・照屋地区発掘調査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	野原　学		款	教育費	10
連絡先	889－7399				項	社会教育費	05
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	文化財保護費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	津嘉山・照屋地区における埋蔵文化財	埋蔵文化財の試掘調査などを行い、今後の開発調整に必要な遺跡の残存状況の確認を行います。調査で作成した資料を基に遺跡の保存方法に関する調整を行います。

事業の実施内容

令和4年度は、津嘉山地区・照屋地区で実施してきた埋蔵文化財の残存状況を確認する試掘調査の成果のとりまとめを行い、報告書の作成をおこないました。

調査成果のとりまとめ作業では、出土遺物の分類や接合作業、図化作業なども実施しています。

また、報告書には字新川で実施してきた新川森古墓群の確認調査の成果も掲載しています。

報告書掲載遺跡

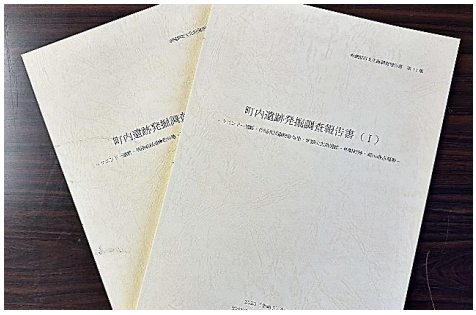
照屋前原遺物散布地、クニンドー遺跡、津嘉山古島遺跡、仲間村跡、新川森古墓群

文化財調査委託費：　予算額：13,044千円　決算額：12,870千円

出土遺物の洗浄作業

出土遺物の接合作業

遺物の図化作業



作成した報告書

事業の成果

作成した報告書は、県内の図書館や各市町村の文化財担当部署などに配布し、一般県民や研究者などが閲覧できるようにしています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,044	12,870	10,296				2,574

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	道路維持事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	道路橋梁費	02
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまちづくり				目	道路維持費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	町道や排水路の破損した個所の維持補修、土砂の除去、除草及び街路樹の剪定を行い、町民の交通安全の確保及び生活環境の向上を促進します。

事業の実施内容

令和4年度は下記の整備（道路維持整備）を行いました。
また、平成19年度より「すぐやる班」を設置し、道路・公園の維持補修に努めています。

○需用費
予算額　634千円
決算額　604千円

○役務費（草木等処理費、人夫賃）
予算額　3，555千円　（人夫賃：3，200千円）
決算額　3，538千円

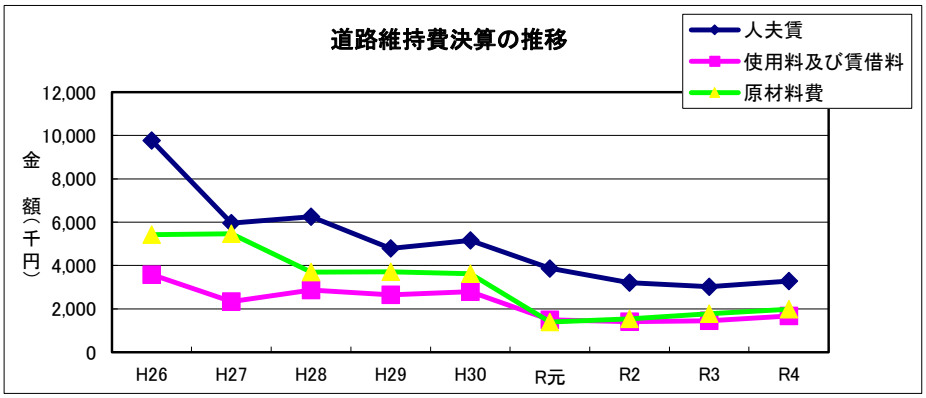
○使用料及び賃借料
予算額　1，700千円
決算額　1，678千円

○道路整備工事費
予算額　6，941千円
決算額　6，911千円

○原材料費
予算額　1，980千円
決算額　1，980千円

○備品購入費
予算額　281千円
決算額　281千円

（主な対応事業内容）
○道路面の清掃及び舗装の修繕
○道路側溝、排水路の清掃及び修繕
○街路樹の伐採、剪定
○台風や大雨後の道路及び排水路等の清掃
○簡易な道路維持補修工事



・道路の舗装修繕作業状況

事業の成果

町道の路面破損及び排水路の維持補修、草木等の伐採を行い、町民が安全に快適な通行できる道路が確保出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,091	14,992					14,992

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	都市計画振興事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	①南風原北インターチェンジ周辺地区 ②準用河川の宮平川、手登根川	①各エリアの優先度を評価し、実現化方策を策定します。 ②浸水被害軽減対策案の基本設計を策定します。

事業の実施内容

委託料　　予算額46，216千円　決算額　32，076千円

都市計画振興事業

【①南風原北インターチェンジ周辺地区実現化方策検討業務】　　決算額 4，576千円

南風原北インターチェンジ周辺地区の実現化方策を検討

・優先して事業化を図る区域の評価検討

・地権者意見交換会、アンケート調査、企業ヒアリング調査等

・概算事業フレーム及び実現化方策の検討

【Aエリア】　優先度：高

・上位計画や政策的判断等において、市街化区域編入が必須。

・地権者意向調査においても肯定的な以降が多く、本計画の早期実現に向け意向調査・地権者組織に向けた検討が必要である。

【Bエリア】　優先度：高

・地権者意向調査においても肯定的な以降が多く、本計画の早期実現に向け意向調査・地権者組織に向けた検討が必要である。

・市街化区域編入、地区計画の策定等手続きについて整理する。

【Dエリア】　優先度：中

・交通結節点機能を具体化するため、可能性を含め検討が必要。

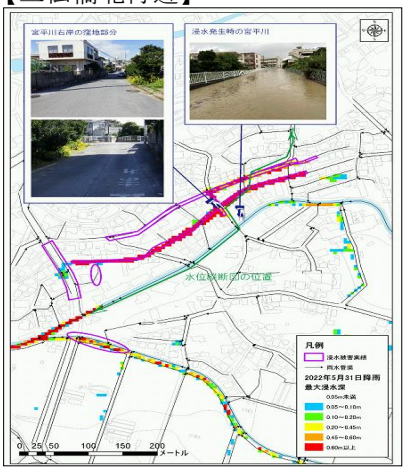
・沖縄県中南部圏交通マスタープランにおいて検討される新たな公共交通システムと連動させるため上位計画へ反映させる必要がある。

【②南風原町浸水被害軽減対策基本設計業務委託】　　決算額27，500千円

・基礎調査、雨水管渠計画、基本諸元の設定、排水区のモデル化

・キャリブレーション、シミュレーション、対策施設案の検討

【二松橋北付近】



【浸水要因分析】

・浸水分析要因は、すり鉢状の窪地地形となっている事。

・宮平川からの背水位によって、管内水位も上がり低地部分で溢水したことが浸水要因推察される。

・一部、雨水管渠の能力不足が浸水を増大させる一因。

【対策案の検討】

○二松橋北付近の対策案

表 7.4.4　二松橋北の浸水対策案

番号	項目	理由
1	・流下能力箇所の断面改修	・雨水を速やかに流下させる。
2	・フラップゲートの新設	・宮平川からの背水位の影響を解消する
3	・貯留管の設置（5,000m³）	・フラップゲートによって、排水先のなくなった雨水を宮平川水位が下がるまで貯留する。

○第二宇底堂橋付近の対策案

表 7.4.6　第二宇底堂橋東の浸水対策案

番号	項目	理由
1	・パラペットの設置	・河川から溢水した雨水を地表面に流れないようにする。

事業の成果

①南風原北インターチェンジ周辺地区にて各エリア毎に評価し、優先して事業化を図る区域を設定し、実現化方策を検討する事が出来ました。

②準用河川の宮平川、手登根川流域の調査を行いました。調査結果を踏まえ、降雨時のシミュレーションを行い浸水想定区域を分析し、対策案の基本設計を策定する事が出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	46,216	32,076		25,660			6,416

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町道10号線道路改良事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	与那嶺　豊		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	道路橋梁費	02
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	道路新設改良費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	歩行者の安全と通勤通学、各施設等への交通の利便性を確保し、地域の生活環境の改善を図ります。

事業の実施内容

・ 町道10号線道路改良事業（事業期間：平成24年度～令和9年度）補助事業
　総事業費：　2,155,000　千円

◆ 令和3年度　繰越　（予算額：　12,646　千円　決算額：　12,626　千円）

委　託　料	476　千円	476　千円
工事請負費	12,170　千円	12,150　千円

◆ 令和4年度　（予算額：　67,800　千円　決算額：　67,137　千円）

需　用　費	40　千円	40　千円
役　務　費	263　千円	204　千円
委　託　料	1,067　千円	473　千円
使用料及び賃借料	30　千円	29　千円
工事請負費	1,301　千円	1,292　千円
公有財産購入費	5,552　千円	5,552　千円
補償、補填及び賠償金	59,547　千円	59,547　千円

着手前

完了後

事業の成果

用地取得、物件補償及び造成工事を行いました。
整備率54％

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	80,446	67,137		62,893	14,200		△ 9,956

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	津嘉山中央線街路事業（2工区）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	与那嶺　豊		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	街路整備事業費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	当路線には歩道がなく、通勤通学の歩行者や車輌の通行が大変危険な状態です。道路整備を行い、通学時の歩行者の安全と車輌の安全確保を図ります。

事業の実施内容

・ 津嘉山中央線街路整備事業（2工区）　（事業期間：平成28年度～令和6年度）補助事業
総事業費 ：　1,100,000　千円　（幅員12m　道路延長250m）

◆ 令和4年度　（予算額：　83,514　千円　決算額：　82,669 千円 ）

需　用　費	40　千円	40 千円
役　務　費	199　千円	115 千円
委　託　料	10,375　千円	9,614 千円
使用料及び賃借	254　千円	253 千円
公有財産購入費	4,059　千円	4,059 千円
補償、補填及び賠償金	68,587　千円	68,588 千円

着手前

完了後

事業の成果

用地取得及び物件補償を行いました。
整備率15％

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	83,515	82,669		65,628	15,000		2,041

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

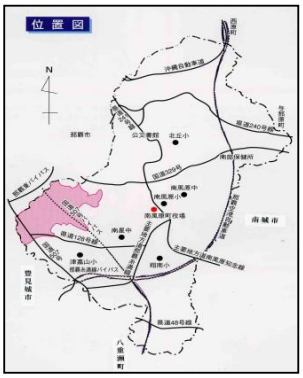
事業名	津嘉山北土地区画整理事業（土地区画整理事業特別会計）			予算科目	会計	土地区画整理事業特別会計	05
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	山城　実		款	土地区画整理事業費	02
連絡先	889－2508				項	津嘉山北土地区画整理事業費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	事業費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	那覇市に隣接する津嘉山北地区（面積71.4ha）の住民及び地権者並びに建物等所有者等	道路や公園をはじめとする公共施設の整備改善と宅地とを一体的な造成を行うことにより、住宅地需要に対応した住宅市街地の形成を図ります。

事業の実施内容

◎　土地区画整理事業特別会計

Ｒ４年度	589,312千円	Ｒ４年度	541,243千円
Ｒ３繰越額	137,863千円	Ｒ３繰越額	137,863千円
予算額　計	727,175千円	決算額　計	679,106千円



○主な事業内容

工　事　請　負　費	185,774千円	(14件)
調　査　設　計　費	42,900千円	(9件)
建物等移転補償費	186,781千円	(26件)
計	415,455千円	

財源別内訳　　（金額の単位：千円）

R4年度	予算額	執行額	繰越額	執行率(%)
国庫補助事業（通常費）	25,000	25,000	0	100.0
国庫補助事業（地活金）	150,000	150,000	0	100.0
国庫補助事業（関連社会資本）	0	0	0	0.0
公共施設管理者負担金	0	0	0	0.0
基金整備事業	145,000	99,542	45,458	68.6
磁気探査支援事業	2,123	2,123	0	100.0
その他（単独事業等）	267,189	264,578	0	99.0
小　計	589,312	541,243	45,458	91.8
R3繰越額	**予算額**	**執行額**	**繰越額**	**執行率(%)**
国庫補助事業（通常費）	0	0	0	0.0
国庫補助事業（地活金）	0	0	0	0.0
国庫補助事業（関連社会資本）	0	0	0	0.0
公共施設管理者負担金	0	0	0	0.0
基金整備事業	137,863	137,863	0	100.0
その他（単独事業等）	0	0	0	0.0
小　計	137,863	137,863	0	100.0
合　計	727,175	679,106	45,458	93.4

○津嘉山北地区土地区画整理事業の概要

- 施行地区の面積　　71．4ha
- 施行期間　　平成5年度～令和10年度
- 総事業費　　30,500,000千円
- 仮換地指定　　平成11年5月20日（100%）

令和4年度末までの整備状況

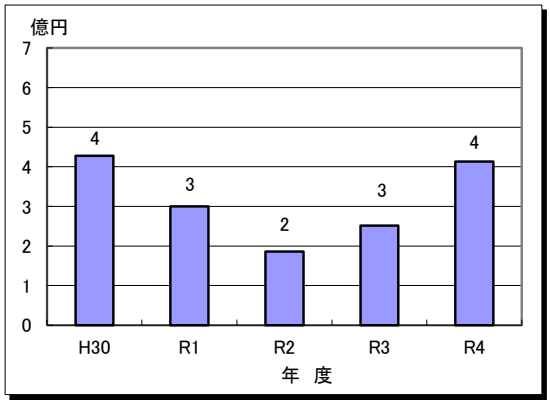
項　目		全体計画	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R4年度末迄の実績	整備率(%)
事業費（千円）※		30,500,000	185,824	251,881	413,327	24,644,450	80.8
整備面積（ha）		71.4	0.7	1.7	0.7	45.2	63.3
補償物件	建物（戸）	343	0	1	5	335	97.7
	墳墓（基）	4	0	0	0	4	100.0
道路築造	都市計画道路(m)	5,427	45	90	326	3,140	57.8
	区画道路(m)	11,828	362	541	511	8,008	67.7
	特殊道路(m)	530	0	0	0	0	0.0
	小　計	17,785	407	631	837	11,147	62.7

※事業費は、磁気探査等を除く事業計画の費用とする。

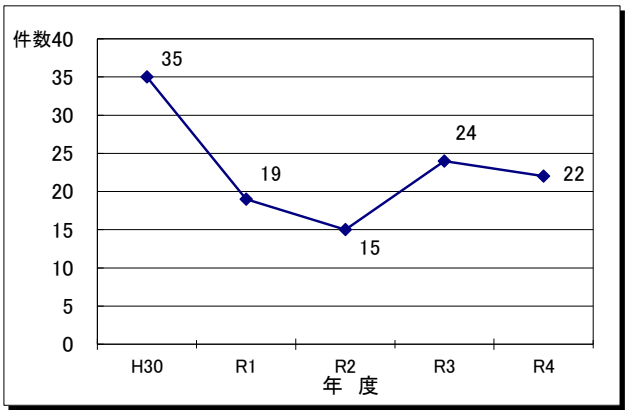
次ページへ続く

事業の実施内容

事業費の推移
（※単独事業費分を含み磁気探査事業を除く）



土地区画整理法76条許可申請（年度別推移）
（※区域内で建築申請する場合に必要な許可申請）



★津嘉山北土地区画整理事業（工事施行後の写真）

●区6-34-2道路整備状況（津嘉山486番地付近）

●区9-3道路歩道整備状況（津嘉山1377-3番地付近）

●69街区整備状況（津嘉山493番地付近）

●97街区整備状況（津嘉山553-4番地付近）

事業の成果

土地区画整理事業の基本的な整備計画として、幹線都市計画道路（国道507号津嘉山バイパス）を最優先とすると共に、その他の都市計画道路（現道国道507号、津嘉山西線、本部公園線等）に係る建物移転補償や造成工事等を重点的に実施してきました。その結果、令和4年度末現在の全体面積における整備率約63%、建物補償整備率約97%となり、事業費の執行率は、81%となりました。それにより、地区内では関係地権者による造成後の土地利用等も年々増えており、今後とも早期に宅地造成や道路築造が完了できるよう事業執行に努めてまいります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	727,175	679,106	0	159,649	18,400	148,294	352,763

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	土地区画整理事業特別会計繰出金			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	山城　実		款	土木費	08
連絡先	889－2508				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	津嘉山北土地区画整理事業執行のため「土地区画整理事業特別会計」の安定を図ります。

事業の実施内容

○土地区画整理事業特別会計は、国・県の補助金をはじめ保留地処分金等で事業が行われます。しかし、整備の途中であり、保留地の処分がまだ少ないこと、補助事業等で道路・宅地造成を行ってますが、補助が十分でないことから事業遂行のため一般会計から土地区画整理事業特別会計へ繰出金として支出しています。

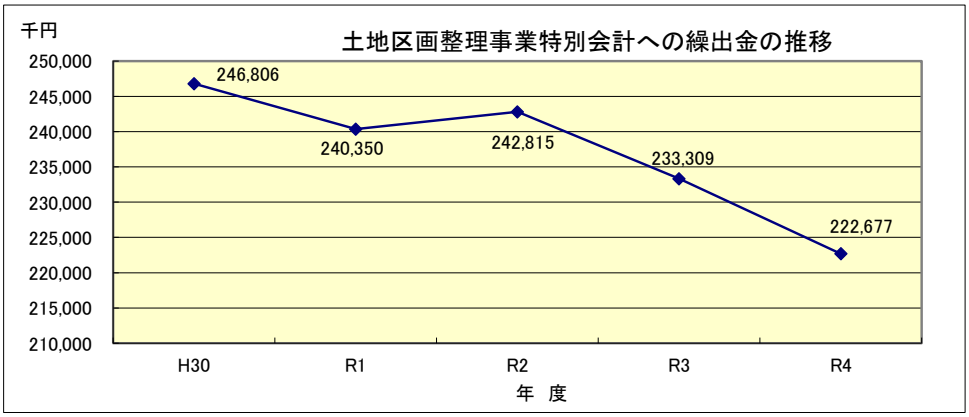
○土地区画整理事業特別会計繰出金(一般会計から)

予算額　222,677 千円　　決算額　222,677 千円

○年度別土地区画整理事業特別会計繰出金の推移

単位：千円

年度	H30	R1	R2	R3	R4
金額	246,806	240,350	242,815	233,309	222,677



※令和4年度の一般会計からの繰出金222,677千円は、主に下記に充当しました。

・補助事業における補助金以外の町負担金
・補助事業等に要した公債費の償還金
・土地区画整理事業を担当する職員の人件費

事業の成果

土地区画整理事業特別会計へ繰出金を行い、津嘉山北土地区画整理事業を促進し、同事業における予算の安定を図ることができます。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	222,677	222,677					222,677

６　環境と共生する
美しく住みよいまち

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	環境保全対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　区画下水道課	課長名	山城　実		款	衛生費	04
連絡先	889－2508				項	保健衛生費	01
目標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	環境衛生費	04

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	住民	くみ取り便所及び既設の単独浄化槽から合併浄化槽に転換する方に対し、浄化槽の設置に係る費用の一部を助成し、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止します。

事業の実施内容

○環境保全対策事業費

予算額:　890 千円　342 千円

決算内訳

1. 南風原町浄化槽設置補助金　332 千円

2. 沖縄県合併浄化槽普及促進市町村協議会負担金　10 千円

事業の成果

浄化槽設置補助に関する申請は1件でした。また、沖縄県合併浄化槽普及促進協議会に関しては、書面にて総会を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	890	342	166				176

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	環境保全対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	保健衛生費	01
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	環境衛生費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内全域（野犬等、そ族昆虫等、不法投棄）	野犬対策やそ族昆虫等の駆除、不法投棄の防止やその他苦情処理を行い、住み良い環境を維持します。

事業の実施内容

★　環境保全の啓発・対策　　210千円

定期的に町内を巡回し、地域の環境状況の把握や環境関係の苦情処理、ごみの収集状況や不法投棄などに対処しました。また、不法投棄防止看板の設置等により違法行為の未然防止に努めました。

↑不法投棄された家電等

↑不法投棄された生活ごみ

★　そ族昆虫等の駆除

・ハチ対策

町内で相談の多いハチの種類はミツバチ・アシナガバチがほとんどで、発生場所は自宅や歩道等がほとんどです。問い合わせがあった場合は、担当職員で現場を確認しアドバイスを行っています。

過去5年の苦情件数　　（件）

年　　度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
苦情件数	6	4	4	4	8

★狂犬病予防注射、犬登録関係経費　　198千円

狂犬病予防法に基づき、生後91日以上の犬の飼い主には、その犬の所在する市町村への犬登録と年1回の狂犬病予防注射を受けさせることが義務づけられています。狂犬病は人と動物の共通感染症であり、発病するとほぼ100％死に至る恐ろしい病気です。そこで町では例年5月下旬～6月上旬頃、町内15カ所で狂犬病予防集合注射を実施し、接種率の向上に努めていますが昨年は新型コロナウイルス感染予防のため防集合注射実施できず個別で動物病院にて予防接種を受けるようご案内しました。今後も状況に応じて集合注射の実施若しくは個別接種の案内を行って参ります。

（件）

年　度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
犬登録数	1,262	1,208	1,291	1,248	1,217
狂犬病予防注射数	721	759	502	767	789

次ページへつづく →

事業の実施内容

←狂犬病予防注射の様子

《野犬の捕獲》

野犬は、敷地内への侵入や人畜等への咬傷事故の危険を伴うことから、町で捕獲を行っています。飼い犬が捨てられ野生化したと思われる犬や、敷地から逃げた徘徊犬が野犬と間違われて捕獲される例が見られ、飼い主の自覚と責任が求められています。

《野良猫対策》

猫は、犬のように飼い主への登録義務がありません。しかし、敷地内へのふん尿や夜泣き等の苦情があった場合は、飼主や、野良猫へ餌付けをしている方へ指導や自治会を中心に取り組むTNR事業の支援等を行っております。

← 保護された犬、猫

★ その他環境保全に係る経費　　10千円

環境保全の取り組みを推進するため、協議会や民間団体等へ負担金や補助金を交付しています。主な経費として沖縄県アジェンダ21県民会議等への負担金があります。

事業の成果

環境保全の啓発・対策では、不法投棄防止看板設置等により不法投棄の未然防止を図ることができました。また環境衛生では、犬の登録及び狂犬病予防注射を啓発・実施することで、人間を含め多くの動物への狂犬病感染の防止を図りました。さらに、登録されている飼い犬の生存・所在地確認等を行うことで犬の登録数を整理し、狂犬病予防接種率向上に努めました。また、野犬捕獲や野良猫対策として自治会を中心に取り組むTNR事業の支援等により、町民が住みよい快適な生活環境づくりを推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	430	418				418	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公害対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	保健衛生費	01
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	環境衛生費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内全域 （騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁等）	騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚濁等の公害発生の防止や他苦情処理を行い、住み良い環境を維持します。

事業の実施内容

★公害パトロール謝礼金、公害防止対策連絡協議会謝礼金　26千円

旧最終処分場跡地等に関する「那覇市・南風原町公害防止対策連絡協議会」を設置し、年に2回（令和4年度は7月、1月）協議会を開催しました。さらに、公害防止等パトロールを周辺自治会長と隔月で実施することにより、公害発生の有無を確認しています。公害対策のために他にも「公害対策審議会」、「河川環境対策協議会」を設置しています。

←パトロールの様子

★国場川水系河川水質調査委託料　500千円

国場川水系の水質の実態を把握するため、国場川水系流域の市・町が合同で夏季（8月）・冬季（2月）に調査を行い、これらの調査結果をもとに国場川水系の環境保全対策の基礎資料を得ることができました。また、合わせて町内の河川の水質の現況と年度ごとの変動を把握することができました。

・実施日
　夏季（8月10日）、冬季（2月8日）

・令和4年度の調査地点（6ヵ所）
　安里又川上流　　池原橋
　前田橋　　武川良橋下流
　大子橋　　新垣橋

↑　水質調査の様子　↑

★自動車交通騒音測定委託料　627千円

居住環境の保全に役立てるため、町内の要所3地点を選んで、時間毎の道路の自動車交通騒音を測定し、実態の把握に努めました。

・実施日
　令和5年3月8日～9日

・実施時間
　昼間（6時～22時）、夜間（22時～6時）

・令和4年度測定地点（3ヵ所）
　国道329号（字兼城603番地）
　国道329号（字宮平666番地1）
　国道507号線（字津嘉山1321番地1）

↑測定の様子（字兼城）　↑測定の様子（字宮平）

事業の成果

定期的な公害防止等パトロールを実施することで、公害の有無確認と発生の抑止に努めました。重点的に確認している周辺河川の目立った水質汚濁は可視範囲内で見られず、水質調査においても夏季・冬季とも水質環境基準を概ね満たしていました。
国場川水系河川水質調査、自動車交通騒音測定を行うことで、国場川水系の水質実態把握及び自動車騒音の限度を定める省令の基礎資料を得ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,195	1,153					1,153

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	指定ごみ袋還元基金事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	清掃費	02
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民や町内事業所等	町の指定ごみ袋の売上収入を基金として積立て、ごみの資源化や減量化を推進することや、環境保全活動の助成を行うことで、快適な生活環境づくりをめざしていきます。

事業の実施内容

★　生ごみ処理機等購入補助金　　147千円

ごみの資源化・減量化の一環として、生ごみ等の自己処理を推奨し、堆肥化を促進するため生ごみ処理機等購入補助金を交付しています。令和4年度は処理容器5世帯、処理機7世帯に補助金を交付しました。

★　エコセンター運営費　　3，409千円

リサイクル情報の収集・提供、環境講座や環境学習ツアー、学校制服や体育着の再利用など、リサイクルの普及・啓発活動の拠点として、はえばるエコセンターを運営（委託）しました。

宮平川の生態系観察

クバの葉でカゴ作成

★　資源ごみ集団回収等事業報償金　183千円

資源の有効利用とリサイクルの推進を図るため、資源ごみ集団回収団体に報奨金を交付しています。令和4年度は18団体に報償金を交付しました。

事業の成果

生ごみ等処理機の購入補助を通してごみの堆肥化・減量化を促進し、ごみ減量に関心をもってもらうことができました。エコセンターでは、リサイクル情報の収集・提供、講座等を行っています。その活動を通して、循環型社会、豊かな自然環境の保全へ向けての普及・啓発活動の拠点となっています。環境教育・環境学習により、環境保全に対する子ども達の関心を高めることができました。また、資源ごみ集団回収団体へ報奨金を交付することにより、資源の有効利用とリサイクルの推進を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,239	3,739				3,739	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ごみ処理対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	清掃費	02
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民及び町内にある事業所などから排出される一般廃棄物	廃棄物の分別を推進し排出を抑制するとともに、再資源化を図り、適正処理することで町民の快適でうるおいのある生活を確保します。

事業の実施内容

歳出部門

1　家庭系ごみの処理にかかる経費

★　家庭系ごみ収集・運搬委託料（4者へ委託）　38,400千円
★　那覇市・南風原町環境施設組合負担金　127,282千円
★　町指定ごみ袋作成費（印刷製本費）　18,916千円
★　ごみの指定袋販売委託料　6,031千円

ごみ収集の様子

ごみ収集の様子

2　資源・粗大ごみの処理

★　資源ごみ収集・運搬委託料（ワークプラザ南風へ委託）　19,319千円
★　資源ごみ分別委託料（ワークプラザ南風へ委託）　14,250千円
★　粗大ごみ収集・運搬委託料（ワークプラザ南風へ委託）　1,330千円
★　ソファ・マットレス処理委託料（ワークプラザ南風他へ委託）　737千円
★　粗大ごみ処理券販売委託料　268千円
★　草木処理委託料（草木を堆肥化しています。一括交付金　7,522千円
★　施設使用料（那覇市へ草木処理ヤード使用料）　89千円
★　計量手数料（草木計量時）　170千円
★　容器包装びん再商品化委託料（PETﾎﾞﾄﾙ・色ﾋﾞﾝ等の処理）　182千円
★　産業廃棄物処理委託料　73千円
★　その他経費　2,005千円

3　その他のごみ処理費

★　町内一斉清掃ごみ処理手数料（草木堆肥化等）　2,336千円
★　一斉清掃ごみ運搬車使用料　435千円
★　動物死骸処理手数料　41千円

歳入部門

1　手数料収入

★　一般廃棄物許可手数料　30千円

2　諸収入

★　資源ごみ売上収入　（カン・ビン・古着・廃食油）　4,410千円
★　粗大ごみ処理券収入（粗大ごみシール券300円・600円の売上）　3,781千円
★　ごみ袋指定化収入（可燃・不燃ごみ袋の売上）　47,986千円

事業の成果

廃棄物処理法第4条では、「市町村はその区域内における一般廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進を図り、及び一般廃棄物の適正な処理に必要な処理に必要な措置を講ずるよう努める・・・」とあり、一般廃棄物の処理は町民の日常生活にもっとも密着した行政サービスの一つであります。町民へ廃棄物減量を推進するとともに一般廃棄物の適正処理も実施することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	247,490	239,386		17,759		36,901	184,726

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

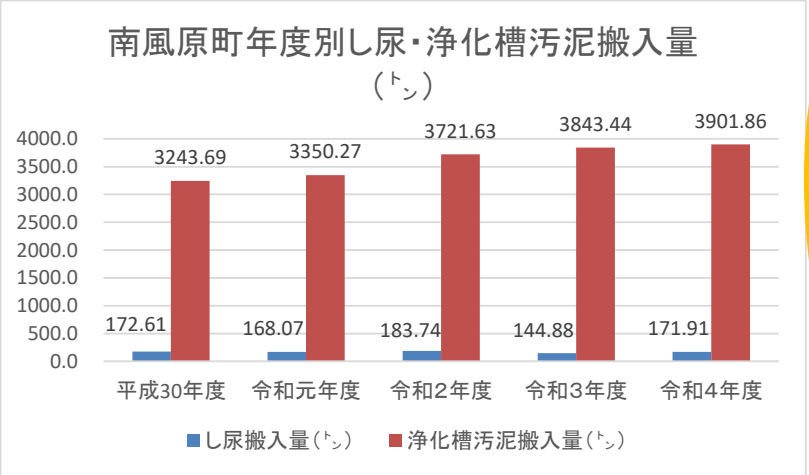
単位：千円

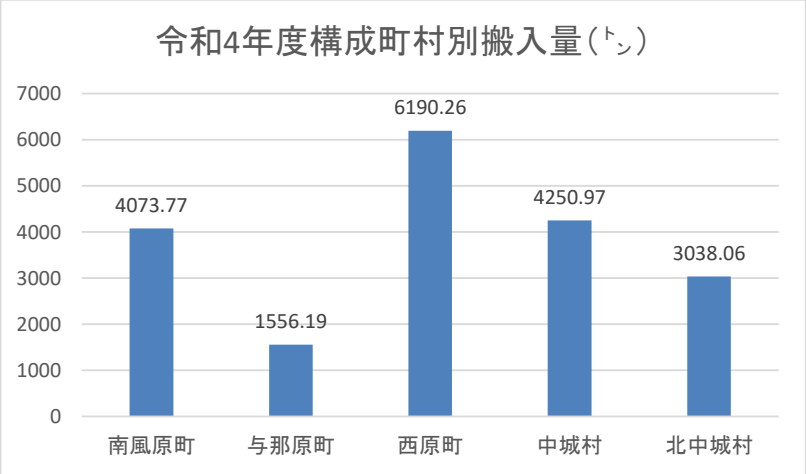
事業名	し尿処理対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	清掃費	02
目　標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	下水道の整備されていない地域等のし尿・浄化槽汚泥	し尿・浄化槽汚泥を適正に処理し、環境汚染を防止し清潔な住環境を確保します。

事業の実施内容

★　南部広域行政組合負担金（汚泥再生処理センター）　30,743千円
負担金は施設の運営費や、起債の償還に充当しています。
※南風原町内の浄化槽世帯、くみ取り世帯又は建築現場の仮設トイレや事業所の浄化槽汚泥は、町内許可業者が収集運搬を行っており、処理は西原町にある汚泥再生処理センターで処理されます。浄化槽は定期的なくみ取りと、設置者の適正な維持管理が大事です。ブロワーを止めたり、長期間くみ取りを行わないと悪臭の原因になりますので皆様のご協力をよろしくお願いします。





※R5組合概要より

～汚泥再生処理センターとは～

汚泥再生処理センターは、し尿の衛生処理のみを目的とした従来のし尿処理施設に比べて①汚泥や生ごみ等の有機性廃棄物を処理対象に含むこと②資源への再生機能を併せ持つことを特徴とした施設です。
ここで処理された脱水分離液は水で希釈し下水道へ放流しています。又、排出された脱水汚泥は、東部清掃施設組合の焼却施設（与那原町）の助燃剤として再利用されています。

汚泥再生処理センター
平成27年1月1日より供用開始しています。
所在地：西原町字小那覇964番地

事業の成果

し尿及び浄化槽の汚泥を適正に処理し、環境と公共水域の環境保全を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,743	30,743					30,743

7　行財政計画

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	議会運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	議会事務局	局長名	新垣　圭一		款	議会費	01
連絡先	889－3097				項	議会費	01
目標	行財政計画				目	議会費	01

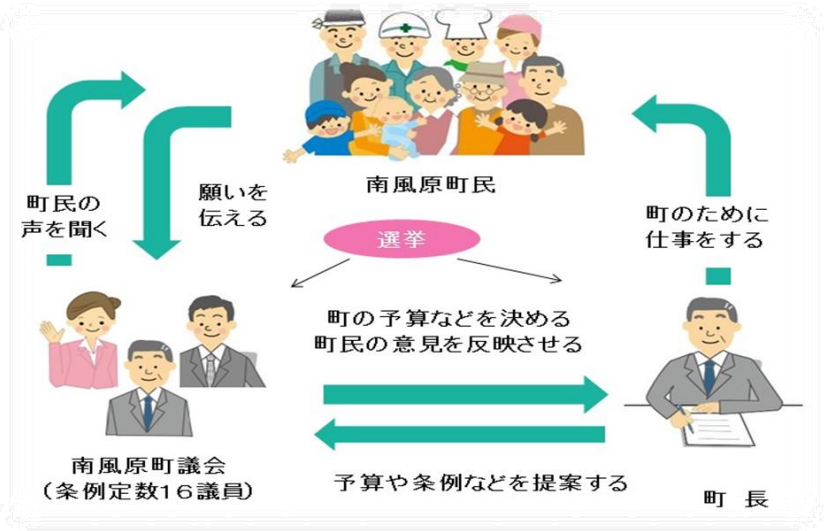
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町政の課題や対応する政策の形成・決定、町民福祉の向上・利益について審議します。また、国・県・関係省庁などに意見書を提出し、国政や社会問題について、議会の意思を明らかにするために審議・決議を行います。	議会の権限の中で重要なものは、①条例の制定・改廃　②予算の決定　③決算の認定　④一定金額以上の契約の締結等の審議です。その他町民の福祉向上・利益につながることを審議し、議会が住民の理解・信頼を得るよう活動を行っています。

事業の実施内容

	予算項目	令和4年度予算	予算執行額	不用額
1	会計年度任用職員・議員報酬	48,057千円	48,043千円	14千円
2	議員期末手当	12,810千円	12,799千円	11千円
3	議員共済費	14,460千円	14,459千円	1千円
4	旅費	2,564千円	2,242千円	322千円
5	議長交際費	66千円	40千円	26千円
6	負担金、補助金	4,085千円	3,675千円	410千円
7	行政経費	296千円	261千円	35千円
合計		82,338千円	81,519千円	819千円

令和4年度の議会運営事業は、前年度（令和3年度決算額82,191千円）と比較して、672千円の減となっており、議員期末手当の減が主な理由です。

その他、議員の調査研究等により、町政の課題及び町民の意思を把握、収集し、町政に反映させ住民福祉の増進を図る活動の為の経費に対して交付する政務活動費（議員1人当たり年額6万円）については、9年目となり、使途の内訳では、主に調査研究費、広報・広聴費、資料購入費に充当されています。



事業の成果

令和4年度は、定例会が4回、臨時会が4回招集され、議案等115件を可決、陳情7件を採択しました。

また第11回議会報告会は、新型コロナウイルスの影響で通常開催が難しいと判断し、町ホームページにて令和4年6月6日～令和4年7月22日に書面開催を行い147件の閲覧がありました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	82,338	81,519					81,519

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	企画事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目標	行財政計画				目	企画費	08

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、行政職員および関係団体・機関等	効果的な行政運営のための計画推進及び必要に応じて広域行政等による事業実施を進めます。

事業の実施内容

○南部広域市町村圏事務組合負担金
広域化する行政需要や地域共通の課題に対して、県内市町村及び近隣市町との連携による行政サービスの拡充を目指し、各広域行政による取り組みを推進しました。

総務費　　1，732千円
衛生費　　20，216千円（南部広域圏南斎場建設事業負担金）

令和4年度の主な事業
（1）ふるさと市町村圏基金事業
・広域研修事業（Webセミナーの開催）
・公共交通活性化推進事業（南部圏域公共交通連絡会議による調査研究）
・青少年健全育成事業

（2）「南斎場」の管理運営

○その他負担金など
・南部広域行政組合負担金　　1，785千円
・地方創生臨時交付金返還金　　1，450千円
・役務費　　3千円

○令和3年度からの繰越事業
第五次南風原町総合計画後期基本計画の策定に向け、まちづくり住民会議や南風原町総合計画等審議会の答申を経て、令和4年10月に議会で可決されました。（令和5年3月事業完了）
総合計画は町政の方向性を示す最高位の計画であり、計画指針に基づき事業を実施します。
・委託料　　6，567千円
・委員報酬　　172千円
・費用弁償　　35千円

▲町長に計画（案）を答申する総合計画等審議会会長等

◀計画期間
平成29～令和3年
（後期計画）
令和4～8年度

事業の成果

広域行政については、火葬場など複数の市町村で実施した方が財政負担が軽減される事業や単独の市町村では解決が困難な事業について、共同で事業を実施しました。また、関係市町村の出資金と沖縄県からの補助金により設置した「ふるさと市町村圏基金」の運用益を活用して、広域研修事業や公共交通活性化推進事業等を実施しました。第五次南風原町総合計画後期基本計画の策定については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、各種会議に遅れが生じたことから、令和4年度へ繰り越しての実施となりました。総合計画後期基本計画は審議会開催、パブリックコメントの反映を経て、令和4年10月の議会において可決されました。第五次南風原町総合計画については協働及びPDCAサイクルにより計画を推進します。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	32,197	31,960					31,960

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	電子計算事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目標	行財政計画				目	電子計算費	14

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、職員など	住民サービスとしての窓口業務の多くを、コンピュータにより管理・運営し,行政サービスの充実、強化を図ります。また、電子自治体を推進するとともに、情報セキュリティ（安全・保障）の強化を図ります。

事業の実施内容

業務の多くをコンピュータにより管理・運営することで行政サービスの効率化を図っており、個人情報の漏洩や不正使用など情報セキュリティの確保と個人情報保護に努めています。

1　事務システムの充実　　34,843　千円

- ・会計年度任用職員報酬等　2,159 千円
- ・情報システム機器使用料　22,457 千円
- ・情報システム機器保守委託料　2,676 千円
- ・システム改修費用等　1,628 千円
- ・備品・その他　5,923 千円

2　行政情報システムの強化　　7,086　千円

- ・SE派遣委託料　5,280 千円
- ・ウィルス対策費用等　1,806 千円

3　セキュリティ強靭性の向上　　4,267　千円

- ・ネットワーク分離等によるセキュリティ強化対策事業委託料　2,719 千円
- ・地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業負担金　1,548 千円

業務用ハガキ圧着機
（督促状等の圧着用ハガキを圧着する為の機械）

事業の成果

事務の効率化を図るため業務の多くをシステム化し、コンピュータ等の安定した管理・運営を行いました。また、システムの運用、管理の強化を図るため、専門の業者と保守委託契約の締結を行うことにより、トラブルが発生した時においても迅速な対応を行いました。
さらに情報セキュリティの強化を行い、インシデント等の発生による、業務停止が起こらないよう対策を行う事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	47,400	46,196					46,196

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	基幹系事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目標	行財政計画				目	電子計算費	14

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、職員など	住民情報の管理、課税情報の管理、児童手当などの支給情報の管理など、住民の方の情報を管理し、行政サービスの充実を図ります。

事業の実施内容

町民の皆様向けのサービスを効率的に行う為に、各業務担当者が利用する業務システムや機器の導入・管理運用を行っています。
業務システムや機器の導入・管理運用を行うことで行政サービスの効率化を図っています（住民基本台帳、国民健康保険、児童手当、町民税、固定資産税、障害者手当など）

1　基幹システムの充実(システムおよび器機保守委託料)　13,497　千円

・住民情報システム委託料　3,412 千円
・コンビニ交付保守委託料　1,584 千円
・高速プリンター保守委託料　1,180 千円
・自治体DX関係委託料　4,158 千円
・その他委託料　3,163 千円

2　基幹システムの充実(システム及び器機使用料)　54,827　千円

・住民情報システム使用料　45,381 千円
・OCRシステム使用料　2,339 千円
・コンビニ交付機使用料　1,923 千円
・高速プリンター使用料　1,543 千円
・その他システム使用料　3,641 千円

3　マイナンバー制度関係等　3,713　千円

・番号制度関係委託料　612 千円
・番号制度関係負担金　3,101 千円

4　その他　1,254　千円

・負担金・印刷製本費等　1,254 千円

業務システム用パソコン
（各種証明書の発行や通知書の作成等を行うパソコン）

事業の成果

各業務担当者が利用する業務システムや機器の導入・管理運用を行い、各課における住民サービスの提供を継続して支援することができました。またマイナンバー制度の活用による情報連携ネットワークシステム利用に関連したシステム改修やコンビニ交付サービス維持の為、法改正等の対応を行い、住民サービスの向上を図ることが出来ました。
さらに、子育て関係・介護関係の26手続、転出・転入予約のオンライン申請の為のシステム導入及び環境整備を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	73,581	73,291				2,673	70,618

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ふるさと納税推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　企画財政課	課長名	玉那覇　和彦		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目　標	行財政計画				目	企画費	08

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内事業者、町外在住のふるさと納税（寄附）者	ふるさと納税制度を活用し、事業の財源確保を図るとともに町、事業所が一体となり南風原町のPRや地域活性化を目指して取り組みます。

事業の実施内容

主な経費　300,478 千円
- ふるさと納税業務委託料　250,932 千円（内、26,162千円R3繰越分）
- ポータルサイト使用料　43,122 千円
- その他の経費　6,424 千円

業務委託の主な内容
（1）ふるさと納税のプロモーション（町及び町特産品のPR）
（2）返礼品の開拓、企画、交渉
（3）返礼品の発注、配送依頼、管理
（4）返礼品取り扱い事業者への精算業務
（5）寄附者及び返礼品取り扱い事業者からの問い合わせ対応
（6）寄附管理システムの構築及び提供

▼ふるさと納税返礼品

	返礼品数	返礼品協力事業者
令和4年度	281	74
令和3年度	319	68
令和2年度	300	53
令和元年度	215	41
平成30年度	170	34

▼ふるさと納税の受入実績（過去5年間）

	件数(件)	寄附受入金額(円)
令和4年度	34,744	532,479,000
令和3年度	17,787	277,199,000
令和2年度	13,019	191,268,000
令和元年度	15,602	208,762,000
平成30年度	2,733	55,292,000

※団体による寄附を含みます。

令和5年度への繰越
令和4年度寄附のうち令和5年度発送する返礼品代及び送料　41,666千円

事業の成果

令和4年度は34,744件、532,479千円の寄附の受入があり、事業の財源確保、特産品のPRや地域活性化に繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	343,635	300,478	0	0	0	300,478	0

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住基・印鑑登録・旅券事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　住民環境課	課長名	金城　直子		款	総務費	02
連絡先	889－4414				項	戸籍住民基本台帳費	03
目標	行財政計画				目	戸籍住民基本台帳費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	マイナンバーカードの交付や住基カード及びマイナンバーカードを保持している方への土日祝祭日、早朝、夜間も各種証明書が取得できるコンビニ交付サービスや旅券の受付申請、交付、自動車臨時運行許可業務を行っており、町民サービスの向上を図ります。

事業の実施内容

住民の皆様が町内外へ引越した時、又は婚姻届、離婚届、出生届、死亡届など役場へ戸籍届出後に住民基本台帳やマイナンバーカードの記録更新を行い、氏名、生年月日、性別、住所などが記載された住民票を編成します。住民基本台帳は住民の方々に関する事務処理の基礎となるもので、住民票の写しの交付などにより、住民の方々の居住関係を公証するとともに国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、国民年金の被保険者の資格の確認、児童手当の受給資格の確認、学齢簿の作成、生活保護及び予防接種に関する事務、印鑑登録に関する事務処理のために利用されています。

また、旅券（パスポート）の受付申請・交付や、新規又は車検の切れている自動車を車検場に移動させる際、公道を臨時的に走らせるために必要な許可を受けるための制度である、自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー）を行い、住民の利便性向上に努めました。

主な経費		
	窓口対応会計年度任用職員報酬	15，257千円
	偽造防止証明書用紙等印刷代・消耗品・通信運搬費	3，407千円
	コンビニ交付事務委託料	1，370千円
	コンビニ交付事務運営負担金	691千円
	その他の経費	2，646千円

交付状況

【窓口交付、コンビニ交付】　（単位：通）

窓口交付					コンビニ交付			
住民票謄抄本	印鑑証明書	戸籍謄抄本	諸証明	税証明等	住民票謄抄本	印鑑証明書	戸籍謄抄本	税証明等
20,263	8,178	8,040	2,850	4,375	6,622	2,851	593	1,649

	証明書	利用時間	設置場所
コンビニ	住民票の写し、印鑑証明書 所得証明書、所得課税証明書 戸籍証明書、戸籍の附票の写し	6:30 ～ 23:00	全国のファミリーマート、ローソン等のコンビニ

【旅券（パスポート）】　（単位：件）

一般旅券の発給申請の受理					一般旅券の交付					紛失・焼失届出受理			
10年	5年	子供	変更	計	10年	5年	子供	変更	計	10年	5年	子供	計
183	82	19	6	290	168	76	19	5	268	1	2	0	3

【自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー】

件数（件）
1,307

【マイナンバーカード交付総件数】

件数
9,217

事業の成果

個人番号カード（マイナンバーカード）や住民基本台帳カードを利用し、県内はじめ全国のコンビニを利用することで、土日祝祭日及び時間外において各種証明書を取得することができます。
旅券（パスポート）の受付申請・交付や自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー）を行い、町民サービス向上を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,794	23,371	17,154				6,217

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町県民税に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　税務課	課長名	新垣　奈津子		款	総務費	02
連絡先	889－4413				項	徴税費	02
目標	行財政計画				目	税務徴税費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民税納税義務者	課税客体の把握に努め、適正・公正な課税を実施します。また税制改正の内容を十分に把握し、適切な案内及び適正課税に努めます。申告受付から課税までの業務の効率化を図ります。

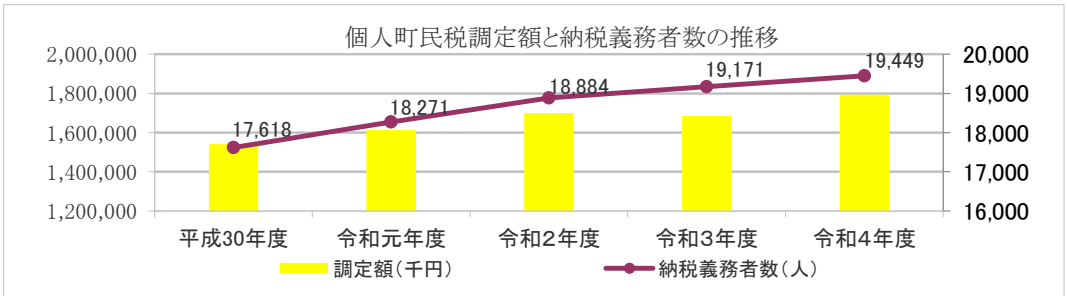
事業の実施内容

町で賦課徴収している住民税には、個人住民税（町民税・県民税）と法人町民税があります。個人住民税は前年中の所得に対しそれぞれの負担能力に応じて課される税です。法人町民税は、町内に本店や支店または事業所等がある法人等が申告納税しています。

《町民税の現年分課税額等の推移》

■個人町民税

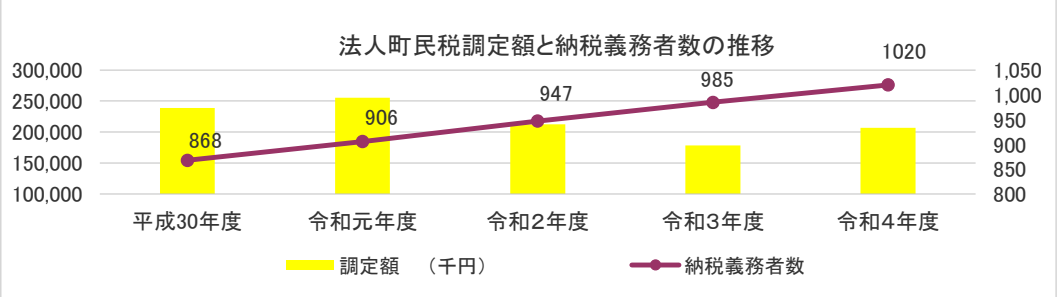
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
調定額　（千円）A	1,540,796	1,613,842	1,699,098	1,684,138	1,792,461
納税義務者数　（人）B	17,618	18,271	18,884	19,171	19,449
1人当たりの金額（円）C=A/B	87,456	88,328	89,976	87,848	92,162



■法人町民税

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
調定額　（千円）a	238,944	255,424	212,270	178,611	206,887
納税義務者数（法人）b	868	906	947	985	1,020
1法人当たりの金額（千円）c=a/b	275	282	224	181	203

※課税額：決算審査第6号様式より　※納税義務者数：課税状況調べ第48表より



令和4年度　主な経費等　15,907 千円

（内訳）
- 会計年度任用職員関係 4,353 千円
- 郵送費等 2,462 千円
- 委託、使用料 7,545 千円
- 事務経費等 1,547 千円

事業の成果

個人住民税については、納税義務者数の増加等に伴い税収も増加傾向にあります。当初課税後においては、課税客体の調査及び未申告者への申告勧奨等をおこない、適正かつ公正な課税とサービス提供へつなげることができました。

法人町民税は、税率改正等の影響で令和3年度までは減少傾向にありましたが、令和4年度調定額は納税義務者数の増加等に伴い調定額も増加しています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,784	15,907					15,907

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	固定資産税に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　税務課	課長名	新垣　奈津子		款	総務費	02
連絡先	889－4413				項	徴税費	02
目　標	行財政計画				目	税務総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	固定資産税納税義務者	固定資産（土地・建物・償却資産）に係る課税を適正に行い、納税者へ対し分かりやすい説明資料を提供することで納税意識の高揚を図ります。

事業の実施内容

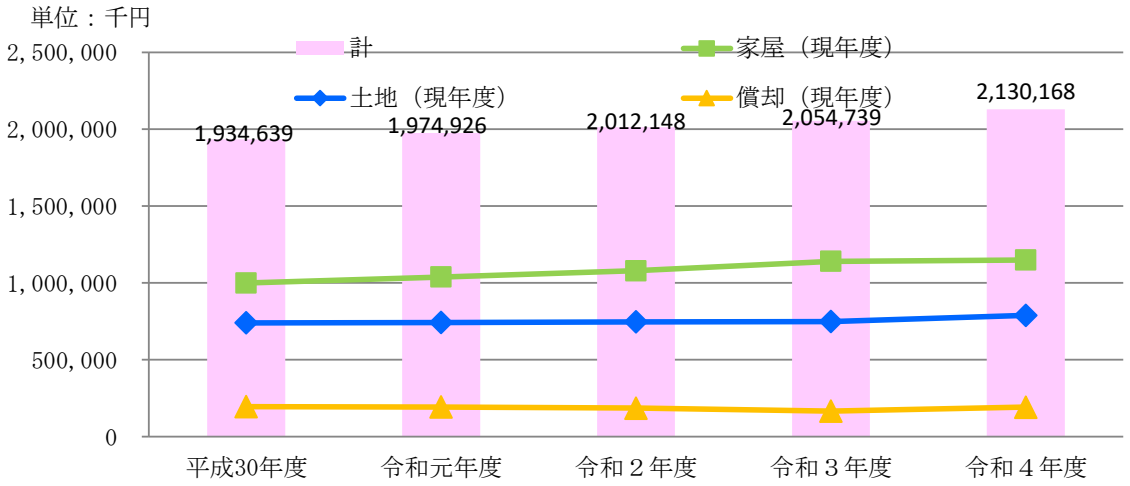
1．土地に対する課税を適正かつ円滑に行うための委託業務等・・・・12，382千円
〇主な業務内容
・地番データ修正、地目・地積データ修正業務（土地の分合筆に伴う地番データの修正、土地の利用状況の変更による課税地目データの修正等を行いました。）
・画地測量業務（新たに分合筆した土地や一体的に利用している土地の形状を測量し評価を行いました。）
・土地評価見直業務（令和6年度の評価替に向けた調査等を行いました。）

2．家屋に対する課税を適切かつ円滑に行うための委託業務等・・・・1，646千円
〇主な業務内容
・家屋評価システム保守管理委託料（家屋評価システムの保守管理を行いました。）
・家屋評価システム使用料（家屋評価システムを用いて適正な評価計算を行いました。）

3．その他の経費・・・・3，405千円
内訳
消耗品費・印刷製本費　278千円　　その他（負担金等）　64千円
納税通知書等経費（役務費・委託料）　3，063千円

固定資産税現年分課税額（調定額）の推移　単位:千円

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
土地（現年度）	739,932	743,290	747,132	748,759	789,012
家屋（現年度）	999,623	1,038,328	1,079,311	1,140,002	1,149,037
償却（現年度）	195,084	193,308	185,705	165,978	192,119
計	1,934,639	1,974,926	2,012,148	2,054,739	2,130,168



事業の成果

課税業務の一部を外部委託することにより、限られた時間と人員で効果的かつ効率的に業務を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	17,962	17,433					17,433

令和４年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

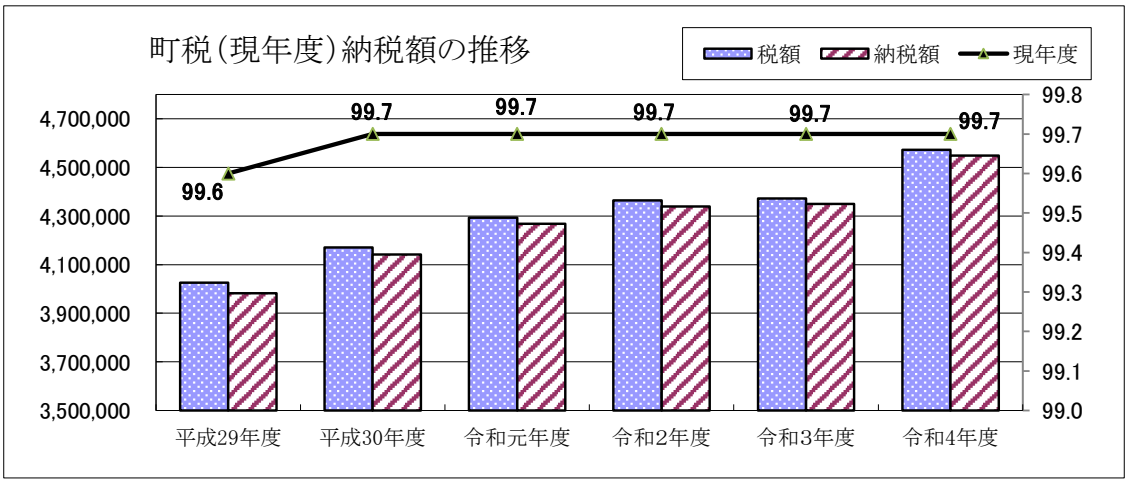
事業名	賦課徴収事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　税務課	課長名	新垣奈津子		款	総務費	02
連絡先	889－0523				項	徴税費	02
目標	行財政計画				目	賦課税徴収費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町税（町県民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税）の納税者	町税滞納者の実態を把握し催告、口座振替の推進、滞納処分等を行い、税負担の公平性と町の自主財源確保に努めます。

事業の実施内容

主な経費　31,919 千円
- 納付指導員報酬（3人）　7,336 千円
- 過年度還付金　10,385 千円
- その他事務経費　14,198 千円

納付指導員の主な仕事
（1）町税の納付指導に関すること
（2）町税の口座振替に関すること
（3）納税義務者の実態把握、調査及び連絡に関すること
（4）納税義務者への納税意識の普及促進に関すること
（5）その他



（単位:千円）

項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
税額		4,025,887	4,170,298	4,293,671	4,364,525	4,372,436	4,572,797
納税額		3,982,922	4,141,057	4,267,534	4,339,074	4,350,336	4,548,376
収納率	現年度	99.6	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7
	滞納分	53.4	56.4	57.2	54.7	57.7	45.9
	合計	98.9	99.3	99.4	99.4	99.5	99.5

事業の成果

滞納者の生活状況、債権や資産、収入の調査を行い、納付が困難な方には納税相談にて納付計画を立て、完納へと繋げることができました。
長期滞納者、高額滞納者、納税意識の低い滞納者の債権や資産の差押等を実施して積極的な滞納整理を展開することができました。
催告書等により納付の推進を図ることができました。
自主納付を強化推進することにより納期内納付意識の向上につながりました。
※令和4年度の成果として、コロナ渦が続く中、納税者の状況に配慮しながら滞納整理を行い、現年度、滞納分合計収納率99.5％と前年度同率を維持することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	33,571	31,919					31,919